

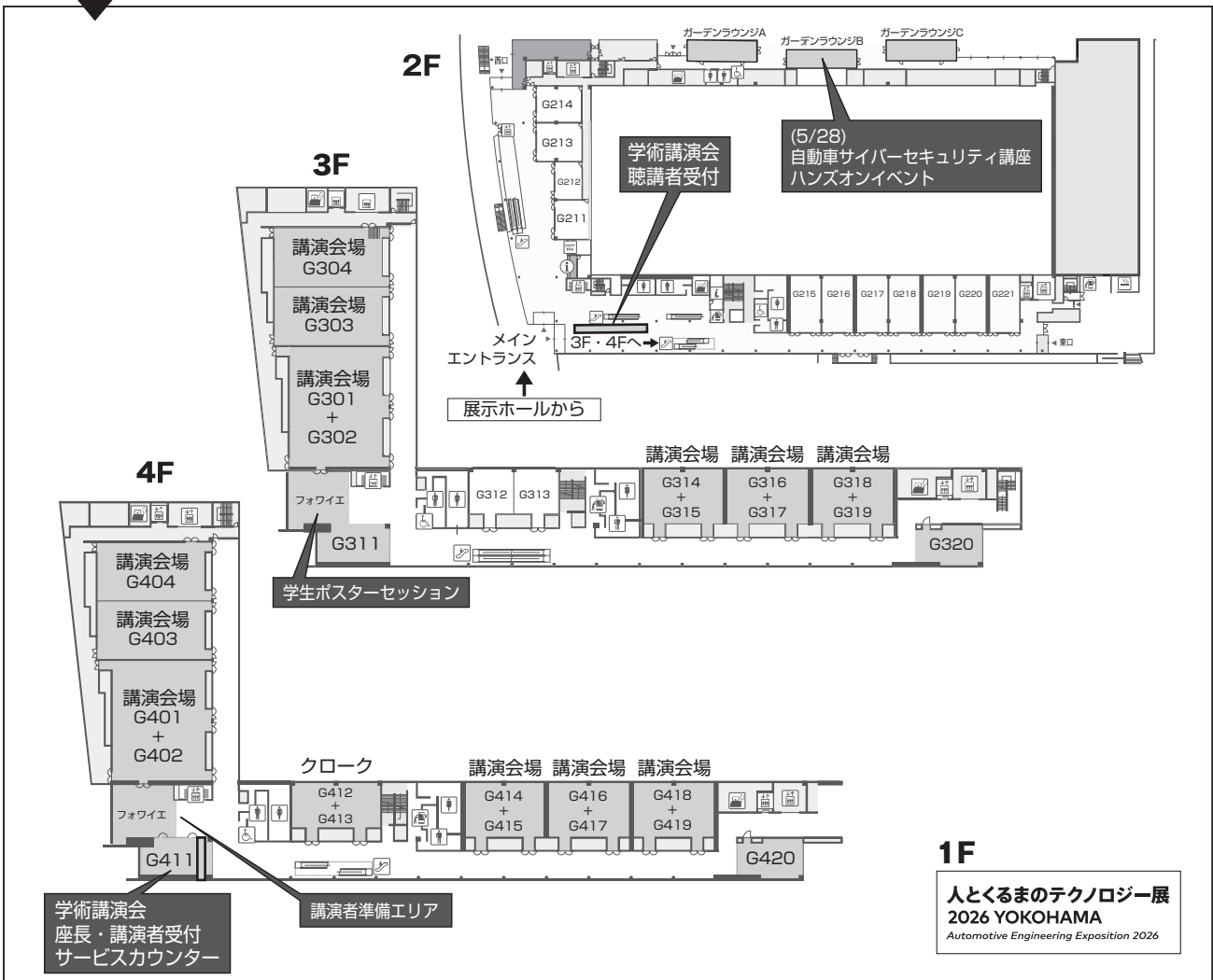
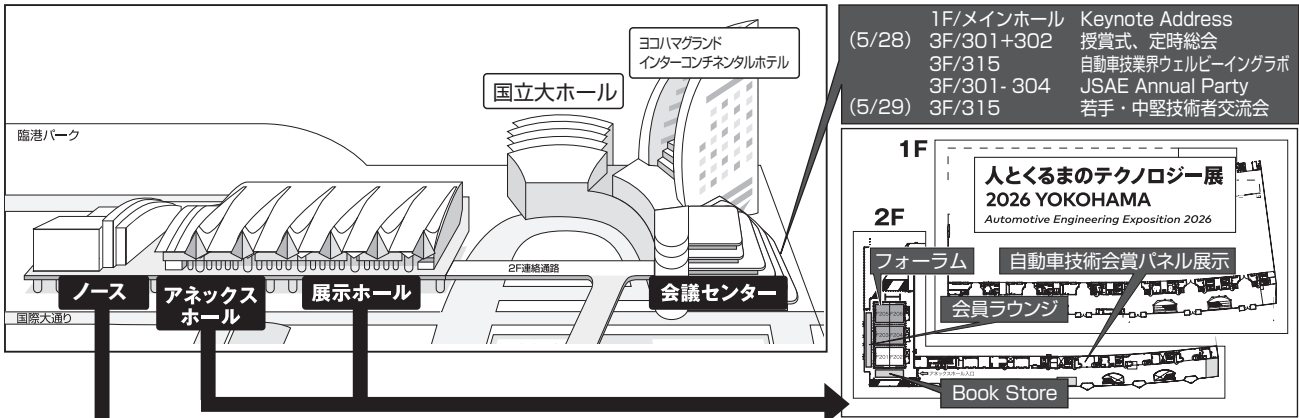
2026年春季大会のご案内

会期:2026年5月27日(水)~29日(金) 会場:パシフィコ横浜

特別協力 公益財団法人横浜市観光協会

ファイナルプログラム

会場案内図



会誌「自動車技術」

Kindle版

販売中

本会が毎月発行している会誌「自動車技術」デジタルブック版(文献情報・検索システムで販売)の他に、2025年4月号～Kindle版(電子書籍)にてAmazon Kindleストアで販売開始しました。

自動車技術は、最新の自動車技術から一般技術解説記事まで、幅広く、タイムリーな話題を取上げ、毎号特定技術にフォーカスした《特集テーマ》の記事の他、連載記事、イベント情報も充実しています。



Kindle版(電子書籍)の購入はこちら

自動車技術 Vol.80(2026年)～

価格(税込) 定価 **2,750円** ※本会会員価格は適用いたしておりません。



デジタルブック版

立ち読み動画 (2026年4月号)

<https://vimeo.com/1175047724/d7bfa01a1a>

価格(税込) 定価 **2,750円** **会員価格 2,200円**



便利な〈年間購読〉のご案内

サブスクリプション: 会誌年間購読(1年間)

発行すると「会誌 自動車技術 ○月号発行のお知らせ」メールが配信され、買い忘れを防ぎ、その日のうちにすぐにお読みいただけます。開始月はいつでもご都合のいい月から始められます。

定価 **33,000円** / 12号 会員価格 **26,400円** / 12号

申込方法

「文献・情報検索システム」(<https://tech.jsae.or.jp/paperinfo/ja>)→検索「年間購読 自動車技術」

会誌特集記事の抄録または

記事タイトルはこちらから

<https://tech.jsae.or.jp/kaishi/pc/>

2026年春季大会

会 期：2026年5月27日(水)～29日(金)
会 場：パシフィコ横浜

2026年5月27日

会 員 各 位

公益社団法人自動車技術会
会 長 中 畔 邦 雄

2026年春季大会を5月27日(水)～29日(金)の3日間にわたり、パシフィコ横浜にて開催いたします。

本大会では、学術講演会や自動車技術展のほか、Keynote Address、自動車技術会賞授賞式、JSAE Annual Party、学生ポスターセッションなど、会員の皆様にご満足いただけるよう、多彩なプログラムをご用意いたしました。

学術講演会では90セッション・400件の講演発表、人とくるまのテクノロジー展2026 YOKOHAMAでは、600社以上による展示を予定しております。

皆様のご参加をお待ちいたしております。



目 次

| | |
|---------------------|-------|
| タイムテーブル 5月27日(水) | 2,3 |
| タイムテーブル 5月28日(木) | 4,5 |
| タイムテーブル 5月29日(金) | 6,7 |
| 2026年春季大会概要 | 8,9 |
| 各催事のご案内 | 10-13 |
| フォーラム YOKOHAMAのご案内 | 14-15 |
| 学術講演会プログラム 5月27日(水) | 21-30 |
| 学術講演会プログラム 5月28日(木) | 31-37 |
| 学術講演会プログラム 5月29日(金) | 38-46 |

5月27日(水) 2026年春季大会タイムテーブル

| 会場 | パシフィコ横浜 ノース | | | | | | | |
|-------|---|---|--|--|---|---|--|--|
| | G301+G302 (3F) | G303 (3F) | G304 (3F) | G314+G315 (3F) | G316+G317 (3F) | G318+G319 (3F) | G401+G402 (4F) | G403 (4F) |
| 9:00 | | | | | | | | |
| 9:30 | 9:30 | | | | | | | |
| | 車両の運動と制御 I 001 002 003 004 No. 1 (OS) 講演件数: 4件 | 最新の振動騒音・音質技術 I 016 017 018 No. 4 (OS) 講演件数: 3件 | 車載ソフトウェア技術 I - 設計開発手法と検証 - 028 029 030 10分間休憩 031 032 033 | 蓄電システム技術の新展開 I 045 * 046 * 047 048 No. 10 (OS) 講演件数: 4件 | 水素・燃料電池技術 059 060 061 062 063 No. 14 (OS) 講演件数: 5件 | MBDによるデジタルツイン技術の拡大 I - デジタル認証から量産化技術まで - 071 072 073 074 075 No. 17 (OS) 講演件数: 5件 | 先進火花点火機関 I - 燃焼 & 本体 - 086 087 088 089 No. 20 (OS) 講演件数: 4件 | タイヤ/路面摩擦特性とその周辺技術 I - タイヤのメカニズムと将来に向けて - 101 102 103 * 104 No. 24 (OS) 講演件数: 4件 |
| | 11:10 | 10:45 | | 11:10 | | | 11:10 | |
| | | 11:45 | | ランチョンセミナー① 11:20~11:50 | | | 11:10 | |
| | 12:10 | 最新の振動騒音・音質技術 II 019 020 021 022 023 | No. 7 (OS) 講演件数: 6件 | | | | 11:35 | |
| | | | 12:10 | 12:20 | | | 12:10 | |
| | 車両の運動と制御 II 005 006 007 10分間休憩 008 * 009 010 * | | | 蓄電システム技術の新展開 II 049 050 051 No. 11 (OS) 講演件数: 3件 | 走行中給・充電 I 064 065 066 067 | 12:35 | 先進火花点火機関 II - CN 燃料 - 090 091 092 093 094 | 105 106 * 107 |
| 13:00 | | No. 5 (OS) 講演件数: 5件 | 13:00 | | | | No. 25 (OS) 講演件数: 3件 | |
| | | 13:50 | 車載ソフトウェア技術 II - ソフトウェア基盤 - 034 035 036 10分間休憩 037 038 039 040 | 13:35 | | | 13:25 | |
| | | 14:20 | | 14:05 | | | 13:55 | |
| | No. 2 (OS) 講演件数: 6件 | 最新の振動騒音・音質技術 III 024 025 026 027 | | xEV モータ・インバータ技術 052 * 053 054 No. 12 (OS) 講演件数: 3件 | No. 15 (OS) 講演件数: 4件 | MBDによるデジタルツイン技術の拡大 II - デジタル認証から量産化技術まで - 076 077 078 079 080 | No. 21 (OS) 講演件数: 5件 | 14:15 |
| 15:00 | | | | | | | 14:15 | |
| | 車両の運動と制御 III 011 012 013 014 015 No. 3 (OS) 講演件数: 5件 | No. 6 (OS) 講演件数: 4件 | No. 8 (OS) 講演件数: 7件 | 15:20 | 14:15 | | 14:45 | |
| | 14:50 | 16:00 | 16:05 | 15:50 | 14:45 | | 14:45 | |
| | 15:20 | | 16:30 | 15:20 | 走行中給・充電 II 068 069 070 | | 14:40 | |
| 17:00 | | | カーボンニュートラルに資する熱・流体技術 I - 最新のCFD技術 - 041 042 043 044 No. 9 (OS) 講演件数: 4件 | 15:50 | No. 16 (OS) 講演件数: 3件 | 14:40 | 095 096 No. 22 (OS) 講演件数: 2件 | 108 109 110 111 112 * |
| | | | 18:10 | 16:00 | | 15:10 | 15:35 | |
| | | | | 車載用パワーエレクトロニクス新技術 055 * 056 057 058 No. 13 (OS) 講演件数: 4件 | 16:00 | MBDによるデジタルツイン技術の拡大 III - デジタル認証から量産化技術まで - 081 082 083 084 085 No. 19 (OS) 講演件数: 5件 | 16:05 | No. 26 (OS) 講演件数: 5件 |
| 18:00 | | | | | | | 16:05 | |
| | | | | | | | 先進火花点火機関 IV - 要素技術 - 097 098 099 100 No. 23 (OS) 講演件数: 4件 | 16:00 |
| 19:00 | | | | | | | 17:45 | 先進火花点火機関 III - CN 技術 - |

- ☑ (OS) は特定のテーマに絞って企画されたオーガナイズドセッションです。
- ☑ 講演時間：原則として 25 分 / 1 講演 (15 分, 質疑など 10 分)
- ☑ 講演番号を□印で囲んだ講演は、英語講演です。
- ☑ 講演番号の隣の「★」は、後日配信がない講演です。
- ☑ 各講演会場に、講演評価フォームにアクセスできる QR コードを掲示しております。優秀講演発表賞選出のため重要となりますので、評価へのご協力をお願いします。
- ☑ 本タイムテーブルは 2026 年 4 月 24 日付の申込データに基づき作成されたものです。予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

| | | | | | アネックスホール | | | 展示ホール アネックスホール | 会議センター |
|--|--|--|--|-------------------------------|---|--|-------------------------------------|-------------------|--------|
| G404 (4F) | G414+G415 (4F) | G416+G417 (4F) | G418+G419 (4F) | G311 フォワイエ | ガーデン ラウンジ | フォワイエ | F203 F204 | | |
| ドライバの状態評価とセンシング 113 114 115* 116 No. 27 (OS) 講演件数: 4件 11:10 12:10 自動運転/運転支援システムのHMI 117 118 119 10分間休憩 120 121 122 No. 28 (OS) 講演件数: 6件 14:50 No. 29 セッション 不成立 | 金属材料 123 124 125* 10分間休憩 126 127 128 No. 30 講演件数: 6件 12:10 13:20 デザイン(スタイリング)と技術の接点 129* 130 131 132 No. 31 (OS) 講演件数: 4件 15:00 15:30 次世代の自動車用材料と先進生産技術I 133 134 135* 136 No. 32 (OS) 講演件数: 4件 17:10 | 先進ディーゼル機関技術I 137 138 139 No. 33 (OS) 講演件数: 3件 10:45 11:45 先進ディーゼル機関技術II 140 141 142 143 144 No. 34 (OS) 講演件数: 5件 13:50 14:20 CO ₂ 分離・回収技術 145* 146* 147* 148* 149 150 10分間休憩 No. 35 (OS) 講演件数: 6件 17:00 | Circular Economyにおけるリサイクルの価値 151 152 153 154 155 No. 36 (OS) 講演件数: 5件 11:35 12:35 自動車セキュリティ技術I 156 157 158 No. 37 (OS) 講演件数: 3件 13:50 14:20 自動車セキュリティ技術II 159 160 161 No. 38 (OS) 講演件数: 3件 15:35 | 10:00 学生ポスターセッション 16:00 | 9:30 フォーラムY1 モータースポーツ技術と文化 13:00 14:00 フォーラムY2 サイクルエコノミーとリサイクル価値 17:30 | 9:30 フォーラムY3 高度自動運転へ互いにわかりあえるクルマを目指して 12:50 14:00 フォーラムY4 電化道路(走行中ワイヤレス給電)とスマートモビリティ社会に向けた最近の動向 17:00 | 10:00 人どくるまのテクノロジー展2026 YOKOHAMA | | |
| | | | | | 18:00 | 18:00 | 技術交流会 (会員限定) | | 19:30 |

| | | | | | | | |
|----------------------|-----------------|----------|-------|------------------|-----------|----|-----|
| エンジン・後処理・ パワートレイン | 車体・シャシ・ 生産加工 | ITS・人間工学 | 部品・材料 | CAE/NV・計測・ 流体 | HV・PHV・EV | 安全 | その他 |
|----------------------|-----------------|----------|-------|------------------|-----------|----|-----|

各セッションの講演内容は p.21~46 をご確認ください。

📅 5月28日(木) 2026年春季大会タイムテーブル

| 会場 | パシフィコ横浜 ノース | | | | | | | |
|-------|--|---|--|--|--|---|---|---|
| | G301+G302 (3F) | G303 (3F) | G304 (3F) | G314+G315 (3F) | G316+G317 (3F) | G318+G319 (3F) | G401+G402 (4F) | G403 (4F) |
| 9:00 | | | | | | | | |
| 9:30 | 最新の振動騒音・音質技術 IV 162 163 164 165 No. 39 (OS) 講演件数:4件 | カーボンニュートラルに資する熱・流体技術 II - 最新の流体技術 - 173 174 175 176 No. 41 (OS) 講演件数:4件 | 181 182 No. 43 (OS) 講演件数:2件 10:20 ランチョンセミナー② 10:30~11:00 | 衝突安全 (乗員・交通弱者保護) 183 184 185 186 No. 44 (OS) 講演件数:4件 | 持続可能な自動車社会の展望 189 190 191 192 No. 46 (OS) 講演件数:4件 | 安全一般 198 199 200 10分間休憩 201 202 203 No. 48 講演件数:6件 | 9:30 車両の運動と制御 IV 211 212 213 10分間休憩 214 215 216 No. 50 (OS) 講演件数:6件 | ドライバの知覚・認知・感情 220 221 222 223 224 No. 52 (OS) 講演件数:5件 11:35 |
| 11:10 | | | ランチョンセミナー③ 11:20~11:50 | | | | | |
| 12:10 | 最新の振動騒音・音質技術 V 166 167 168 10分間休憩 169 170 171 172 No. 40 (OS) 講演件数:7件 15:15 | カーボンニュートラルに資する熱・流体技術 III - カarbonニュートラルに資する伝熱技術 - 177 178 179 180* No. 42 (OS) 講演件数:4件 13:50 | 車載ソフトウェア技術 III - ADAS・自動運転 - | | 12:20 インパクトバイオメカニクス 187 188 No. 45 (OS) 講演件数:2件 13:10 | 12:10 欧州・アジアにおける 車両法規・標準化の動向 193* 194 195 196 197 No. 47 講演件数:5件 14:15 | 12:10 13:10 予防安全と運転支援システム I 204 205 206 10分間休憩 207 208 209 210 No. 49 (OS) 講演件数:7件 16:15 | 12:35 ドライバ行動の分析とモデル化 225 226 227 228* No. 53 (OS) 講演件数:4件 14:15 |
| 13:00 | | | | | | | | |
| 15:00 | | | | | | | | |
| 17:00 | | | | | | | | |
| 18:00 | | | | | | | | |
| 19:00 | | | | | | | | |

- ☑ (OS) は特定のテーマに絞って企画されたオーガナイズドセッションです。
- ☑ 講演時間：原則として 25 分 / 1 講演 (15 分, 質疑など 10 分)
- ☑ 講演番号を□印で囲んだ講演は、英語講演です。
- ☑ 講演番号の隣の「★」は、後日配信がない講演です。
- ☑ 各講演会場に、講演評価フォームにアクセスできる QR コードを掲示しております。優秀講演発表賞選出のため重要となりますので、評価へのご協力をお願いします。
- ☑ 本タイムテーブルは 2026 年 4 月 24 日付の申込データに基づき作成されたものです。予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

| | | | | | アネックスホール | | | 展示ホール・アネックスホール | 会議センター | |
|--|--|---|---|-----------------------------------|---|---|--|--|---------------------------------------|--|
| G404 (4F) | G414+G415 (4F) | G416+G417 (4F) | G418+G419 (4F) | G311 フォワイエ | ガーデンラウンジB | F203 | F204 | F205 F206 | | 315 (3F) |
| 次世代の燃料・潤滑油・トライボロジー技術 229 230 * 231 10分間休憩 232 233 234 235 No. 54 (OS) 講演件数:7件 12:35 13:35 CN 社会を支えるガス燃料そのエンジン技術 I 236 237 * 238 No. 55 (OS) 講演件数:3件 14:50 | 次世代の自動車用材料と先進生産技術 II 239 240 241 242 No. 56 (OS) 講演件数:4件 11:10 12:20 次世代の自動車用材料と先進生産技術 III 243 244 245 246 No. 57 (OS) 講演件数:4件 14:00 14:30 フィジカル AI が実現する新モビリティ社会-AIのリアルワールド実装への期待とその課題- 247 248 249 250 No. 58 (OS) 講演件数:4件 16:10 | 電化道路(走行中給電)の最新技術 251 252 253 254 255 No. 59 (OS) 講演件数:5件 11:35 12:35 ワイヤレス給電の最新動向と応用展開 256 257 258 No. 60 (OS) 講演件数:3件 13:50 15:15 No. 62 講演件数:6件 | 社会変革と次世代のモビリティ 259 260 261 262 263 No. 61 (OS) 講演件数:5件 11:35 12:35 リサイクル・コーティング材料 264 * 265 266 10分間休憩 267 268 269 No. 62 講演件数:6件 15:15 | 10:00 学生ポスターセッション 16:00 | 自動車サイバーセキュリティ講座ハンズオンイベント「実践CANプロトコル解析」 16:30 | 14:00 フォーラム Y5 現役エンジニアから若者へ送るメッセージ 17:30 | 14:00 フォーラム Y6 社会変革と次世代のモビリティ 17:30 | 10:00 人どくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA | 12:30 自動車業界ウェルビーイングラボ 15:00 | 12:50 授賞式 301+302 (3F) 14:00 14:15 第16回 定時総会 301+302 (3F) 15:55 17:00 Keynote Address メインホール ●(1F) 18:00 18:15 JSAE Annual Party 301-304 (3F) 19:45 |

講師：
 曆本 純一氏
 (ソニーコンピューターサイエンス研究所)

- | | | | | | | | |
|------------------|-------------|----------|-------|--------------|-----------|----|-----|
| エンジン・後処理・パワートレイン | 車体・シャシ・生産加工 | ITS・人間工学 | 部品・材料 | CAE/NV・計測・流体 | HV・PHV・EV | 安全 | その他 |
|------------------|-------------|----------|-------|--------------|-----------|----|-----|

各セッションの講演内容は p.21~46 をご確認ください。

5月29日(金) 2026年春季大会タイムテーブル

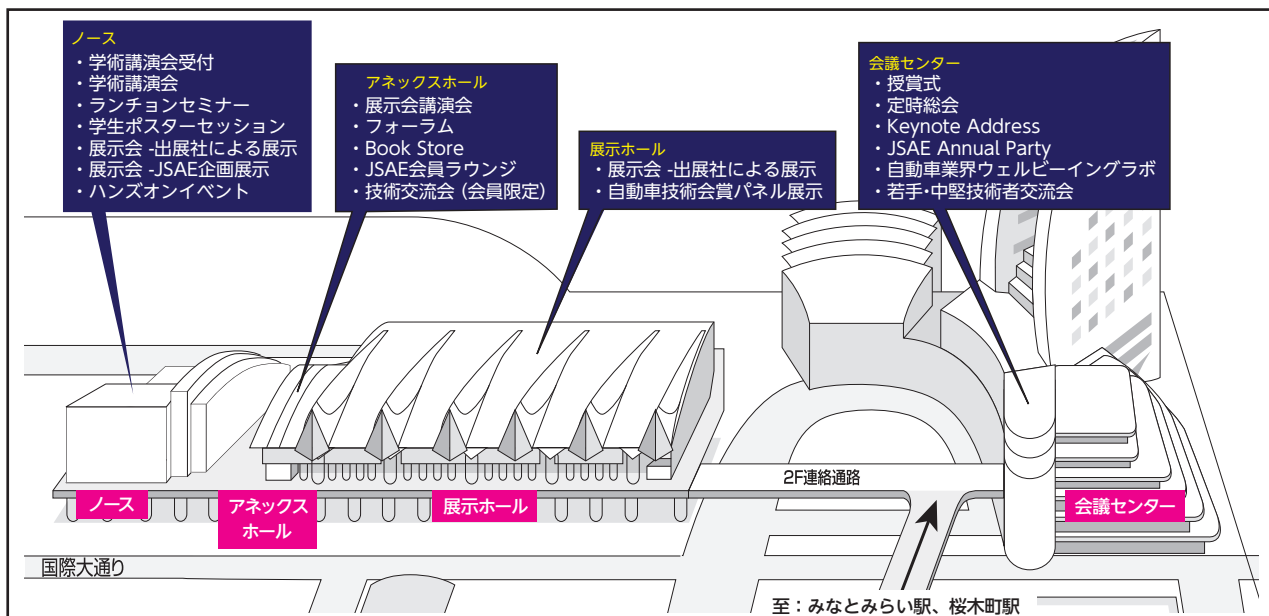
| 会場 | パシフィコ横浜 ノース | | | | | | | |
|-------|---|---|--|---|--|--|---|---|
| | G301+G302 (3F) | G303 (3F) | G304 (3F) | G314+G315 (3F) | G316+G317 (3F) | G318+G319 (3F) | G401+G402 (4F) | G403 (4F) |
| 9:00 | | | | | | | | |
| 9:30 | xEV 車両システム・制御 270 271 272 10分間休憩 273 274 275 | 道路交通騒音の評価・対策技術 281 282 283 284 285 No. 66 (OS) 講演件数:5件 | カーボンニュートラルに資する熱・流体技術 IV - 快適と高効率を両立する車室内環境技術 I - 295 296 297 298 299 No. 69 (OS) 講演件数:5件 | 二輪車の運動・制御・安全 I - 自動二輪車, 自転車, PMVの未来に向けて - 304 305 306 No. 71 (OS) 講演件数:3件 | 予防安全と運転支援システム II 311 312 313 10分間休憩 314 315 316 No. 73 (OS) 講演件数:6件 | 高分子・複合材料 322 323 324 No. 75 講演件数:3件 | CN 社会を支えるガス燃料そのエンジン技術 II 335 336 337 338 339 No. 78 (OS) 講演件数:5件 | 車両構造の強度・信頼性・形成技術の新展開 I 348 349 350 * 351 352 No. 81 (OS) 講演件数:5件 |
| 11:35 | No. 63 (OS) 講演件数:6件 | 11:35 | | 11:55 | 12:10 | 11:45 | 11:35 | |
| 13:00 | 13:10 xEV 駆動・伝達システム 276 277 278 279 280 No. 64 (OS) 講演件数:5件 | 12:35 新しい計測診断技術 286 287 288 No. 67 (OS) 講演件数:3件 | 12:35 カーボンニュートラルに資する熱・流体技術 IV - 快適と高効率を両立する車室内環境技術 II - 300 301 302 303 No. 70 (OS) 講演件数:4件 | 11:55 二輪車の運動・制御・安全 II - 自動二輪車, 自転車, PMVの未来に向けて - 307 308 309 310 No. 72 (OS) 講演件数:4件 | 13:10 予防安全と運転支援システム III 317 318 319 * 320 321 No. 74 (OS) 講演件数:5件 | 11:45 Cars that Think and Communicate I - 高度センシング・エレクトロニクス技術に向けて - 325 326 327 10分間休憩 328 329 330 No. 76 (OS) 講演件数:6件 | 12:35 排気触媒システム I 340 341 342 No. 79 (OS) 講演件数:3件 | 12:35 車両構造の強度・信頼性・形成技術の新展開 II 353 354 355 356 357 * No. 82 (OS) 講演件数:5件 |
| 15:00 | 15:15 No. 65 セッション 不成立 | 14:20 電動化時代の最新の駆動・動力伝達技術 289 290 291 10分間休憩 292 * 293 * 294 No. 68 (OS) 講演件数:6件 | 14:15 | 13:35 | 15:15 | 14:25 No. 76 (OS) 講演件数:6件 | 13:50 No. 79 (OS) 講演件数:3件 | 14:40 No. 82 (OS) 講演件数:5件 |
| 17:00 | 17:00 | 17:00 | 14:15 | 15:15 | 16:35 | 14:55 Cars that Think and Communicate II - 高度センシング・エレクトロニクス技術に向けて - 331 332 333 334 No. 77 (OS) 講演件数:4件 | 14:20 排気触媒システム II 343 344 345 346 * 347 No. 80 (OS) 講演件数:5件 | 15:10 車両構造の強度・信頼性・形成技術の新展開 III 358 359 360 361 362 No. 83 (OS) 講演件数:5件 |
| 18:00 | | | | | | | | |
| 19:00 | | | | | | | | |

- ☑ (OS) は特定のテーマに絞って企画されたオーガナイズドセッションです。
- ☑ 講演時間：原則として 25 分 / 1 講演 (15 分, 質疑など 10 分)
- ☑ 講演番号を□印で囲んだ講演は, 英語講演です。
- ☑ 講演番号の隣の「★」は, 後日配信がない講演です。
- ☑ 各講演会場に, 講演評価フォームにアクセスできる QR コードを掲示しております。優秀講演発表賞選出のため重要となりますので, 評価へのご協力をお願いします。
- ☑ 本タイムテーブルは 2026 年 4 月 24 日付の申込データに基づき作成されたものです。予告なく変更する場合がございますので, ご了承ください。

2026年春季大会概要

| 行事名 | 参加登録／参加費 | 27日(水) | 28日(木) | 29日(金) |
|---|-------------------------------------|--------|--------|--------|
| ① 学術講演会 | 要／有料 ※参加資格により参加費が異なります | ● | ● | ● |
| ② 第76回自動車技術会賞授賞式 第17回技術教育賞授賞式 自動車エンジニアレベル認定者記念品授与式 優秀講演発表賞授賞式(2025年春季・秋季大会学術講演会) | — | | ● | |
| ③ 第16回定時総会 | — | | ● | |
| ④ Keynote Address | 無料 ※学術講演会か展示会の参加証をお持ちください | | ● | |
| ⑤ JSAE Annual Party (技術者交流会) | 要／有料 | | ● | |
| ⑥ 第11回学生ポスターセッション | 不要／無料 ※発表者は要参加登録／有料 | ● | ● | ● |
| ⑦ 自動車業界ウェルビーイングラボ by 自動車業界ウェルビーイングラボ委員会 | 要／無料 ※実地では当日参加も歓迎 | | ● | |
| ⑧ 第8回若手・中堅技術者交流会 | 要／無料 | | | ● |
| ⑨ 技術交流会(会員限定) | 要／無料 | ● | | |
| ⑩ 自動車サイバーセキュリティ講座ハンズオン イベント「実践CANプロトコル解析」 | 要／無料 | | ● | |
| ⑪ 人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA | 要／無料 | ● | ● | ● |
| ⑫ フォーラム YOKOHAMA | 要／無料 | ● | ● | ● |

| | |
|------------|---|
| 無料 Wi-Fi | 【会議センター・展示ホール】SSID:FREE-PACIFICO / PASSWORD:パスワードなし 【ノース】SSID:FREE-PACIFICO-NORTH / PASSWORD:パスワードなし |
| 喫煙所 | 【屋内】会議センター1F・3F・5F 【屋外】ノース(2F 東口付近) |
| 自動販売機(飲料) | ノース2F・3F・4F / 会議センター1F・3F・5F |
| コンビニエンスストア | 展示ホール1F デイリーヤマザキ / 2F セブン・イレブン |
| ビジネスセンター | ノース2F / 展示ホール2F / 会議センター1F |



各窓口の開設時間 ※表紙会場案内図を参照ください

5月27日(水)

| | | |
|-------------------------------------|--|------------|
| 受付 ・イベント参加 QR 読取 | ノース 2F フォワイエ (聴講者) ノース 4F G411 + フォワイエ (座長・講演者) | 8:00~17:00 |
| サービスカウンター ・招待者受付・報道受付 ・各種お問合せ | ノース 4F G411 + フォワイエ | 8:00~18:30 |
| クローク | ノース 4F G412 + G413 | 8:00~18:30 |
| 講演者準備エリア | ノース 4F G411 + フォワイエ | 8:00~17:00 |
| JSAE 会員ラウンジ | アネックスホール 2F フォワイエ ※会員証をご提示ください | 8:00~17:00 |
| Book Store | アネックスホール 2F フォワイエ | 8:00~17:00 |

5月28日(木)

| | | |
|-------------------------------------|--|------------|
| 受付 ・イベント参加 QR 読取 | ノース 2F フォワイエ (聴講者) ノース 4F G411 + フォワイエ (座長・講演者) | 8:30~15:00 |
| サービスカウンター ・招待者受付・報道受付 ・各種お問合せ | ノース 4F G411 + フォワイエ | 8:30~16:30 |
| クローク | ノース 4F G412 + G413 | 8:30~16:30 |
| 講演者準備エリア | ノース 4F G411 + フォワイエ | 8:30~15:00 |
| JSAE 会員ラウンジ | アネックスホール 2F フォワイエ ※会員証をご提示ください | 8:30~17:00 |
| Book Store | アネックスホール 2F フォワイエ | 9:00~18:00 |

5月29日(金)

| | | |
|-------------------------------------|--|------------|
| 受付 ・イベント参加 QR 読取 | ノース 2F フォワイエ (聴講者) ノース 4F G411 + フォワイエ (座長・講演者) | 8:30~16:00 |
| サービスカウンター ・招待者受付・報道受付 ・各種お問合せ | ノース 4F G411 + フォワイエ | 8:30~17:30 |
| クローク | ノース 4F G412 + G413 | 8:30~17:30 |
| 講演者準備エリア | ノース 4F G411 + フォワイエ | 8:30~16:00 |
| JSAE 会員ラウンジ | アネックスホール 2F フォワイエ ※会員証をご提示ください | 8:30~17:00 |
| Book Store | アネックスホール 2F フォワイエ | 8:00~17:00 |

参加者へのご案内

① 学術講演会

有料/参加登録要

5月27日(水)～29日(金) 各講演会場

プログラムは p.21～46 をご覧ください。

90 セッション・400 講演

| | 早期参加登録 | 通常参加登録 |
|---------------------------------|---|--|
| 登録期間 | 3月上旬～5月18日(月) | 5月19日(火)～7月3日(金) |
| 登録方法 | ウェブサイトでの事前登録のみ | ウェブサイトでの事前登録のみ |
| 参加登録費 正会員 学生会員 賛助会員・一般 | 8,000円(不課税) 3,000円(不課税) 22,000円(税込) | 10,000円(不課税) 3,000円(不課税) 24,200円(税込) |
| 支払方法 | ①クレジットカード決済 ②銀行振込 ③コンビニ決済 | クレジットカード決済 |
| 支払期限日 | ①～③すべて5月18日(月) ※期限日までに支払が完了しなかった場合、お申込は無効となります | 登録時 |
| キャンセル時の返金 | 5月18日(月)まで全額返金 ※返金手数料除く | 返金なし |

※現地での参加登録受付は行っておりません。当日参加される場合も事前にウェブサイトで登録されるようお願いいたします。

ランチョンセミナー

無料/要参加登録 ※学術講演会(有料)の参加登録が必要です

① コーンズテクノロジー株式会社:5月27日(水) 11:20～11:50 ノース3F G314+G315

② キーサイト・テクノロジー株式会社:5月28日(水) 10:30～11:00 ノース3F G304

③ ブルースカイエーアイ/コーンズテクノロジー株式会社:5月28日(水) 11:20～11:50 ノース3F G314+G315

本会の技術展示会「人とくるまのテクノロジー展」からの出張企画として、学術講演会参加者向けに出展社によるセミナーを開催いたします。

※参加申し込みは5月26日(火)で締め切りとなります。残席がある場合は開催日当日に、会場にて受付を実施いたします。

① コーンズテクノロジー株式会社

「最新空力音響風洞測定技術」

講演者: 鯉坂 智也 氏 (コーンズテクノロジー株式会社)

EV普及により車室内の静粛性が重視される今、風切り音等の騒音源を迅速・高精度に特定することが不可欠です。本セミナーでは、空力音響風洞に特化したGfai Tech社の最新音響可視化装置をご紹介。独自の「音を視る」技術で、開発効率を劇的に高め、次世代モビリティの快適性を実現する最適解をお伝えします。

② キーサイト・テクノロジー株式会社

「AI セーフティ:規制対応を見据えた車載AIのライフサイクル型安全性検証の提案」

講演者: 中山 仁志 氏 (キーサイト・テクノロジー株式会社)

自動運転を中心にAI技術の実装が進む中、ブラックボックス性に起因する安全性課題を抱えている。ISO/PAS 8800やEU AI Actなど規格や規制要求も含め、説明可能で信頼性のあるAIの導入が要求されている。本講演では、安全な車載AIの実現に向けてライフサイクル型安全性検証手法を提案する。

③ ブルースカイエーアイ/コーンズテクノロジー株式会社

「感情・反応の可視化が拓くモビリティの未来 — 安全性向上と次世代の運転体験を両立する新技術」

講演者: クリス フォスター 氏 (ブルースカイエーアイ)

BLUESKEYE AI社は、プライバシーに配慮した車載最適化ソフトウェアを提供しています。顔の微細な表情変化をリアルタイムで継続的に検知する独自の技術により、運転体験の向上と安全リスクの早期警告を実現。本講演では、安全で快適な移動空間を創出する、高精度な表情解析ソリューションの全貌を紹介します。

② 第76回自動車技術会賞授賞式・第17回技術教育賞授賞式 自動車エンジニアレベル認定者記念品授与式 優秀講演発表賞授賞式（2025年春季・秋季大会学術講演会）

受賞者および関係者

5月28日(木) 12:50~14:00 会議センター3F 301+302

第76回自動車技術会賞（学術貢献賞／技術貢献賞／浅原賞学術奨励賞／浅原賞技術功労賞／論文賞／技術開発賞）、第17回技術教育賞、優秀講演発表賞（2025年春季・秋季大会学術講演会）の授賞式、自動車エンジニアレベル認定者への記念品の授与式を行います。

③ 第16回定時総会

代議員の方のみ

5月28日(木) 14:15~15:55 会議センター3F 301+302

議決事項：2025年度決算報告の件
2026-2027年度理事選任の件
2026-2027年度監事選任の件
名誉会員推薦の件
役員報酬等の件
報告事項：2025年度事業報告の件
2026年度事業計画の件
2026年度予算の件

④ Keynote Address

無料 ※学術講演会(有料)か展示会(無料)の参加証をお持ちください

5月28日(木) 17:00~18:00 会議センター1F メインホール

テーマ「Human-AI Integration」

講師：暦本 純一 氏（ソニーコンピュータサイエンス研究所）

司会：藤本 直也 氏（日産自動車／総務担当理事）

企画：運営企画会議

講演要旨：

従来のヒューマン・コンピュータ・インタラクション（HCI）は、人間と機械のインターフェースに着目する研究分野であるのに対し、私はテクノロジーによって人間の能力を拡張する「ヒューマン・オーグメンテーション（Human Augmentation）」というアプローチを提唱している。Human Augmentationで拡張される人間能力の対象は、身体拡張にとどまらず、存在、感覚、認知などの知的能力を含む。

このような拡張の概念は、個人のレベルにとどまらず、テクノロジーと人間とがネットワーク上で相互に接続され、相補的に能力を高め合う未来社会、「能力のインターネット（Internet of Abilities, IoA）」の構想へと発展する。このIoAの枠組みにおいては、人間と人工知能（AI）が高度に統合された「人間-AI統合（Human-AI Integration）」の実現が志向される。

本講演では、音声を発することなく意思伝達を可能にする「サイレント・スピーチ」や、人間の視覚情報と実世界のエージェントとが融合する「技能伝達システム」といった事例を紹介し、人間とテクノロジーとの関係の未来的展望について論じる。



⑤ JSAE Annual Party（技術者交流会）

有料／要登録

5月28日(木) 18:15~19:45 会議センター3F 301~304

技術者、展示会出展社の方々が交流を深める機会として JSAE Annual Party を開催いたします。

| 参加費 | |
|----------|-------------|
| 正会員・賛助会員 | 8,000円（税込） |
| 学生会員 | 3,000円（税込） |
| 一般 | 10,000円（税込） |

⑥ 第11回学生ポスターセッション

無料/不要 *発表者は有料/要登録

5月27日(水)～29日(金) ノース 3F フォワイエ+G311

発表一覧は以下の WEB サイトまたは右記の QR コードよりご覧いただけます。

<https://www.jsae.or.jp/taikai/2026haru/student-poster-entry/>



大学生・大学院生・高等専門学校生の学生の皆様に、専門の研究内容をポスター形式で発表・プレゼンテーションしていただく学術発表セッションです。

ポスター発表を通じて、学生と企業エンジニア、研究者の方、また学生同士での交流と人材育成の場・機会を提供します。

優れた発表には優秀賞を授与いたします。

- ・会場では、各発表の概要 PDF のダウンロード QR コードを配布します。ぜひお立ち寄りください。
- ・聴講者の方は、学術講演会（有料）または人とくるまのテクノロジー展（無料）に参加登録の上、参加証をご携帯ください。

【学生ポスターセッション交流会】*参加者限定

学生発表者、スポンサー企業各社ご担当者、企画委員会アドバイザー（メンター）の交流会を開催します。

日程：2026年5月28日（木）16:30～18:30

会場：パシフィコ横浜 ノース 3F G304

企画：教育会議 学生活動企画委員会

⑦ 自動車業界ウェルビーイングラボ by 自動車業界ウェルビーイングラボ委員会

無料/要登録(実地では当日参加も歓迎いたします)

5月28日(木) 12:30-15:00 会議センター 3F 315

テーマ「自動車業界における、“ウェルビーイング”について考えてみませんか？」

すべての技術者がイキイキと働くために、みんなで、自動車業界における、“ウェルビーイング”について考えます。

男性のご参加も歓迎します。

<予定プログラム>

ハイブリッド開催をします。意見交換は、実地/オンライン参加によってテーマおよび申込条件が異なるため、詳細は HP をご確認ください。

パネルディスカッション

意見交換

*会場およびプログラム内容は今後変更となる可能性がございます。

当会ホームページ (<https://www.jsae.or.jp/assoc/hrd/exchange/woman/>) を随時更新しますので、ご確認ください。

⑧ 第8回若手・中堅技術者交流会

無料/要登録

5月29日(金) 10:00～17:00 会議センター 3F 315

本交流会は、同業他社や異業種の会員との交流を通じて、自身の価値観との違いに気づいてもらうことを目的としています。

テーマを「最新技術に触れ合い、語り合おう！」とし、同日に開催している人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA を見学した後、グループディスカッションを行います。

対象：33歳以下の正会員

企画：総務委員会

詳細は当会ホームページ (<https://www.jsae.or.jp/assoc/hrd/exchange/young/>) をご確認ください。

⑨ 技術交流会（会員限定）

無料／要登録

5月27日(水) 18:00～19:30 アネックスホール フォワイエ

テーマ「技術ロードマップ改訂版公開特別セッション：全分野共通課題“DX”を議論するーデジタル技術が自動車に与えるインパクトー」

技術会議と48部門委員会が8年ぶりに改訂した「技術ロードマップ」を本会ウェブサイトにて公開しました。

これを記念し、「DX」をテーマとした特別セッションを開催いたします。

本セッションでは、モビリティDXの取り組み紹介やファシリテーターによる課題提示に加え、参加者の皆様との双方向のグループディスカッションを予定しております。

<プログラム>

- ・話題提供：「モビリティDXに関わる政府と産業界の取り組み」
- ・各分野のファシリテーターによる課題提示
- ・参加者とファシリテーターによるグループディスカッション

対象：本会個人会員（正会員・学生会員）

企画：技術会議

定員：100名

詳細は当会ホームページ（<https://www.jsae.or.jp/taikai/2026haru/Tech-exchange/>）をご確認ください。

⑩ 自動車サイバーセキュリティ講座ハンズオンイベント「実践CANプロトコル解析」

無料／要参加登録

5月28日(木) 9:30～16:30 ノース 2F ガーデンラウンジB

本講座では、自動車の電子制御システムにてCANプロトコルがどのように使われているのか解説します。演習ではシミュレータやテストベッドを使って、CANプロトコルの解析方法が理解できます。

企画：サイバーセキュリティ講座企画委員会 WG

※事前申込制となります。最新情報はホームページをご覧ください。

https://www.jsae.or.jp/assoc/hrd/study/cyber/#can_protocol_analysis

⑪ 人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA

無料／要登録

5月27日(水)～29日(金) 10:00～17:00 展示ホール・ノース・アネックスホール

<https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/> ※ご来場の際は展示会サイトでの来場登録が必要です（4月上旬開始予定）

本年も展示ホール＋ノース1Fホールを利用し、昨年と同規模で開催します。

600社以上の出展社の展示の他、JSAE企画展示「新しい技術との融合で創るクルマとモビリティの未来ーDXと共創で確信する自動車技術ー」や同テーマのJSAE企画講演、新車開発講演などの主催者企画も実施いたします。

また同時開催の「人とくるまのテクノロジー展 2026 ONLINE STAGE1（会期：5/19～6/9）」では、出展技術の検索や見学リスト作成、マップ・マッチング機能など、展示会をより一層楽しんでいただく為の仕掛けをご用意しております。

展示会来場前後の情報収集に是非ご活用ください！

⑫ フォーラム

無料/要登録

5月27日(水)～29日(金) アネックスホール F203, F204, F205+206

プログラム詳細はフォーラム(2026年度)サイトをご覧ください。

<https://www.jsae.or.jp/assoc/event/gakkai/forum/2026YOKOHAMA/>

フォーラムテキストについて

多くのご要望にお応えし、今年の会場販売テキストは、「冊子 + 電子ファイル」をセットでお届けします。お値段は据え置き。ハイブリッドな使い心地をぜひその手に。

■販売場所：アネックスホール フォワイエ Book Store

■価格

| 会員種別 | 大会会場販売 ^{*1} 冊子 + 電子ファイル | 大会終了後販売 ^{*2} 電子ファイルのみ |
|------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 会員 | 3,300～4,400円(税込) ^{*3} /1冊 | 3,520円～4,400円(税込)/1冊 |
| 一般 | | 4,400円～5,500円(税込)/1冊 |

^{*1} 大会期間中、会場でのみ(冊子 + 電子ファイル)版を販売します。大会期間中の特別価格になります。

^{*2} 大会終了後は、本会サイト/文献情報検索システムから、電子ファイル版のみ購入いただけます。

^{*3} 大会期間中は、会員資格を問わず同じ価格で購入いただけます。

📅 5月27日(水) 開催

アネックスホール F203+204

Y1. モータースポーツフォーラム「モータースポーツ技術と文化」

9:30～13:00

[テキスト 3,300円(税込)]

モータースポーツ部門委員会では、モータースポーツの技術と文化をテーマに、今年もフォーラムを開催いたします。現在、自動車産業でも次世代を担うエンジニアの確保が課題となっています。この様な中で、モータースポーツが誕生以来担ってきた、「次世代技術の創出」そして「車の面白さを伝える」役割が改めて大事になっています。本フォーラムでは、これらを広く、特に若者に向けて発信していきたいと思っています。今年のフォーラムでは、“モータースポーツを通じた人材育成”、“日本が作った新しい車両開発の話”、“走りを支えるタイヤ開発”の講演に加え、モータースポーツを体現する現役ドライバーへのインタビュー講演を予定しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

企画：モータースポーツ部門委員会

プログラム

| 司会 | 司会 |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| 小坂 典嵩(SUBARU) | 加藤 英晃(東海大学) |
| 9:30 挨拶 | 11:25 人と技術がつくるスピード～レーシングドライバーの挑戦 |
| 小山 裕清(トヨタ自動車・モータースポーツ部門委員会委員長) | 山下 健太(DSL)・藤井 順子(WOMEN IN MOTORSPORT) |
| 9:35 F1タイヤ開発体制の構築 | 12:10 JMIA NEXT FORMULA PROJECTへの挑戦 |
| 浜島 裕英(元ブリヂストン・元フェラーリF1チーム) | 天澤 天二郎(童夢) |
| 10:20 サーキットが教室に!モータースポーツ×STEAMへの挑戦 | 12:55 挨拶 |
| 藤本 哲也(トムス) | 斉藤 英司(横浜ゴム) |
| 11:05 休憩 | |

アネックスホール F203+204

Y2. サーキュラーエコノミーとリサイクル価値 ～指標を中心に～

14:00～17:30

[テキスト 3,300円(税込)]

本フォーラムでは、サーキュラーエコノミーの実現に向けた議論として、リサイクル価値との関係性を深掘りすることを目的とします。たとえば、共通ルールの策定、情報共有プラットフォームの構築や、製造者・消費者、異業種間が連携するビジネスモデルなどを、専門家・実務家による話題提供とパネルディスカッションを通して議論します。

企画：リサイクル技術部門委員会

プログラム

| | |
|---|-----------------------------|
| 司会 | 16:30 休憩 |
| 鈴木 敦(SUBARU) | 16:45 パネルディスカッション |
| 14:00 挨拶 | モデレータ 齋藤 優子(東北大学) |
| 木村 眞実(長崎大学・リサイクル技術部門委員会委員長) | パネリスト 永井 隆之(トヨタ自動車) |
| 14:10 講演 | パネリスト 松八重 一代(東北大学) |
| 松八重 一代(東北大学) | パネリスト 高尾 尚史(豊田中央研究所) |
| 15:00 サーキュラーエコノミーの実現に向けた資源循環の評価指標とリサイクル技術 | パネリスト 星野 攻(日立製作所) |
| 高尾 尚史(豊田中央研究所) | 17:25 挨拶 |
| 15:45 日立-産総研CEラボの国際標準化の取り組み —「CE付加価値の生産性」を中心に— | 木村 眞実(長崎大学・リサイクル技術部門委員会委員長) |
| 星野 攻(日立製作所) | |

アネックスホール F205+206

Y3. Cars that think and communicate ～高度自動運転へ互いにわかりあえるクルマを目指して～

9:30～12:50

[テキスト 3,300円(税込)]

自動車における自律・自動運転技術は、実用化に向けた開発が積極的に行われ、市販化の取り組みも既に始まっている。このような自動車技術の革新は、自律・自動運転（走行）に関わる技術だけでなく、人と車に関わる車載機器や車が周囲と通信することにより実現される新たなサービスや、AIを用いた新たな制御プロセスなど、自動車技術のあり方が大きく影響を受け始めている。本フォーラムでは、エレクトロニクス、自動運転技術の2部門委員会の合同で、安全で信頼できる自律・自動運転の実現に必要な、車が自ら考え、運転者や周囲と協調する技術について議論し、近未来技術やその可能性を紹介し、将来の方向性について考える。

企画委員会：エレクトロニクス部門委員会・自動運転技術部門委員会

プログラム

| | |
|--------------------------------------|---|
| 司会 | 司会 |
| 梶川 忠彦(U'eyes Design) | 菅沼 直樹(金沢大学) |
| 9:30 挨拶 | 11:15 自動運転における安全性の向上と評価 |
| 松村 英樹(交通安全環境研究所・エレクトロニクス部門委員会委員長) | 下村 晃太(中部大学/Elith) |
| 9:35 「ひと中心」の未来モビリティ社会 | 12:00 医療現場を変える医療DX:患者体験と働き方改革を起点にしたメタバース/DT/生成AIの活用 |
| 栃岡 孝宏(マツダ) | 長谷井 嬢(岡山大学病院) |
| 10:20 自動運転モビリティサービスの実証実験により得られた学びと課題 | 12:45 挨拶 |
| 木村 健(日産自動車) | 山下 隆義(中部大学・自動運転技術部門委員会委員長) |
| 11:05 休憩 | |

アネックスホール F205+206

Y4. 電化道路（走行中ワイヤレス給電）とスマートモビリティ社会に向けた最近の動向

14:00～17:30

[テキスト 3,300円(税込)]

脱炭素社会の将来都市・道路インフラとして期待の電化道路（ERS）構築に向けて、2025年の大阪・関西万博で6か月にわたり走行中ワイヤレス給電バスの実証走行が実施されました。

これはGI（グリーンイノベーション）基金の「スマートモビリティ社会の構築プロジェクト」の一環です。

一方で欧州、米国、中国などでも実証が精力的に進んでいてフランスでは昨年夏から高速道路での世界初の実装が始まっています。

日本でも2024年秋から公道での実証試験が柏の葉キャンパス地区で行われています。

本フォーラムでは、走行中給電にとどまらず、道路システムとして電化道路、都市社会インフラとしての電力エネルギーマネジメントシステム、および国際標準など関連する諸分野の最近の動向と将来像を、基礎から網羅的に解説・紹介します。

2050年の日本および世界のe-モビリティ社会を考える上で貴重な機会となります。

企画委員会：ワイヤレス給電システム技術部門委員会

プログラム

| | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 司会 | 15:40 休憩 |
| 畑 勝裕(芝浦工業大学) | 15:50 電力会社の考えるスマートモビリティ社会と電化道路 |
| 14:00 挨拶 | 児玉 智(関西電力) |
| 居村 岳広(東京理科大学・前ワイヤレス給電システム技術部門委員会委員長) | 16:20 大阪・関西万博での電化道路実証 |
| 14:10 電化道路(ERS)の世界動向-欧州調査他 | 鶴田 義範(ダイヘン) |
| 大島 竜輝/矢間 裕大(三菱総合研究所) | 16:50 走行中給電国際標準化の現在地と方向性 |
| 14:40 Electreonが推進する世界の電化道路 | 横井 行雄(元京都大学) |
| 木下 剛(Electreon wireless) | 17:20 挨拶 |
| 15:10 全国高速道路ネットワークにおけるDWPT最適配置について | 日下 佳祐(長岡技術科学大学・ワイヤレス給電システム技術部門委員会委員長) |
| 本間 祐大(東京大学) | |

5月28日(木) 開催

アネックスホール F203

Y5. 現役エンジニアから若者へ送るメッセージ～エンジニアの道×二輪の未来～

14:00～17:30

[テキスト 3,300円(税込)]

モーターサイクルは四輪の自動車に比べて軽くて小さいため、持続可能なモビリティ社会において必要不可欠な乗り物です。“人馬一体”と言われるように二輪車には車体を操る「楽しさ」があり、これが人々を惹きつける重要な魅力です。私たち「二輪車の運動特性部門委員会」の学術的な意義もここにあります。モーターサイクルの開発エンジニアはどのような想いでこの「楽しさ」に取り組んでいるのでしょうか？本フォーラムでは各完成車メーカーや部品メーカーで活躍している現役エンジニアが、若いエンジニアや学生の皆さんに伝えたい、モーターサイクルづくりならではの面白さややりがいについてお話しします。これからのキャリア構築を考えている若いエンジニアの皆さんや、企業リサーチを始めようとしている学生の皆さんのご参加を心から歓迎します。

企画委員会：二輪車の運動特性部門委員会

プログラム

| | |
|--|---------------------------------|
| 司会 | 15:35 二輪の運動性能を操る |
| 景山 一郎(日本大学) | ～小さな接地面に込められたタイヤ設計者の意思～ |
| 14:00 挨拶 | 大谷 匡史(住友ゴム工業) |
| 原口 哲之理(名古屋大学・前二輪車の運動特性部門委員会委員長) | 16:00 休憩 |
| 14:10 モーターサイクルの車体開発 | 16:10 パネルディスカッション エンジニアの道×二輪の未来 |
| 小切間 仁人(カワサキモーターズ) | モデレータ 景山 一郎(日本大学) |
| 14:35 セッティングからシミュレーションへ一車体挙動のみえる化～ | パネリスト 小切間 仁人(カワサキモーターズ) |
| 浅川 優(Astemo) | パネリスト 浅川 優(Astemo) |
| 15:00 休憩 | パネリスト 中井 一穂(本田技研工業) |
| 15:10 二輪車の良いところは、世界中どこでも「乗って楽しい&気持ちよい」である! | パネリスト 大谷 匡史(住友ゴム工業) |
| 中井 一穂(本田技研工業) | 17:20 挨拶 |
| | 原口 哲之理(名古屋大学・前二輪車の運動特性部門委員会委員長) |

アネックスホール F205+206

Y6. 社会変革と次世代のモビリティ

14:00~17:30

[テキスト 3,300円(税込)]

近年、CASEやMaaS (Mobility as a Service) による産業融合に加え、DX (デジタルトランスフォーメーション) によるデジタル化の加速、GX (グリーントランスフォーメーション) による脱炭素化の推進、さらにはAIやデジタルツインといった先端技術の革新が、社会全体に大きな変化をもたらしている。モビリティ社会部門委員会では、DXとGXを取り入れた新しいモビリティがもたらす社会変革を見据え、自動車技術の革新と社会実装に向けて議論を行っている。本フォーラムでは、自動車分野に加えて、交通工学や医学、情報学、経営学、法学等といった広範囲の話題について多面的に議論を行う内容となっている。

企画委員会：モビリティ社会部門委員会

プログラム

| | |
|-------------------------------------|--|
| 司会 | 16:10 Luup社におけるマイクロモビリティサービスの取り組み |
| 杉町 敏之(東京都市大学) | 岡井 大輝(Luup) |
| 14:00 挨拶 | 16:45 欧州等におけるマイクロモビリティの現状と今後に向けた取組について |
| 鈴木 高宏(麗澤大学・モビリティ社会部門委員会委員長) | 北浜 謙一(トヨタ自動車) |
| 14:10 次世代のITSに関する道路分野の取組 | 17:20 挨拶 |
| 竹下 正一(国土交通省) | 須田 義大(東京工科大学・前モビリティ社会部門委員会委員長) |
| 14:45 屋内外を問わず移動するロボットの自律走行技術 | |
| 大川 一也(千葉大学) | |
| 15:20 多様なパーソナルモビリティ・ビークルの運動特性と社会受容性 | |
| 中川 智皓(大阪公立大学) | |
| 15:55 休憩 | |

5月29日(金) 開催

アネックスホール F203

Y7. 自動車のサイバーセキュリティ最前線

9:30~12:30

[テキスト 3,300円(税込)]

自動車のSDV (Software Defined Vehicle) 化が進展する中、車両はクラウドと連携した高度なソフトウェアによって制御されるようになる中で、さまざまな攻撃サーフェスからのサイバー攻撃の脅威にさらされています。UN-R155やISO/SAE 21434などの国際法規・規格に基づき、車両のライフサイクル全体でのセキュリティ対策が求められる今、最新のインシデント事例や標準化動向を共有し、関係者が連携して安全なモビリティ社会の実現を目指すことが重要です。本フォーラムでは、自動車のサイバーセキュリティの最前線について議論を深めます。

企画委員会：サイバーセキュリティ講座企画委員会/サイバーセキュリティ技術部門委員会

プログラム

| | |
|--|--|
| 司会 | 11:05 休憩 |
| 石塚 義章(マレリ) | 11:15 CWEの使い方入門 |
| 9:30 挨拶 | 萱島 信(Astemo) |
| 倉地 亮(名城大学/名古屋大学・サイバーセキュリティ講座企画・技術部門委員会委員長) | 11:55 休憩 |
| 9:35 自動車業界におけるSBOM活用 | 12:00 自動車サイバーセキュリティに関する人材育成の取組「VCC2026」 |
| 山崎 雅史(J-Auto-ISAC) | 小田 章展(VicOne) |
| 10:15 休憩 | 12:25 挨拶 |
| 10:25 Rust言語におけるサイバーセキュリティ対応 | 倉地 亮(名城大学/名古屋大学・サイバーセキュリティ講座企画・技術部門委員会委員長) |
| 藤井 和志(JASPAR/マツダ) | |

アネックスホール F203

Y8. モデルベース開発とモデル流通による自動車開発の革新に向けて

13:30~17:00

[テキスト 4,400円(税込)]

自動車開発において、開発要求の高度化・複合化や開発期間短縮の要請、AIなどの革新技術取り込みの必要性などから、モデルベース開発(MBD)とそのための他部署や他社とのモデル流通への期待が高まっている。本フォーラムでは、AI応用、MBDや国際的モデル接続インターフェイス規格FMI(Functional Mockup Interface)・SSP(System Structure and Parameterization)に関する諸委員会活動、vECU(仮想ECU)や欧州でのモデル接続・流通の活動事例、および、産学でのMBD・AI応用事例などを紹介し、今後の自動車開発の革新について俯瞰・議論することを狙いとす。

企画委員会：自動車制御とモデル研究部門委員会

プログラム

| | |
|---|---|
| <p>司会 平野 豊(平野リサーチラボ)</p> <p>13:30 挨拶 平野 豊(平野リサーチラボ)</p> <p>13:35 “AI-Formula”による次世代フィジカルAI教育 岡田 真也(本田技術研究所)</p> <p>13:55 視覚エンドツーエンド模倣学習に基づくAIフォーミュラロボットの自律走行制御 ZHOU Owen Zi-Wen(上智大学)</p> <p>14:15 産学連携による形で考えない本質設計 ～DX×AI本質設計:エネルギー伝達で設計判断を知能化～ 塩崎 弘隆(次世代音振基盤技術研究会 形で考えないNVH設計研究会/三菱自動車工業株式会社) 山崎 徹(次世代音振基盤技術研究会 形で考えないNVH設計研究会/神奈川大学)</p> <p>14:40 SDV時代に向けた仮想ECUシミュレーションの動向調査 荒木 大(東芝)・坂本 裕和(イーソル)・吉松 則文(3V-SG)・渡邊 晃(日産自動車)</p> | <p>15:05 休憩</p> <p>15:15 産業界におけるMBD実践事例(1) アルプスアルパイン MBSE取り組み事例紹介 二上 文人(アルプスアルパイン)</p> <p>15:40 産業界におけるMBD実践事例(2) eAxle熱モデル流通の事例紹介 舩久 達也(アイシン)</p> <p>16:05 prostep ivip SmartSE initiative as enabler for collaborative simulation based Engineering Heinkel Hans-Martin(Robert Bosch GmbH/prostep ivip Association)</p> <p>16:30 How to Clear the Noise and Make Decisions ? Barbedienne Romain(IRT SystemX)</p> <p>16:55 挨拶 人見 光夫(マツダ)</p> |
|---|---|

アネックスホール F204

Y9. 『共創』『連携』 AI・デジタルツインで描く 未来のモノづくりとコトづくり

9:00~12:30

[テキスト 3,300円(税込)]

生成AIをはじめとするデジタル技術やGX技術の飛躍的な進展により、自動車産業は大きな転換期を迎えています。製品性能の追求を中心とした従来の『モノづくり』から、ユーザーに新たな体験や価値、サービスを提供する『コトづくり』へのパラダイムシフトが進む一方で、企業・大学・地域が相互に「共創」「連携」する新たな産業構造の形成も同時に進みつつあります。本フォーラムでは、『共創』『連携』をキーワードに、次世代の生産技術の方向性と展開について最新動向を交えて紹介します。さらに、2055年の社会・生活環境を見据え、『モノづくりからコトづくり』をテーマに自動車メーカー各社の若手生産技術者が議論を重ねてきたワーキンググループの成果を共有します。最新技術と未来構想が交差する本フォーラムが、未来の自動車技術を共に考え、議論を深める場となることを期待しています。

企画委員会：生産加工部門委員会

プログラム

| | |
|---|--|
| <p>司会 小倉 純一(ヤマハ発動機)</p> <p>9:00 挨拶 森重 功一(電気通信大学・生産加工部門委員会委員長)</p> <p>9:05 基調講演:DX時代のモノづくり産学協働プロジェクト 杉田 直彦(東京大学)</p> <p>9:35 基調講演:自動車産業を取り巻く環境と課題 ～包括的・有機的連携強化“仲間づくり”～ 門野 英彦(トヨタ自動車)</p> <p>10:05 スズキ・スマート・ファクトリー(SSF)創造に向けたAI活用と推進～現場課題解決とAIエンジニア育成～ 北澤 瑛二(スズキ)</p> <p>10:25 Hondaの新たな設備づくりへの挑戦～共創×バーチャルコミッションングが拓く未来～ 丸山 庸輔(本田技研工業)</p> <p>10:45 「ZERO BLUE LAB 未森」Scope1/2カーボンニュートラルへの取組みについて 奥出 智重(ヤマハ発動機)</p> | <p>11:05 休憩</p> <p>11:15 『つくって終わらない』 2055年多様化するモビリティに向けた生産の進化 生産加工部門委員会ワーキンググループ 馬場 大輔(いすゞ自動車)・横井 佑(ダイハツ工業)・柳瀬 翼(ヤマハ発動機)・上田 知明(トヨタ自動車)・屋田 智子(日産自動車)</p> <p>11:55 パネルディスカッション『つくって終わらない』 2055年多様化するモビリティに向けた生産の進化 モデレータ 鈴木 教和(神戸大学) パネリスト 杉田 直彦(東京大学) パネリスト 門野 英彦(トヨタ自動車) パネリスト 池西 貴昭(マツダ) パネリスト 村尾 康平(SUBARU) パネリスト 角田 大地(本田技研工業)</p> <p>12:25 挨拶 森重 功一(電気通信大学・生産加工部門委員会委員長)</p> |
|---|--|

アネックスホール F204

Y10. マルチパスウェイを支えるカーボンニュートラル燃料のエンジン燃焼シミュレーション技術の最前線

13:30~17:00

カーボンニュートラル社会の実現に向け、合成燃料、バイオ燃料、水素燃料、アンモニア燃料など多様な選択肢（マルチパスウェイ）を活用した内燃機関の高度化が求められています。これらの燃料は物性や反応特性が大きく異なるため、燃焼挙動の理解と予測には高精度なシミュレーション技術が不可欠です。本フォーラムでは、燃焼解析、反応モデル、ノック予測などの最新技術を紹介し、産学官の連携による技術開発の加速と、持続可能なモビリティ社会の構築に貢献することを目的とします。

企画委員会：CFD 技術部門委員会

プログラム

| | |
|--|--|
| 司会 野口 泰(トヨタ自動車) | 15:25 カーボンニュートラル燃料対応SIエンジン開発のための燃焼シミュレーション技術構築 山田 敏之(三菱自動車工業) |
| 13:30 挨拶 永岡 真(大阪産業大学) | 15:55 低炭素ガソリンのノッキングと排気成分の制御 河野 通治(マツダ) |
| 13:40 カーボンニュートラル実現に向けた日本のパワートレイン開発戦略 草鹿 仁(早稲田大学) | 16:25 含酸素燃料オキシメチレンジメチルエーテルを対象にしたディーゼルエンジン燃焼解析 古川 伸哉(いすゞ中央研究所) |
| 14:25 AICEのカーボンニュートラル戦略とHINOCAの開発状況 伊藤 貴之(日本自動車研究所) | 16:55 挨拶 田中 博(トヨタシステムズ・CFD技術部門委員会委員長) |
| 15:10 休憩 | |

アネックスホール F205+206

Y11. 持続可能な自動車社会が不確実な状況下、我々技術者はどう立ち向かうべきか？

9:00~12:30

近年、世界各地でカーボンニュートラルへの取組みが加速する中で、自動車を含むモビリティに関しては、その技術のみならず利便性や経済合理性も満足しなければお客様に選んでいただけない事がわかってきました。本フォーラムでは、AIやCASEといった急速に進化する技術と共に、エネルギーから社会環境まで、幅広い領域の専門家にご登壇いただき、持続可能な自動車社会の実現に向けた最新動向や今後の課題について議論します。多様な視点を交えたディスカッションを通じて、参加者の皆様とともに新たな気づきを共有する場を目指します。

企画委員会：持続可能な自動車社会検討部門委員会

プログラム

| | |
|--|--|
| 司会 吉田 郁哉(PwCコンサルティング) | 10:50 自動車業界から見た脱炭素化の視点 —グローバルな制約と供給側への期待 大場 紀章(ポスト石油戦略研究所) |
| 9:00 挨拶 前田 義男(早稲田大学・持続可能な自動車社会検討部門委員会委員長) | 11:10 休憩 |
| 9:10 道路交通部門のエネルギーランジション:カーボンニュートラルへの現実解 秋元 圭吾(地球環境産業技術研究機構(RITE)) | 11:20 パネルディスカッション モデレータ 大聖 泰弘(早稲田大学) パネリスト 秋元 圭吾(地球環境産業技術研究機構(RITE)) パネリスト 横山 明彦(東京大学) パネリスト 坂田 興(エネルギー総合工学研究所) パネリスト 大場 紀章(ポスト石油戦略研究所) |
| 9:50 次世代電力システムにおけるEVを含むローカルフレキシビリティの活用に向けて 横山 明彦(東京大学) | 12:20 挨拶 塩路 昌宏(京都大学) |
| 10:30 水素普及の現状、課題および展望 坂田 興(エネルギー総合工学研究所) | |

アネックスホール F205+206

Y12. 持続可能なモビリティ社会を実現する材料技術の最新動向

13:30～16:55

[テキスト 4,400円(税込)]

近年の自動車を取り巻く環境の変化により、従来からの課題である環境負荷低減、軽量化、燃費向上などに加えて、新たに電動化、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー、そしてLCAなどへの対応も求められており、自動車の大きな変革時期となっている。材料部門委員会では、鉄鋼、軽金属、化成品分野から自動車を支える材料技術の情報を広く報知する活動を行っている。自動車の大変革を担う材料技術について、その最新の動向に焦点をあて材料フォーラムを企画した。

本フォーラムでは特に鉄鋼・軽金属・化成品分野について、自動車及び材料メーカー関係者に加えて、日本鉄鋼協会、日本塑性加工学会、日本金属学会との合同企画として基礎研究者も迎え、自動車用材料技術の方向性を共有したい。

企画委員会：材料部門委員会

協賛：公益社団法人日本金属学会・一般社団法人日本鉄鋼協会・一般社団法人日本塑性加工学会

プログラム

| 司会 | 司会 |
|--|--|
| 梶岡 信由(マツダ) | 田中 高太郎(本田技術研究所) |
| 13:30 挨拶 長谷川 誠(横浜国立大学・材料部門委員会委員長) | 15:25 金属3Dプリンタを活かした合金設計原理とそれに基づくアルミニウムの高機能化 高田 尚記 (名古屋大学) |
| 13:35 「運ぶ」を支える有機材料 保坂 洋(いすゞ自動車) | 15:50 休憩 |
| 14:00 グルマづくりの未来を支える鉄鋼の総合ソリューション技術 佐藤 浩一(日本製鉄) | 16:00 ギガキャストの動向と課題 新田 真(リョービ) |
| 14:35 自動車製造の革新をもたらす種々の固相接合技術と接合分離技術 藤井 英俊(大阪大学) | 16:25 自動車塗装における持続可能な究極の意匠を目指して 藤枝 宗(関西ペイント) |
| 15:00 多品種少量生産に向けたデータ駆動型の逐次成形技術 藤村 南(豊田中央研究所) | 16:50 挨拶 田中 高太郎(本田技術研究所) |

会員特典!! JSAE 会員ラウンジへお越してください!

2026 年春季大会会期中に会員特典である JSAE 会員ラウンジを開設致します。

会員特典として個人会員の方は会員証を提示して JSAE 会員ラウンジに入室頂ければ、無料でコーヒー・紅茶・緑茶・水が飲み放題です。(セルフ方式)

会員ラウンジには電源タップも設置しておりますので、PC、スマートフォン等の充電やメールチェック等の作業も可能です。セッションの合間や会員同士の交流にご利用ください。

なお、**当日 Web で入会申請頂ければその場で利用可能となりますので、非会員の方も是非この機会にご入会ください。**

39 歳以下の方なら今年度会費無料キャンペーン実施中で大変お得です!

会員証を持って JSAE 会員ラウンジへ Go !

開設期間：5 月 27 日 (水) ～ 29 日 (金)

開設時間：27 日 8:00 ～ 17:00

28 日 8:30 ～ 17:00

29 日 8:30 ～ 17:00

会場：パシフィコ横浜 アネックスホール 2F フォワイエ

提供内容：コーヒー、紅茶、緑茶、水、PC 電源



学術講演会プログラム (90 セッション・400 講演)

- 本プログラムは 2026 年 4 月 24 日付の申込データに基づき作成されたものです。予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください
- 講演のabstractは自動車技術会 web サイト「タイムテーブル」からご覧下さい。
(<https://gakkai-web.net/jsae/s/2026/program/data/jp/time-table.html>)
- < OS > は、特定のテーマに絞って企画されたオーガナイズドセッションです。
- この学術講演会プログラム発行以降に講演取下げとなる可能性があります。
- 講演番号を□印で囲んだ講演は英語講演です。
- 講演番号の隣の「★」は後日配信がない講演です。

JSAE Annual Congress Spring, Technical Session Program

- This program is based on the data as of April 24th, 2026. Please note that information may change without notice.
- The abstracts of the presentations are available on the timetable of the website. [<https://gakkai-web.net/jsae/s/2026/program/data/en/time-table.html>]
- < OS > is the organized session focused on the specific themes.
- There may be withdrawn presentations.
- Boxed numbers denote English presentations.
- A "★" next to presentation number indicates that the presentation will not be streamed after the congress.

G301+G302

[9:30 ~ 11:10]

1 車両の運動と制御 I

Vehicle Dynamics and Control I

< OS > 座長：服部 義和 (豊田中央研究所)

【企画委員会】車両運動性能部門委員会

【オーガナイザー】服部義和 (豊田中央研究所), ラクシンボンサトーン (東京農工大学), 高橋絢也 (日立製作所), 勝山悦生 (トヨタ自動車), 平尾隆介 (Astemo)

- 001 車両過渡挙動のモード解析
日下 馨・湯原 隆博・小环 慎吾 (本田技術研究所)
- 002 操舵と路面凹凸の複合入力下における操縦安定性の解析 (第2報)
田中 歩武・芝端 康二・山門 誠・山本 真規・安部 正人・狩野 芳郎 (神奈川工科大学)
- 003 操舵トルク応答特性設計に向けた操舵系共振周波数の力学的導出
-操舵感の一構成要素としての動的応答の高精度モデル化-
酒井 英樹 (近畿大学)
- 004 モータースポーツにおけるドリフト走行についての車両動力学数式モデル
足立 由夫

[12:10~14:50]

2 車両の運動と制御 II

Vehicle Dynamics and Control II

< OS > 座長：勝山 悦生 (トヨタ自動車)

【企画委員会】【オーガナイザー】

セッション1と同じ

- 005 直進から円旋回に至る操舵過程における τ_L 評価手法を用いた操舵特性の評価
齋藤 覇流・安部 正人・山門 誠・狩野 芳郎・山本 真規・望月 宏真 (神奈川工科大学)
- 006 サスペンションボールジョイントがドライバの操舵特性評価に及ぼす影響
木下 優音・石塚 慶 (神奈川工科大学)
矢部 健司・平野 伸 (エッチ・ケー・エス)
河守 征吾 (ソミック石川)
安部 正人・狩野 芳郎・山本 真規・山門 誠 (神奈川工科大学)
- 007 直進走行中の外乱入力に対する τ_L 評価手法を用いた操舵特性の評価
鈴木 礼音・安部 正人・狩野 芳郎・山本 真規・久代 育生・山門 誠・齋藤 覇流・内海 開 (神奈川工科大学)
石尾 隼 (本田技研工業)
- 008* 操舵系と車両運動の連成構造に関する基礎的考察
石尾 隼 (本田技研工業)
安部 正人・山本 真規・山門 誠 (神奈川工科大学)
- 009 ステアバイワイヤEPS用ストロークセンサの精度向上の検討
白川 洋平・柳澤 宜昭・池田 幸雄 (プロテリアル)
- 010* Adaptive Yawrate Control Based on Cornering Detection in Electric Rear Wheel Steering
Taehong Kim (Hyundai Mobis)

[15:20~17:25]

3 車両の運動と制御 III

Vehicle Dynamics and Control III

< OS > 座長: 高橋 絢也 (日立製作所)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション1と同じ

- 011 バンドストップフィルタを用いた車両ピッチ振動低減制御の開発
松元 勇磨 (トヨタ自動車)
- 012 車両実走行および輸送における振動・衝撃の基礎的研究
(第1報)
打田 宏 (輸送品質技研)
- 013 制御デバイス特性を考慮した加速感と乗り心地を両立するピッチ減衰統合制御
竹内 琢磨・松元 勇磨 (トヨタ自動車)
- 014 プロペラシャフト方式AWDの内部循環トルクによるピッチ減衰モーメントの影響
小西 伸哉・香村 伸吾 (トヨタ自動車)
- 015 振動子を用いた、人への刺激によるドライバ遅れ時間 (τ_L) の検証
加藤 朋弥・奥田 哲大 (トヨタ紡織)

G303

[9:30~10:45]

4 最新の振動騒音・音質技術 I

The Latest Noise, Vibration and Sound Quality Technology I

< OS > 座長: 杉山 康二 (スズキ)

【企画委員会】振動騒音部門委員会, 音質評価技術部門委員会
【オーガナイザー】市川 佳 (本田技術研究所), 見坐地一人 (日本大学), 坂本優美子 (VI-grade), 三津山元基 (いすゞ自動車)

- 016 片持ち支持遮熱板の振動抑制による加速走行騒音の低減
米内 悠 (UDトラックス)
- 017 機械学習により得られた多次元設計空間の分析による3気筒エンジンのアイドル振動のロバスト化とメカニズムの解明
山本 和志・Victor Picheny・Qi Qi (Secondmind)
- 018 EDU搭載適合におけるハイブリッド動的サブストラクチャリング手法を用いた効率的なNVH開発の提案
村松 憲幸 (エフ・イー・ヴィ・ジャパン)
Christoph Steffens (FEV Europe)
Ahmed El-Mahmoudi・Christopher Lechner (FEV Vehicle)

[11:45~13:50]

5 最新の振動騒音・音質技術 II

The Latest Noise, Vibration and Sound Quality Technology II

< OS > 座長: 森田 英憲 (トヨタ自動車)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション4と同じ

- 019 逆行列法TPAにおける安定化パラメータ決定方法
-第1報:ロードノイズでの検証-
柏崎 紘・竹下 真・翁 志強・村瀬 道夫 (小野測器)
- 020 Virtual Point Transformationのための測定点決定方法
竹下 真・柏崎 紘 (小野測器)

- 021 広域・非定常音響現象のためのマルチフィジックス同時計測・可視化システムの構築
伴 武郎・古澤 悠人 (ダイハツ工業)
寺島 修 (岐阜大学)
牧野 斗哉 (富山県立大学)
竹原 大翔 (岐阜大学)

- 022 コンポーネントモード解析を用いた開発初期における低周波NV事象に対する車両上屋構造構築手法
梶 真一・片桐 章彦 (本田技術研究所)
望月 隆史 (エステック)
成國 星哉 (本田技術研究所)

- 023 交差点での視野外車両の音響信号による検知
-対向車との識別-
石濱 正男 (石濱技研)
萩野 直人 (神奈川工科大学)

[14:20~16:00]

6 最新の振動騒音・音質技術 III

The Latest Noise, Vibration and Sound Quality Technology III

< OS > 座長: 市川 佳 (本田技術研究所)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション4と同じ

- 024 タイヤ車外騒音の評価技術開発と発生メカニズム検討 (第2報)
宗 虎太郎・谷本 隆一 (セキソー)
- 025 全系共振に対するサスペンションとタイヤのモードエネルギー寄与度解析
橋岡 正人・駒田 匡史・水野 浩明 (トヨタ自動車)
松村 雄一 (岐阜大学)

- 026 A Machine Learning Approach to Estimate Tire Block Force Spectrum for Road Noise Simulation
Yonghun Kim・Taeyoung Kim・Hyunseok Kang (Hankook Tire)

- 027 Efficient Machine Learning Optimization of Gear Micro Geometry and Comparison with Manually Designed Gears
Andrew Wild・Simon Terry・Paul Langlois (SMT)
Jaekwon Lee・Shinya Sudo (Hino Motors)

G304

[9:30~12:10]

7 車載ソフトウェア技術 I

- 設計開発手法と検証 -

Automotive Software Technologies I

- Design/Development Methodologies and Verification -

< OS > 座長: 松原 豊 (名古屋大学)

【企画委員会】学術講演会運営委員会
【オーガナイザー】大門 樹 (慶應義塾大学), 須藤 晶 (本田技術研究所), 栗谷川幸代 (日本大学), 松原 豊 (名古屋大学)

- 028 MBSEによる上流要求と下流諸元間の双方向設計収束を目指したデジタルスレッド基盤の構築
島村 青之・土川 晴久・鈴木 千里・穂積 麻巳・庄司 喜代隆・野口 隆三・西脇 聡・香月 亮二 (日産自動車)

- 029 A Study on Model Development Guidelines for MBD
Seung Jun Back・Ji Wan Son (Hyundai Motor)

- 030 Sound Static Analysis for Safety and Security
Daniel Kästner・Reinhard Wilhelm・Christian Ferdinand・Adrian Dapprich (AbsInt)

031 Formally Verified Compilation in the Context of Functional Safety
 Daniel Kästner · Bernhard Schommer ·
 Alexander Rogovsky · Michael Schmidt ·
 Adrian Dapprich (AbsInt)

032 CBMCによる車載ソフトウェアのモデル検査
 三治 真也 · 黄 文鴻 (デンソー)

033 Why Model Credibility Isn't Enough:
 -Rethinking Trust in Simulation Architectures-
 Romain Barbedienne · Adeline Lanugue · Rim Kaddah
 (IRT SystemX)
 Julien Silande (IRT SystemX/Keysight Technology)
 Anthony Levillain (OPmobility Alphatech)
 Cedric Leclerc (Renault Technocentre)
 Maxime Hayet (Stellantis)
 Boussaad Soualmi · Cristian Maxim (IRT SystemX)

【13:00~16:05】

8 車載ソフトウェア技術 II
 -ソフトウェア基盤 -
 Automotive Software Technologies II
 -Software Infrastructure and Platforms-
 < OS > 座長: 毛 思遥 (デンソー)

【企画委員会】【オーガナイザー】
 セッション7と同じ

034 SDVの実現に向けたAUTOSARの取り組み
 -(第4報)ミドルウェアにおけるOSS (Open Source Software)
 活動-
 後藤 正博 (AUTOSAR)

035 CI (継続的インテグレーション)適用による先進運転支援ソフトウェア開発の効率化の取り組み
 -(第2報)クラウド活用によるスケラビリティ確保とテスト
 並列化-
 葉 松 · 湯原 拓朗 · 南部 朋紀 (日産自動車)

036 Flexible Automotive Software Architecture Utilizing Container Orchestration and PCIe
 Lukas Stahlbock · Jan Weber · Emre Can Cetin (IAV)
 Takuya Nigoro · Shingo Ise (IAV Japan)

037 Improving Continuous Development Efficiency Along the Full Project Lifecycle
 -The CODE4EV Framework for Software Defined Vehicles-
 Eric Armengaud (Armengaud Innovate)
 Bogdan Kowalczyk (APTIV Technical Center)
 Jože Buh · Tomaž Komparac
 (ELAPHE Propulsion Technologies)
 José Manuel Rodríguez · Miguel Barcelona (ITAINNOVA)
 Valentin Ivanov (Technische Universität Ilmenau)
 Benedikt Lindner-Rabl (BET-MOTORS)
 Walter Lhomme (University of Lille)
 Andrea Luzzana (FAE Technology)

038 Legacy Meets Future: SOA Migration and Signal-to-Service Integration for Automotive HPCs
 Jyotsana Singh · Piyush Burangi · Rital Surana ·
 Arshiya Shaikh · Uzeena Mhaskar
 (FEV Smart Mobility Centre)
 Pravinjoelraj Victorsam · Masato Ugaki (FEV Japan)

039 A Semantics-Preserving Master Scheduler for Mixed-Criticality Control in Lingua Franca
 Yutaka Matsubara (Nagoya University)
 Wenhung Kevin Huang · Akihito Iwai (DENSO)

040 Software Updates as Enabler for Cyber Security in the CV Domain
 -From Regulations to Processes to a One-Stop System Solution-
 Alexander Roy · Gila-Marie Achenbach (IAV)
 Dennis Kengo Oka (IAV Japan)

【16:30~18:10】

9 カーボンニュートラルに資する熱・流体技術 I
 -最新のCFD技術 -
 Thermal and Fluid Technologies Contributing to a Carbon Neutral Society I
 -Computational Fluid Dynamics (CFD)-
 < OS > 座長: 福田 紘大 (東海大学)

【企画委員会】CFD技術部門委員会, 流体技術部門委員会, 伝熱技術部門委員会, 車室内環境技術部門委員会
 【オーガナイザー】田坂知寛 (エクセディ), 田中 博 (トヨタシステムズ), 大島晃二 (小松製作所), 野口 泰 (トヨタ自動車)

041 テールゲート見切り内部で発生する空力騒音予測手法の開発
 伊藤 祐太 (トヨタ自動車)
 山田 悟 (ダッソーシステムズ)
 齋田 歩 (トヨタ自動車)
 Lorenzo Prati (Dassault Systemes Singapore Pte)
 安岡 志朗 (トヨタ自動車)

042 分離解法を用いた車載ECUの冷却ファンに起因する空力騒音の予測
 小西 祐一郎 · 添田 陽介 · 横田 正憲
 (パナソニック オートモーティブシステムズ)

043 空力サロゲートモデルの実車開発適用に向けた取り組み
 瀬尾 晃平 · 清水 圭吾 · 中村 優佑 ·
 平岡 武宜 · 中田 章博 (マツダ)
 中島 卓司 (広島大学大学院)

044 ブレーキディスクのCFD解析における境界条件の検討
 藤沢 繁利 · 永嶋 勉 · 堀田 敏生 · 森田 慎一
 (アドヴィックス)

G314+G315

【9:30~11:10】

10 蓄電システム技術の新展開 I
 Advances in Energy Storage System Technologies I
 < OS > 座長: 小川 誠 (いすゞ中央研究所)

【企画委員会】蓄電システム技術部門委員会
 【オーガナイザー】吉澤徳子 (産業技術総合研究所), 岸 和人 (リコー), 小川 誠 (いすゞ中央研究所), 渡邊 学 (日産自動車)

045* 充電曲線解析データを用いたセルブロック内のリチウム析出初期段階の検出に向けた検討
 小鹿 健一郎 (自動車技術総合機構)
 釣賀 英樹 (電気安全環境研究所)
 森田 朋和 (東芝)
 本多 啓三 (電気安全環境研究所)

046* Demonstrating the Influence of Lithium Plating on Thermal Propagation and Lithium Plating Occurring in Mechanically Constrained Cells
 Kenichiroh Koshika (NTSEL)
 Hideki Tsuruga (JET)
 Tomokazu Morita (Toshiba)
 Keizoh Honda (JET)

- 047 物理モデル情報を組み込んだ蓄電池システムの状態推定技術
永野 弘起・楊 殿宇・庄司 明 (マツダ)
宇都宮 隆・横野 泰大・脇谷 伸・山本 透 (広島大学)
- 048 3代目新型電気自動車向けバッテリー開発
釣田 英恵・長坂 真宏・坂本 涼・
保坂 賢司・牧田 典彦 (日産自動車)

【12:20~13:35】

- 11 蓄電システム技術の新展開 II**
Advances in Energy Storage System Technologies II
< OS > 座長: 吉澤 徳子 (産業技術総合研究所)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション 10 と同じ

- 049 Efficiency for Rightsizing:
-Considerations on How to Tackle the Battery Capacity
Competition of Electric Vehicles-
Marc Sens・Alexander Fandakov (IAV)
Sébastien Sallard・Brahim Soltani (IAV France)
Takuya Maeda (IAV Japan)
- 050 SOP Accelerator for Battery Development with Smart
Testing Approach
Johannes Werfel・Maria Kalogirou・Markus Straesser・
Joerg Mueller・Matija Bogdanic・Mirko Leesch (IAV)
- 051 A Coupled Thermal-Electrical Model for Lithium-Ion
Battery Thermal Runaway with Gas Generation and
Venting Dynamics
Andreas Podias・Subhajeet Rath・Steven Wilkins (TNO)

【14:05~15:20】

- 12 xEV モーター・インバータ技術**
xEV Motor / Inverter Technology
< OS > 座長: 相馬 慎吾 (華為技術日本)

【企画委員会】モーター技術部門委員会
【オーガナイザー】浦野 徹 (三菱自動車工業), 早川浩之 (三菱自動車
工業), 相曾浩平 (芝浦工業大学), 相馬慎吾 (華為技術日本)

- 052* 高出力プラグインハイブリッド車用新型モーターの開発
廣田 遼平・北田 大輔・大板 慎司・加藤 弘樹・
雁木 卓・宇賀治 元・神名 玲秀 (トヨタ自動車)
- 053 次世代EVを切り拓く革新技術:モーター&インバータによる
高効率EDU
Jan Nowack・Daniel Butterweck・Shady Nada・
Christoph Neuhaus・Michael Schröder (FEV Europe)
猪川 靖孝 (エフ・イー・ヴィ・ジャパン)
- 054 電動パワートレインの各ユニット損失を実車で測定する手法の
開発
小堀 純平・北 将憲・山崎 宏志・岡田 泰幸・
沼田 朋子 (堀場テクノサービス)

【15:50~17:30】

- 13 車載用パワエレコンポーネント新技術**
Advanced Power Electronics Component Technologies for
Future Vehicles
< OS > 座長: 矢野 新也 (日産自動車)

【企画委員会】車載用パワーエレクトロニクス技術部門委員会
【オーガナイザー】江森健太 (日産自動車), 深津友博 (本田技術研究所)

- 055* 機電一体型・電動ウォーターポンプの熱シミュレーションのモデル
開発
青山 泰崇 (アイシン)
- 056 シリーズハイブリッド車での整流器によるDCリンクキャパシタ流
入高調波電流の低減
片山 愛来・富永 晴月・近藤 圭一郎 (早稲田大学)
谷口 峻・青柳 滋久 (Astemo)
- 057 電磁界と構造の連携による永久磁石同期モータの電磁振動・
騒音解析
渡部 祐也・山田 樹 (本田技研工業)
両方 雅行 (オートテックニックジャパン)
- 058 第6世代プラグインハイブリッドシステム向けe-Axle用新型パワ
ーコントロールユニットの開発
保田 智史・結城 啓介・久田 周平・
廣中 良臣・小田島 巨弥 (トヨタ自動車)
宮本 真吾・佐藤 友彦・林 敬太・鈴木 邦弘 (DENSO)

G316+G317

【9:30~11:35】

- 14 水素・燃料電池技術**
Hydrogen and Fuel Cell Technologies
< OS > 座長: 山本 佳位 (三菱自動車)

【企画委員会】燃料電池部門委員会
【オーガナイザー】津島将司 (大阪大学大学院), 上田健一郎 (本田技
術研究所), 池田耕太郎 (トヨタ自動車), 山本佳位 (三菱自動車工業)

- 059 炭素系複合樹脂材料を用いた燃料電池セパレータ高生産性
技術開発
近藤 健一・蟹江 誉将・國分 正幸・杉浦 忠利
(トヨタ車体)
- 060 カソード炭素構造, ならびに白金およびイオンマーの分布が固
体高分子形燃料電池の性能および耐久性向上に及ぼす影響
-メソポーラスカーボン担持Pt触媒の現実的な起動および空気
封入停止時における劣化メカニズムと緩和戦略-
内田 誠 (山梨大学)
青木 智史 (山梨大学大学院/エヌ・イーケムキャット)
池川 真弓 (エヌ・イーケムキャット)
永森 聖崇 (山梨大学大学院)
関 安宏 (エヌ・イーケムキャット)
- 061 PEFC評価解析プラットフォームの取り組み成果の一例
-NEDO革新FC-MEA評価解析-
山内 将樹・竹内 仙光・篠原 和彦・今井 英人
(FC-Cubic)
- 062 PEFC高温低加湿運転における触媒層および電解質膜への
影響
川下 紗奈・金坂 浩行・日下部 弘樹・李 春曉
(FC-Cubic)
- 063 高圧水素適合性高分子材料評価 (1)
-C-FaTH₂次世代試験装置と直交実験法による高圧水素下破
壊因子の感度評価-
藤原 広匡・近藤 寛朗・嶋田 智宏・仲山 和海・
宮本 隆広 (化学物質評価研究機構)

【12:35~14:15】

15 走行中給・充電 I

Electric Road System (Dynamic Charge and Power Supply) I

< OS > 座長: 田島 孝光 (本田技術研究所)

【企画委員会】車両特性デザイン部門委員会

【オーガナイザー】田島孝光 (本田技術研究所), 山川淳也 (防衛大学校), 網島 均 (日本大学), 芝端康二 (神奈川工科大学), 佐藤隆之 (日立建機), 島村和樹 (日本自動車研究所), 浅野雅樹 (いすゞ中央研究所), 林 隆三 (東京理科大学), 北条善久 (東洋電機製造)

【基調講演】

- 064 時間制約と速度制限下での電気車両の省エネルギー運転の考え方
古関 隆章・孟 軒朗 (東京大学大学院)
- 065 重要鉱物を考慮した自動車技術選択モデルの構築
小松原 充夫・西 智樹 (豊田中央研究所)
- 066 大型トラックのHEV化と高速道路での走行中給電の相乗効果について
北条 善久 (東洋電機製造)
- 067 車載太陽光発電パネルの性能診断手法
水野 英範・望月 敏光・上出 健仁・棚橋 克人・大関 崇 (産業技術総合研究所)

【14:45~16:00】

16 走行中給・充電 II

Electric Road System (Dynamic Charge and Power Supply) II

< OS > 座長: 山川 淳也 (防衛大学)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション 15 と同じ

- 068 Wireless Charging for Electric Road Vehicles: Challenges and Opportunities in Standards, Technology, and Energy Management
Steven Wilkins・Subhajeet Rath・Jan-Willem Sangers・Paul Mentink (TNO)
- 069 バッテリー電車への給電技術
依田 裕史 (鉄道総合技術研究所)
- 070 車載太陽光発電システムの車両日射量推定手法の構築
裴 帥・柳 正秋・廣田 壽男・紙屋 雄史 (早稲田大学)

G318+G319

【9:30~11:35】

17 MBD によるデジタルツイン技術の拡大 I

- デジタル認証から量産化技術まで -

Expansion of Digital Twin Technology with MBD I

- From Digital Validation to Mass Production Technology -

< OS > 座長: 岩月 健 (アイシン)

【企画委員会】国際標準記述によるモデル開発 (MBD) 技術部門委員会
【オーガナイザー】市原純一 (AZAPA), 加藤利次 (同志社大学), 辻 公壽 (デジタルツインズ), 瀬谷 修 (東京科学大学), 齊藤恒洋 (AGC), 石川裕記 (岐阜大学)

- 071 国際標準記述によるモデル開発技術部門委員会の変遷
市原 純一 (AZAPA)

- 072 国際標準言語VHDL-AMSによるモデル記述のデジタル認証への活用
加藤 利次 (同志社大学)
辻 公壽 (デジタルツインズ)
齊藤 恒洋 (AGC)
岡村 昌浩 (JSOL)

- 073 デジタルツインによるバーチャルテストとそれを用いたデジタル認証への取り組みIII
- 包括的CO₂削減と新たなものづくりの仕組み -
辻 公壽 (デジタルツインズ)
加藤 利次 (同志社大学)
齊藤 恒洋 (AGC)
岡村 昌浩 (JSOL)

- 074 EV車両モデルを用いた自動車ガラスのOCCに関する検討と提案 (第3報)
- EVキャビン熱モデルによるデジタル認証プロトコルのPOC・その2 -
齊藤 恒洋 (AGC)
岡村 昌浩 (JSOL)
辻 公壽 (デジタルツインズ)
加藤 利次 (同志社大学)
- 075 暗号学的ハッシュ関数を用いたモデルトレーサビリティの実装に関する検討
岡村 昌浩 (JSOL)
辻 公壽 (デジタルツインズ)
齊藤 恒洋 (AGC)
加藤 利次 (同志社大学)

【12:35~14:40】

18 MBD によるデジタルツイン技術の拡大 II

- デジタル認証から量産化技術まで -

Expansion of Digital Twin Technology with MBD II

- From Digital Validation to Mass Production Technology -

< OS > 座長: 瀬谷 修 (東京科学大学)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション 17 と同じ

- 076 エレメカ連成1Dモデルの車両システム解析とECU回路解析における有効性検証
- 車両電源の低下と車載電磁アクチュエータ及び制御回路動作 -
井上 啓太 (デンソー)
上田 雅生 (シーメンス EDA ジャパン)
池田 佳子 (東芝デバイス & ストレージ)
江上 孝夫 (AC テクノロジーズ)
山谷 誠 (ちの技研)
向山 大索 (ルビコン)
有賀 善紀 (KOA)
齊藤 耕太 (村田製作所)
稲葉 雅司・篠田 卓也 (デンソー)
- 077 エレメカ連成シミュレーションによるICおよびMOSFET高精度モデルの伝導ノイズ解析
池田 佳子 (東芝デバイス & ストレージ)
江上 孝夫 (AC テクノロジーズ)
中西 崇 (東芝デバイス & ストレージ)
稲葉 雅司・井上 啓太・橋本 一成 (デンソー)
上田 雅生 (シーメンス EDA ジャパン)
向山 大索 (ルビコン)
有賀 善紀 (KOA)
篠田 卓也 (デンソー)

078 寿命劣化を加味したアルミ電解コンデンサのモデル検討

向山 大索 (ルビコン/名古屋大学)
 稲葉 雅司 (デンソー)
 上田 雅生 (シーメンス EDA ジャパン)
 有賀 善紀 (KOA)
 池田 佳子 (東芝デバイス&ストレージ)
 江上 孝夫 (AC テクノロジーズ)
 橋本 一成 (デンソー)
 城ノ口 秀樹 (名古屋工業大学)
 山本 真義 (名古屋大学)
 篠田 卓也 (デンソー)

079 パワーインダクタの動的特性を考慮したシミュレーションモデルがDC-DCコンバータに与える効果

伊藤 一洋・盛 建新 (村田製作所)
 稲葉 雅司・井上 啓太 (デンソー)
 上田 雅生 (シーメンス EDA ジャパン)
 向山 大索 (ルビコン)
 有賀 善紀 (KOA)
 池田 佳子 (東芝デバイス&ストレージ)
 江上 孝夫 (AC テクノロジーズ)
 篠田 卓也 (デンソー)

080 MBDによるTier1, Tier2連携のための抵抗器及び基板モデリングと実証の取り組み

有賀 善紀 (KOA)
 稲葉 雅司・井上 啓太 (デンソー)
 上田 雅生 (シーメンス EDA ジャパン)
 向山 大索 (ルビコン)
 武井 春樹 (シーメンス)
 江上 孝夫 (AC テクノロジーズ)
 池田 佳子 (東芝デバイス & ストレージ)
 城ノ口 秀樹 (名古屋工業大学)
 篠田 卓也 (デンソー)

[15:10~17:15]

19 MBD によるデジタルツイン技術の拡大 III - デジタル認証から量産化技術まで -

Expansion of Digital Twin Technology with MBD III

-From Digital Validation to Mass Production Technology-

< OS > 座長: 城ノ口 秀樹 (名古屋工業大学)

【企画委員会】【オーガナイザー】
 セッション 17 と同じ

081 エレメカ連成1Dモデルを用いた企業間連携によるECU回路定数最適化技術の検証

稲葉 雅司 (デンソー)
 上田 雅生 (シーメンス EDA ジャパン)
 瀬谷 修 (東京科学大学)
 斉藤 耕太 (村田製作所)
 池田 佳子 (東芝デバイス & ストレージ)
 井上 啓太 (デンソー)
 中溝 裕己・土方 亘・藤田 英明 (東京科学大学)
 篠田 卓也 (デンソー)

082 回路シミュレーションから得られる過渡発熱量を用いた3次元熱解析による基板部品の高精度温度予測

武井 春樹 (シーメンス)
 澤田 中臣 (パソルクロステクノロジー)
 渋谷 稔 (構造計画研究所)
 上田 雅生 (シーメンス EDA ジャパン)
 池田 佳子 (東芝デバイス & ストレージ)
 安井 龍太・瀬谷 修 (東京科学大学)
 橋本 一成・井上 啓太・篠田 卓也 (デンソー)

083 逆解析を用いたECU熱流体解析における実測と解析の乖離極小化手法の構築

渋谷 稔 (構造計画研究所)
 安井 龍太 (東京科学大学)
 武井 春樹 (シーメンス)
 上田 雅生 (シーメンス EDA ジャパン)
 池田 佳子 (東芝デバイス & ストレージ)
 瀬谷 修 (東京科学大学)
 橋本 一成・井上 啓太・篠田 卓也 (デンソー)

084 MBDによるECU放熱構造の最適化設計とサロゲートモデル

橋本 一成 (デンソー)
 安井 龍太 (東京科学大学)
 稲葉 雅司 (デンソー)
 武井 春樹 (シーメンス)
 渋谷 稔 (構造計画研究所)
 上田 雅生 (シーメンス EDA ジャパン)
 池田 佳子 (東芝デバイス & テクノロジーズ)
 向山 大索 (ルビコン)
 伏信 一慶 (東京科学大学)
 篠田 卓也 (デンソー)

085 Automotive Engineering-Centric Agentic AI Workflow Framework

Tong Duy Son · Zhihao Liu · Piero Brigida ·
 Yerlan Akhmetov · Gurudevyan Devarajan · Kai Liu ·
 Ajinkya Bhavne (Siemens Digital Industries Software)

G401+G402

[9:30~11:10]

20 先進火花点火機関 I - 燃焼 & 本体 -

Advanced Spark-Ignition Engine I

-Combustion and Core Technologies-

< OS > 座長: 今村 宰 (日本大学)

【企画委員会】ガソリン機関部門委員会

【オーガナイザー】北川敏明 (九州大学), 今村 宰 (日本大学), 野寄高宏 (エイヴィエルジャパン), 田中大二郎 (ヤマハ発動機), 近藤 卓 (本田技術研究所), 角井 啓 (ポッシュ), 成岡翔平 (カワサキモーター), 志方 彰浩 (日産自動車)

086 ピストン系の起振力を活用した振動騒音と熱効率の両立検討

佐藤 広直・大羽 将広・廣本 孝史・佐藤 清史・
 園部 俊幸・関根 紀朗 (SUBARU)
 森吉 泰生・森川 弘二・窪山 達也 (千葉大学大学院)

087 火花点火機関の燃焼予測技術構築に向けた火花放電過程の高速度撮影および数値解析

武藤 涼 (SUBARU)
 窪山 達也・森吉 泰生 (千葉大学)

088 燃料のRONとサイクル変動がノッキング現象に及ぼす影響

清水 大世・今川 裕貴・奥山 勝太 (大阪工業大学大学院)
 桑原 一成 (大阪工業大学)

089 機械学習による熱発生率予測を基とした新燃焼解析手法の提案

良知 聖淳・長沼 要 (金沢工業大学大学院)

【12:10~14:15】

21 先進火花点火機関 II - CN 燃料 -
Advanced Spark-Ignition Engine II -CN Fuel-
< OS > 座長: 近藤 卓 (本田技術研究所)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション 20 と同じ

090 Analysis of Hydrogen Jet Characteristics and Concentration Distribution by Simultaneous LIF and Schlieren Method Measurements in a Constant Volume Chamber

Hyun Jo · Masayasu Shimura · Taku Tsujimura (AIST)
Satoaki Ichi · Kyohei Izumi (Kawasaki Motors)
Hiroataka Kawatsu · Genki Shigeno (Honda Motor)
Narumi Hiramoto (Yamaha Motor)
Yoshinari Ninomiya (Suzuki Motor)

091 近赤外二色法による水素内燃機関の筒内温度計測
任 方思 · 中谷 辰爾 · 津江 光洋 (東京大学)
加藤 洋史 · 和泉 恭平 · 市 聡顕 (カワサキモータース)
神尾 朋彦 (ヤマハ発動機)
佐野 堅一 · 松下 耕一朗 (本田技研工業)
二宮 至成 (スズキ)

092 モーターサイクル用直噴水素エンジンにおける二方向筒内直接同時撮影法を用いた筒内燃焼現象の研究
和泉 恭平 · 加藤 洋史 · 中尾 祥典 · 横山 峻介 · 松本 優作 (カワサキモータース)
神尾 朋彦 (ヤマハ発動機)
丸井 勇介 · 佐野 堅一 (本田技研工業)
二宮 至成 (スズキ)
市 聡顕 (カワサキモータース)

093 モーターサイクル用直噴水素エンジンにおける二方向筒内直接同時撮影法を用いた筒内異常燃焼現象の解明
加藤 洋史 · 和泉 恭平 · 中尾 祥典 · 横山 峻介 · 松本 優作 (カワサキモータース)
神尾 朋彦 (ヤマハ発動機)
二宮 至成 (スズキ)
佐野 堅一 · 丸井 勇介 (本田技研工業)
市 聡顕 (カワサキモータース)

094 モーターサイクル用直噴水素エンジンの火炎伝ば挙動と壁面熱流束の解析
加賀 裕貴 · 及川 昌訓 (東京都市大学大学院)
三原 雄司 (東京都市大学)
益子 翔貴 · 横森 蒼司 (東京都市大学大学院)
岩田 拓実 (モトラ)
加藤 洋史 · 和泉 恭平 (カワサキモータース)
佐野 堅一 (本田技研工業)
神尾 朋彦 (ヤマハ発動機)
二宮 至成 (スズキ)
尾鷲 道康 (モトラ)

【14:45~15:35】

22 先進火花点火機関 III - CN 技術 -
Advanced Spark-Ignition Engine III -CN Technologies-
< OS > 座長: 野寄 高宏 (エイヴィエルジャパン)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション 20 と同じ

095 水素直噴エンジンにおける筒内シュリーレン観察による筒内水素混合気形成調査
久野 篤志 · 桜井 洋太 · 田中 恵祥 · 齋藤 将仁 (川崎重工業)
市 聡顕 (カワサキモータース)

096 メタノール混合燃料の冷機始動における燃焼改善の方向性
太平 哲也 (愛知工科大学)
伊藤 啓介 · 金子 誠 · 藤井 英知 · 須田 尚幸 · 二宮 至成 (スズキ)

【16:05~17:45】

23 先進火花点火機関 IV - 要素技術 -
Advanced Spark-Ignition Engine IV -Element Technologies-
< OS > 座長: 角井 啓 (ポッシュ)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション 20 と同じ

097 A Study on Predicting Backpressure in Mufflers with Exhaust Variable Valves
Yun Jeong Shim · Jae Yeon Jo · Yong Woo Mo (Hyundai Motor)
Jeong Su Koo · Jin Man Shin (Sejong)

098 触媒失活挙動を考慮した炭化水素分解モデルの構築
三浦 瑛子 · 崎間 俊明 · 松田 啓嗣 · 河口 健太郎 · 原田 雄司 (マツダ)

099 第3世代100%電動駆動ハイブリッド車専用 新型1.5L 3気筒エンジンを支える要素技術
-(第1報)燃焼性能技術開発-
松崎 伊生 · 吉村 太 · 安藤 太一 · 志方 章浩 · 山田 幸誉 (日産自動車)

100 第3世代100%電動駆動ハイブリッド車専用 新型1.5L 3気筒エンジンを支える要素技術
-(第2報)燃費性能技術開発-
安藤 太一 · 松崎 伊生 · 山田 幸誉 · 志方 章浩 (日産自動車)

G403

【9:30~11:10】

24 タイヤ/路面摩擦特性とその周辺技術 I
- タイヤのメカニズムと将来に向けて -
Tire / Road Characteristics, Contact Properties and Related Technologies I
-Tire Mechanisms Toward the Future-
< OS > 座長: 横井 大亮 (スズキ)

【企画委員会】タイヤ/路面摩擦特性部門委員会
【オーガナイザー】松原真己 (早稲田大学), 横井大亮 (スズキ), 宮下直士 (横浜ゴム), 桑山 勲 (ブリヂストン)

101 インホイールモータ車の駆動力制御を用いた扁平型ダイナモメータの路面状態模擬評価
永井 栄寿 · 水口 時和 · 森本 悠卯奈 · 郡司 大輔 · 清水 修 · 藤本 博志 (東京大学)
鷹崎 悠一 · 近藤 謙太郎 · 安元 宏平 · 北条 善久 (東洋電機製造)

102 扁平型ダイナモメータを用いた車両台上試験における路面状態模擬制御
近藤 謙太郎 · 鷹崎 悠一 · 北条 善久 · 安元 宏平 · 寺田 賢二 · 小坂井 大輔 · 永徳 航一 (東洋電機製造)

103* 圧縮センシングDICを用いた転動時のタイヤ/ホイールの振動計測

加藤 由幹 (高知工科大学)
綿引 壮真 (構造計画研究所)
大高 政祥 (小野測器)
遠越 光輝 (構造計画研究所)
小田 吉帆 (小野測器)
松村 晃汰 (高知工科大学)

104 クリープグロウン現象の理解を志向した乾水時の摩擦力変動と摩耗粉挙動の同時計測

大久保 光・鈴木 惇平 (横浜国立大学)
棚町 脩平・栗本 健太・砂川 祐介・山口 慶之
(日清紡プレーキ)
中野 健 (横浜国立大学)

[12:10~13:25]

25 タイヤ/路面摩擦特性とその周辺技術 II

- タイヤのメカニズムと将来に向けて -

Tire / Road Characteristics, Contact Properties and Related Technologies II

-Tire Mechanisms Toward the Future-

< OS > 座長：桑山 勲 (ブリヂストン)

【企画委員会】【オーガナイザー】

セッション 24 と同じ

105 Characterizing Racing Tires on a Realistic Indoor Surface

Alexander O'Neill (GCAPS)

106* Improving Tire Models via Optimized Tire Testing
-Enhancing Tire Model Accuracy through Optimizing Methodology on Indoor Test Machines-

Anders d. Maki (MTS Systems)

107 A Predictive Thermo-Mechanical Framework for Tire Temperature and Performance Modeling

Francesco Calabrese (Fraunhofer Institute for Industrial Mathematics)
Manfred Bäcker (Virtual Tire Technologies)
Axel Gallrein・Ruhwedel Tobias (Fraunhofer Institute for Industrial Mathematics)
Christoph Burkhart (Virtual Tire Technologies)

[13:55~16:00]

26 タイヤ/路面摩擦特性とその周辺技術 III

- タイヤのメカニズムと将来に向けて -

Tire / Road Characteristics, Contact Properties and Related Technologies III

-Tire Mechanisms Toward the Future-

< OS > 座長：児玉 勇司 (横浜ゴム)

【企画委員会】【オーガナイザー】

セッション 24 と同じ

108 インテリジェントタイヤによるブレーキングスティフネスの測定

立矢 宏・福光 俊之介・大西 知徳・
澁谷 輝・樋口 理宏 (金沢大学)
関野 直規・小西 健太・加倉 誠勝・
横井 大亮 (スズキ)

109 インテリジェントタイヤを用いた車両旋回時における接地荷重およびコーナリングスティフネスの測定

浦崎 僚介・堀江 泰雅・澁谷 輝・
樋口 理宏・立矢 宏 (金沢大学)
関野 直規・小西 健太・加倉 誠勝・
横井 大亮 (スズキ)

110 ホイールの変形を利用したロバスト性の高いタイヤ接地荷重測定方法

富田 隣伍・前野 圭佑・澁谷 輝・
樋口 理宏・立矢 宏 (金沢大学)
関野 直規・小西 健太・加倉 誠勝・
横井 大亮 (スズキ)

111 RFID技術を用いたひずみセンサータグによるタイヤ接地荷重測定の基礎的検討

池神 那京・田口 翔梧・
樋口 理宏・立矢 宏 (金沢大学)
駒木 邦宏・田邊 冬夢・齋藤 陽一 (村田製作所)

112* 室内平坦路面型タイヤ試験装置を用いた μ -S特性計測

松原 真己 (早稲田大学)
横井 大亮 (スズキ)
豊島 貴行 (ホンダ・レーシング)
穂高 武 (本田技術研究所)
景山 一郎 (先進路面摩擦データベース研究組合/日本大学)
酒井 英樹 (近畿大学)
立矢 宏 (金沢大学)
小田 吉帆 (小野測器)
井上 和亮 (エー・アンド・デイ)
松本 雅彦 (国際計測器)
石神 直大 (Toyo Tire)
桑山 勲 (ブリヂストン)
齊藤 由典 (日本ミシュランタイヤ)
鈴木 晴之 (住友ゴム工業)
宮下 直士 (横浜ゴム)

G404

[9:30~11:10]

27 ドライバの状態評価とセンシング

Evaluation and Sensing of Driver State

< OS > 座長：竹本 雅憲 (成蹊大学)

【企画委員会】映像情報活用部門委員会, 車両特性デザイン部門委員会, アクティブセイフティ部門委員会, ヒューマンファクター部門委員会, ドライバ評価手法検討部門委員会

【オーガナイザー】小竹元基 (東京科学大学), 恩田和征 (スズキ), 平岡敏洋 (日本自動車研究所), 田島孝光 (本田技術研究所), 榎田修一 (九州工業大学)

113 安静時平均皮膚温と同等の環境温におけるファン内蔵カーシートからの送風が体温節反応と温熱快適性に及ぼす影響

高橋 勇人・和田 健太郎・永井 輝之
(京都工芸繊維大学大学院)
北川 哲也 (フォルテック)
西崎 友規子・山下 直之 (京都工芸繊維大学)

114 模擬自動運転環境におけるカメラ映像に基づく瞬目パターン分析を用いた覚醒状態推定

竹内 大樹 (産業医科大学)
大須賀 美恵子・鎌倉 快之 (大阪工業大学)

115* 覚醒水準の低下に伴う眼球運動特性と皮膚電気活動の関係

佐野 心大・峯田 涉吾・小濱 剛 (近畿大学)

116 実車走行中のドライバの安心感の変化をウェアラブル端末による生体データを用いて推定する手法の提案

安田 光希・黒住 菜由 (慶應義塾大学大学院)
高木 誠之・泉口 拓哉・米良 賢人 (ペンストン)
中西 美和 (慶應義塾大学)

【12:10~14:50】

28 自動運転／運転支援システムの HMI

Human-Machine Interface for Automated Driving / Advanced Driver-Assistance Systems

< OS > 座長：小竹 元基 (東京科学大学)

【企画委員会】映像情報活用部門委員会, 車両特性デザイン部門委員会, アクティブセイフティ部門委員会, ヒューマンファクター部門委員会, ドライブ評価手法検討部門委員会

【オーガナイザー】小竹元基 (東京科学大学), 恩田和征 (スズキ), 平岡敏洋 (日本自動車研究所), 田島孝光 (本田技術研究所), 榎田修一 (九州工業大学)

117 電動キックボード向けの触覚ナビゲーションの基礎検討

前田 智祐・大滝 啓介・吉村 貴克 (豊田中央研究所)
三橋 知明・堀籠 隆文 (トヨタ自動車)
堺 浩之 (豊田中央研究所)

118 確率共振を適用した覚醒維持支援技術の開発

楠本 信平・佐藤 勇太郎・姉川 将人・
吉田 航・藤原 由貴 (マツダ)
山口 郁博・山本 義春 (東京大学)

119 Aピラー透過表示による交差点右折時の歩行者発見時間への効果

溝淵 裕次郎 (ミライズテクノロジーズ)
青木 邦友・平野 昭夫 (名古屋大学)
石原 和幸・館 鋼次郎・川内 正明
(ミライズテクノロジーズ)
青木 宏文 (名古屋大学)

120 ドライバの状況認識向上のための自動車用シート振動に関する研究

栗谷川 幸代 (日本大学)
張 馨月 (日本大学大学院)
小泉 秀文・寒川井 伸一・涌田 宏・中村 俊季・
阿部 圭吾・佐藤 邦生 (アルプスアルパイン)

121 Inclusive HMI Design to Mitigate Mode Confusion in Multilevel Driving Automation

Turkan Hentati・Oana Moldovan (Applus+ IDIADA)

122 Multi-Pillar Framework for the Assessment of Human Machine Interaction in Automated Vehicles

Jeroen Hogema・Saarang Gaggur・Jan Souman・
Hari Hara Sharan Nagalur Subraveti・
Chris van der Ploeg・Marijke Van Weperen・
Marieke Martens (TNO)

G414+G415

【9:30~12:10】

30 金属材料

Metal Materials

座長：中川 修一 (SUBARU)

123 A Study of Super-Plasticity in Low Density Steel Sheet

Junyeong Jeong・Jaeyoon Hwang・Minwoo Kang
(Hyundai Motor)
Jeongho Han (Hanyang University)

124 高強度鋼板部品の遅れ破壊防止技術の開発

矢倉 聖也・常見 祐介・木本 野樹・久保 雅寛
(日本製鉄)

125* 水素燃焼を想定した雰囲気下におけるフェライト系ステンレス鋼の酸化挙動

藤村 佳幸・林 篤剛・平川 直樹・濱田 純一
(日本製鉄)

126 駆動系浸炭部品のオーステナイト粒径異常成長因子の影響度定量化 第三報

伊藤 靖朗・加藤 豪・前田 誠 (ジャトコ)
和田 直樹・山下 翼・小島 秀平 (ML-6)
井上 純哉 (東京大学)

127 ダイカスト用溶湯難燃マグネシウム合金の開発

千野 靖正 (産業技術総合研究所)
駒井 浩 (日本マグネシウム協会)

128 疲労限度線図と疲労寿命予測モデルについて

王 暁光 (東京濾器)

【13:20~15:00】

31 デザイン (スタイリング) と技術の接点

The Intersection of Design and Technology

< OS > 座長：高嶋 晋治 (東京都立産業技術大学院大学)

【企画委員会】デザイン部門委員会

【オーガナイザー】松浦雅彦 (GK ダイナミクス), 市原史雄 (カワサキモータース), 宮地善和 (マツダ)

129* 自動車内装加飾フィルムの成形変形予測による意匠品質設計支援

穴澤 朝彦 (大日本印刷)

130 ラストワンマイル小型配送モビリティのデザインアプローチと構造・機能設計

-(第1報)-

竹原 瑞希 (トヨタ自動車)

131 4脚モビリティのデザイン

福本 圭志 (ケイテック)

132 Development of an Open-Source Standardized Fastening Platform for In-Vehicle Accessory Ecosystems

Jinseok Yoon・Jaeeun Chang・Kwangrae Jo
(Hyundai Motor)

Junghyung Cho・Sungjin Kim・Kiseob Nam (PIOLAX)

【15:30~17:10】

32 次世代の自動車用材料と先進生産技術 I

Next-Generation Advanced Production Engineering for Automotive Material I

< OS > 座長：青木 孝史朗 (芝浦工業大学)

【企画委員会】製造技術部門委員会, 生産加工部門委員会, 材料部門委員会

【オーガナイザー】松村 隆 (東京電機大学), 青木孝史朗 (芝浦工業大学), 鈴木教和 (神戸大学), 杉山裕基 (マツダ), 矢口英暢 (ソフィックス), 古川健一 (スズキ), 梶岡信由 (マツダ)

133 一体化部品のさらなる高機能化技術の開発

米林 亮・銭谷 佑・大野 敦史・阿部 雅彦・
河内 毅・久保 雅寛・池上 健太・
岡田 徹・吉田 博司 (日本製鉄)

134 偏芯負荷に対応するハット部材補強構造の開発

仲村 宗起・渡辺 憲一・橘 美枝 (神戸製鋼所)

135* ドアトリム耐衝撃性能に関する材料特性と構造因子の影響解析

雲林院 悠美子・岸 浩史・馬場 和義 (ダイハツ工業)

136 老廃スクラップを原料とした電炉鋼板の機械的性質および成形性

中西 宣文・岩崎 勝・足立 慎太郎・中西 栄三郎
(東京製鉄)

G416+G417

【9:30~10:45】

33 先進ディーゼル機関技術 I

Advanced Diesel Engine Systems and Technologies

< OS > 座長：小橋 好充 (岡山大学)

【企画委員会】ディーゼル機関部門委員会

【オーガナイザー】松村恵理子 (同志社大学), 川原田光典 (自動車技術総合機構), 金 尚奎 (マツダ), 小橋好充 (岡山大学), 平岡賢二 (ヤマハホールディングス)

- 137 オキシメチレンジメチルエーテル (OME)の燃料特性を活かした燃焼系の検討
宮下 和也・古川 伸哉・小澤 恒 (いすゞ中央研究所)
- 138 水素湿燃率が水素ディーゼルデュアルフェュエルエンジンの性能および排気特性に及ぼす影響
岸 汀和帆・西澤 元貴・中谷 聡・Apichai Tripatara・堀部 直人・川那辺 洋 (京都大学)
- 139 次世代バイオディーゼルHVOの直列6気筒3.3Lディーゼルエンジンへの適用
西岡 勇介・松尾 建・神田 智行・福田 大介・神崎 淳・難波 真・金 尚奎・志茂 大輔 (マツダ)

【11:45~13:50】

34 先進ディーゼル機関技術 II

Advanced Diesel Engine Systems and Technologies II

< OS > 座長：川原田 光典 (自動車技術総合機構)

【企画委員会】【オーガナイザー】

セッション 33 と同じ

- 140 ディーゼルエンジンの過渡制御のための吸気温度推定手法の開発
-(第1報) 定常運転における吸気温度の推定式の提案-
稲垣 和久 (豊田中央研究所)
上野 彰孝 (豊田自動織機)
菅野 翼 (トヨタ自動車)
西尾 健 (豊田自動織機)

- 141 Range Extender ICE Solutions to Accelerate Time-to-Market for HD BEV Trucks

Anton Arnberger・Daniele Corsini・Bernhard Raser (AVL List)

Toro Nishizawa (AVL Japan)

- 142 Evolving HD Engine Efficiency to the Next Level

-A Pathway to 56% Brake Thermal Efficiency for Commercial Applications-

U. Grütering・L. Virnich・J. Yadav (FEV Europe)

J. Satyum・S. Paul (FEV NA)

Th. Körfer (FEV Group)

- 143 壁面に衝突した燃料噴霧火炎の流動と壁面粗さの関係

座間 淑夫・深町 優晴 (群馬大学大学院)

古川 伸哉 (いすゞ中央研究所)

- 144 High-heels型熟発生率によるディーゼル機関の熱効率改善

-マルチインジェクタ燃焼系を用いた実機試験結果と解析-

町井 輝男・内田 登 (新エイシーイー)

【14:20~17:00】

35 CO₂ 分離・回収技術

CO₂ Separation and Capture Technology

< OS > 座長：板津 俊郎 (キャタラー)

【企画委員会】排気触媒システム部門委員会

【オーガナイザー】田中光太郎 (茨城大学), 板津俊郎 (キャタラー), 堀正雄 (ユミコア日本触媒), 阿野田洋 (いすゞ自動車), 佐藤 進 (東京科学大学)

- 145* 自動二輪車の排ガスに含まれる二酸化炭素の直接回収技術に関する研究 (第2報)

-二酸化炭素吸着性能に及ぼす共存ガスの影響に関する研究-
三輪 拓巳・平尾 桃菜・橋本 祥吾・植西 徹 (北見工業大学)

- 146* 車載カーボンリサイクル技術に関する研究 (第2報)

-電場下逆水性ガスシフト反応活性に及ぼす二次粒子径の影響-
藤原 航紀・植西 徹 (北見工業大学)

- 147* 自動二輪車の排ガスに含まれる二酸化炭素の直接回収技術に関する研究 (第3報)

-二酸化炭素吸着性能に及ぼす吸着剤の疎水性の影響に関する研究-
園城 隼人・平尾 桃菜・植西 徹 (北見工業大学)

- 148* 自動二輪車の排ガスに含まれる二酸化炭素の直接回収技術に関する研究 (第4報)

-二酸化炭素吸着性能に及ぼす吸着剤含侵方法の影響に関する研究-
植西 徹・橋本 祥吾・平尾 桃菜・園城 隼人 (北見工業大学)

- 149 表面微細加工を活用した吸収液の液滴衝突/微粒化制御による排ガス中のCO₂吸収手法 (第2報)

-化学吸収法と物理吸着法の組み合わせによるCO₂吸収効率の可能性-

野原 徹雄 (東海大学)

渡邊 健太郎・堀内 溪登 (東海大学大学院)

奈良 祥太郎・福島 直哉・落合 成行 (東海大学)

- 150 車載CO₂回収技術の研究 (第3報)

-機械学習を活用したシステム要件の導出-
村田 淳矢・松田 啓嗣・高島 大知・原田 雄司 (マツダ)

G418+G419

【9:30~11:35】

36 Circular Economy におけるリサイクルの価値

The Value of Recycling in the Circular Economy

< OS > 座長：古山 隆 (東北公益文化大学)

【企画委員会】リサイクル技術部門委員会

【オーガナイザー】古山 隆 (東北公益文化大学), 木村真実 (長崎大学)

- 151 自動車破砕残渣のメカニカルリサイクル技術の開発

井沢 省吾 (名古屋大学)

佐賀 大吾 (日本製鋼所)

漆山 雄太・吉村 彰記 (名古屋大学)

- 152 自動車廃プラスチック部品に含まれる異物を除去可能なケミカルソーティング技術開発

寺坂 康志・千葉 陽貴・藪中 津介・鈴木 集太・

滑 尚子・花岡 淳・平脇 聡志 (本田技術研究所)

153 リチウムイオン電池正極材料回収における水熱浸出法の環境影響評価

張 政陽・Muhammed Engha Isah・呉 盼盼・鄭 慶新・渡邊 賢・松八重 一代 (東北大学)

154 自動車のサーキュラーエコノミー指標の提案
-(第3報)「より長く使う」ための取り組みを評価する手法の検討-

増田 仁郎 (トヨタ自動車)
岩田 隆道 (豊田中央研究所)
田原 聖隆・松本 光崇 (産業技術総合研究所)
田崎 智宏 (国立環境研究所)
原 昌司・小林 哲郎・山田 大介・高尾 尚史 (豊田中央研究所)
石田 栄治・永井 隆之 (トヨタ自動車)

155 Optimal LCA: State of Health on End of life Automotive Systems and Their Reuse

Joël Op de Beeck・Badr-Din Lahmoumi・Krzysztof Potaczek・Marcos Carvalho-Barreto・Nissrine Harbil・Toshihiko Minami・Vincent Cuvelier・Gabin Goy・Pawel Manko (OPmobility)

【12:35~13:50】

37 自動車セキュリティ技術 I

Automotive Security Technology I

< OS > 座長: 中村 裕二 (アイシン)

【企画委員会】サイバーセキュリティ技術部門委員会, サイバーセキュリティ講座企画委員会

【オーガナイザー】倉地 亮 (名城大学/名古屋大学), 河野文昭 (スズキ), 中野稔久 (パナソニック オートモーティブシステムズ)

【基調講演】

156 A Standardized Security Platform for Software-Defined Vehicles

-GlobalPlatform Technologies, SAE J3101-5, and the SESIP Certification Framework-

Francesca Forestieri・Gil Bernabeu (GlobalPlatform)

157 Trusted Execution Environments in Automotive Real-Time Systems

Martin Manthe・Philipp Jungklass・Carolina Pelka・Tim Kaiser・Claude-Pascal Stöber-Schmidt (IAV)
Dennis Kengo Oka (IAV Japan)
Marco Siebert (IAV)
Shingo Ise (IAV Japan)

158 Crypto-Agility in Automotive Real-Time Systems in Context of Post-Quantum Cryptography

Carolina Pelka・Philipp Jungklass・Andre Larberg・Nicole Natho (IAV)
Dennis Kengo Oka (IAV Japan)
Tim Kaiser・Claude-Pascal Stöber-Schmidt・Marco Siebert (IAV)
Takuya Nigoro (IAV Japan)

【14:20~15:35】

38 自動車セキュリティ技術 II

Automotive Security Technology II

< OS > 座長: 上田 浩史 (オートネットワーク技術研究所/住友電気工業)

【企画委員会】【オーガナイザー】

セッション 37 と同じ

159 Strategic Aspect of Crypto Agility

Dennis Kengo Oka・Philipp Jungklass・Claude-Pascal Stöber-Schmidt (IAV)

160 Cybersecurity for Euro 7

-Requirements, Risks and Technical Solutions for Next-Generation Vehicles-

Claude-Pascal OkaStöber-Schmidt・Richard Lange (IAV)
Steve Peters・Dennis Kengo Oka (IAV Japan)
Philipp Jungklass (IAV)

161 Penetration Tests for Guiding Development

-Shift Left Approach for Penetration Tests during Development-

Claude-Pascal Stöber-Schmidt・Florian Look・Patrick Loster (IAV)
Dennis Kengo Oka・Takuya Nigoro (IAV Japan)

G301+G302

[9:30~11:10]

39 最新の振動騒音・音質技術 IV

The Latest Noise, Vibration and Sound Quality Technology IV

< OS > 座長: 松岡 久祥 (日産自動車)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション4と同じ

162 DMP-SMP Parallel Computation Strategies for FE-BEM-PEM Transmission Loss Simulation in Automotive Dash Panels

Kamel Amichi · Massimiliano Calloni
(Keysight Technologies)

163 次期BEV開発に向けた車内騒音寄与解析とNV性能向上のための防音材最適化

齊藤 篤生・田島 直次・上田 康介・谷口 翔麻
(HOWA)

金 誠・安田 賢司・鈴木 敬太・山口 穰 (スズキ)

164 自動車車内音響空間における従来法と音線法の比較に関する研究

竹内 翔吾・黒田 勝彦 (長崎総合科学大学)

165 CAEとAIを活用した設計段階におけるドア閉まり音官能点予測手法の開発

堀 智博・森本 浩司・藤井 界・杉本 佳奈
(ダイハツ工業)

Dirk Von Werne (Siemens Industry Software)

杉浦 康太 (シーメンス)

城戸 康・松野 元樹 (スカイディスク)

[12:10~15:15]

40 最新の振動騒音・音質技術 V

The Latest Noise, Vibration and Sound Quality Technology V

< OS > 座長: 高田 正幸 (九州大学)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション4と同じ

166 インバータ音における純音成分の周波数配置が不快感に与える影響の検討

加曾利 拓真 (中央大学大学院)
金堂 雅彦・山口 雅夫・戸井 武司 (中央大学)

167 乗用車空調音におけるSD法による音質評価 (第2報)

高尾 秀男 (セキソー)

168 電気自動車のための「楽譜化」サウンドデザイン手法の提案

久保 徳理旺 (EV サウンドスケープ)

169 走行状態の時間履歴を考慮した感覚刺激の変化に基づくエンジン音評価の認知構造分析

萱沼 真一 (中央大学大学院/日産自動車)
長江 新平 (日産自動車)
戸井 武司 (中央大学)

170 電気自動車の車室内音質に対する客観評価法の検討 (第1報)

-電動パワートレインノイズの音質定量化-

鳥居 建史・藤井 謙弥 (本田技研工業)

171 ベンチデータを用いた電気自動車室内の電動パワートレインノイズ予測手法検討

鳥居 建史・三瀬 史遠 (本田技研工業)
Philipp Sellerbeck (HEAD Acoustics)
田邊 謙太 (ヘッドアコースティクスジャパン)

172 A Study on the Detailed Classification of Vehicle Fuel Pump Noise and Improvement Method for Each Noise Generated

Jung Hoon Park · Keun Soo Kim · Seung Hwan Park · Dong Hyun Kim (Hyundai Motor)

G303

[9:30~11:10]

41 カーボンニュートラルに資する熱・流体技術 II

-最新の流体技術-

Thermal and Fluid Technologies Contributing to a Carbon Neutral Society II

-Fluid Dynamics-

< OS > 座長: 中村 大輔 (本田技術研究所)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション9と同じ

173 走行による車両帯電が車両回り流れと運動性能へ与える影響

前田 和宏・杉本 満 (トヨタ自動車)
前田 登・高須賀 直一 (SOKEN)

174 車両帯電および空気イオンにより発生する電気力が流れに与える影響

高須賀 直一 (SOKEN)
前田 和宏 (トヨタ自動車)
前田 登 (SOKEN)

175 車両周りの各渦流れが空気抵抗に与える影響の定量的評価手法の検討

野中 大雅・中島 卓司 (広島大学)
中村 優佑 (マツダ)
今川 翔平 (広島大学)
清水 圭吾 (マツダ)
陸田 秀実 (広島大学)

176 インバーター向け両面積層冷却器の開発

齊藤 莊史・齋藤 有弥・富田 亮平・島津 智寛
(デンソー)
長谷川 洋介 (東京大学)

[12:10~13:50]

42 カーボンニュートラルに資する熱・流体技術 III

-カーボンニュートラルに資する伝熱技術-

Thermal and Fluid Technologies Contributing to a Carbon Neutral Society III

-Thermal Engineering Contributing to a Carbon Neutral Society-

< OS > 座長: 勅使 正輝 (スズキ)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション9と同じ

177 熱抵抗の小さな熱発電デバイスを用いた廃熱発電

柴矢 聡・見野 弘泰 (東京電機大学)

178 人工ニューラルネットワークを用いた実エンジン冷却系の伝熱解析

宮本 武司・高村 修平・窪山 達也・森吉 泰生
(千葉大学大学院)

179 A Study on the Improving Radiator Performance Prediction Accuracy to Meet Cooling Target

Sangkyu Lee (Hyundai Motor)
Junjung Park (MPSE)

- 180* Development of Control Logic for Preventing Cooling Fan Motor Damage
 Taewan Kim · Son Jiwan · Park Jungha (Hyundai Motor)

G304

【9:30~10:20】

- 43 車載ソフトウェア技術 III
 -ADAS・自動運転-
 Automotive Software Technologies III
 -ADAS and Automated Driving-
 < OS > 座長：岡部 達哉 (本田技研工業)

【企画委員会】【オーガナイザー】
 セッション7と同じ

- 181 自動運転車両のデジタルツインによる試験および認証の標準規格
 庄井 美章 (ASAM)
- 182 自動運転移動サービスの仮想ケースに対するISO 21448 (SOTIF) 適用
 大岩 美春・宮崎 義弘・福田 和良 (日本自動車研究所)

G314+G315

【9:30~11:10】

- 44 衝突安全 (乗員・交通弱者保護)
 Crash Safety (The Safety for Vehicle Occupants and Vulnerable Road Users)
 < OS > 座長：泉山 朋大 (マツダ)

【企画委員会】インパクトバイオメカニクス部門委員会
 【オーガナイザー】一杉正仁 (滋賀医科大学), 高橋裕公 (本田技術研究所), 大谷竜士 (日産自動車), 伊藤大輔 (関西大学), 泉山朋大 (マツダ)

- 183 柔軟性と緩衝性を兼ね備えた自転車用頭部保護帽の開発 (実用化モデル)
 鴻巣 敦宏・一色 孝廣 (日本自動車研究所)
 森 久見子・福積 亜沙子 (特殊衣料)
 吉成 哲 (室蘭工業大学)
- 184 多目的最適化を用いた後突シミュレーションにおけるISOスコアの精度向上
 植栗 友洋 (SUBARU)

- 185 Design, Numerical and Experimental Validation of a Simplified Side Impact Sub-System Test Approach
 Alessandro Gravina · Jordi Viñas · Gustavo Maturana · Alba Marquez (IDIADA Automotive Technology)

- 186 シートベルト付き車椅子の安全性と有用性について
 一杉 正仁・桑原 歩夢 (滋賀医科大学)

【12:20~13:10】

- 45 インパクトバイオメカニクス
 Impact Biomechanics
 < OS > 座長：高橋 裕公 (本田技術研究所)

【企画委員会】インパクトバイオメカニクス部門委員会
 【オーガナイザー】一杉正仁 (滋賀医科大学), 高橋裕公 (本田技術研究所), 大谷竜士 (日産自動車), 伊藤大輔 (関西大学), 泉山朋大 (マツダ)

- 187 自動車乗員のリクライニング着座姿勢研究
 泉山 朋大 (マツダ)
 西田 周泰・小池 正紘 (山口大学)
- 188 前面衝突における顎顔面骨折と乗員保護装置との関連性
 井田 等・青木 雅司・田中 暁満・浅岡 道久 (豊田合成)
 一杉 正仁 (滋賀医科大学)

G316+G317

【9:30~11:10】

- 46 持続可能な自動車社会の展望
 Prospects of Sustainable Automotive Society
 < OS > 座長：上條 元久 (日産自動車)

【企画委員会】持続可能な自動車社会検討部門委員会
 【オーガナイザー】前田義男 (早稲田大学), 石森 崇 (日野自動車), 河崎 高志 (トヨタ自動車), 川那辺洋 (京都大学), 木村英輔 (本田技研工業), 佐藤圭峰 (マツダ), 吉田郁哉 (PwC コンサルティング)

- 189 中長期自動車セクターにおけるカーボンニュートラルシナリオの検討
 金成 修一・平井 洋・北村 高明 (日本自動車研究所)
- 190 交通流改善によるCO₂削減の研究
 白井 隼人・錦織 貴志・山田 築・影浦 義之・山田 智海・橋本 俊哉 (トヨタ自動車)
- 191 塩尻市で実証中の自動運転ミニバスの運用アーキテクチャの構築
 中田 光昭 (マグナ・エレクトロニクス・ジャパン)
 村上 和幸 (ジェンテックス・ジャパン)
 荒田 孝正 (マグナ・エレクトロニクス・ジャパン)
 赤池 幸彦 (T2)
 河瀬 量平 (ティアフォー)
 阿部 雄一郎 (ダッソー・システムズ)
 横尾 克利 (シーメンス)
 David Hetherington (Asatte Press)
 西村 秀和 (慶應義塾大学)
- 192 Universal Mobility Equation: Quantifying Mobility Index
 TaeHee Lee · Dae-Un Sung (Hyundai Motor)

【12:10~14:15】

- 47 欧州・アジアにおける車両法規・標準化の動向
 Trends in Vehicle Regulations and Standardization in Europe and Asia
 座長：アルザメリ フサム (日本自動車研究所)

- 193* An Analysis of Performance Trends in the Replacement Tire Market Following European Automotive Environmental Regulations
 Jeongin Seo · Youngseok Jang · Ghiyoun Lee (Hyundai Motor)

- 194 IRIS - IDIADA's Regulatory Information System
-Managing Regulatory Complexity of Global Automotive Legislation-
María José Asensi · Enric Porta · Nagore Avilés · Pietro Lumare (Applus+ IDIADA)
- 195 The DCAS Bridge
-Understanding Regulatory Progression from Traditional ADAS to Full Automotive Automation-
Carlos Luján · Oriol Flix Viñas · Nadia Martínez Sheikhi (Applus+ IDIADA)
- 196 Beyond Four Wheels: UN Regulation No. 155 Implementation in Light Mobility Vehicle Cybersecurity
Carlos Lujan · Oriol Flix · Nadia Martínez (Applus+ IDIADA)
- 197 Challenges and Solutions to EU Battery Passport Regulation Compliance for Asian Economic Operators
-Regulatory, Architectural, and Cybersecurity Requirements for Digital Battery Passport Implementation-
Subhajeet Rath · Sjoerd Rongen · Avedis Dadikozyan · Erik Hoedemaekers (TNO) Steven Wilkins (TNO/Eindhoven University of Technology)

G318+G319

【9:30~12:10】

48 安全一般

General Safety

座長：関根 康史 (福山大学)

- 198 xEV 火あぶり規格試験の模型実験手法の開発
安田 周平 · 浅田 里沙 · 小川 淳一 (マツダ) 梶谷 昂平 · 榎田 智志 · 幸 淳史 (ダイキョーニシカワ) 大越 雅之 (岐阜大学) 中村 祐二 (豊橋技術科学大学)
- 199 コロナ患者の移送をEV車で実施する際の換気量の研究 (その5)
押野 幸一
- 200 A Study on Driving Safety Functions and Field Data Usage Method
Suho Lee · Seongho Song · Seungwan Cho · Jinho Kim (Hyundai Motor)
- 201 Driving the Future: Accelerating Vehicle Development Speed through Cross-Industry Synergies
Bernhard Raser (AVL List) Toru Nishizawa (AVL Japan) Laura Kraihamer · Johannes Linderl (AVL List)
- 202 SOTIF開発と機能安全開発の連携における安全コンセプト記述言語SCDLの活用
田中 伸明 (OTSL) 高田 聖 · 山下 修平 · 今井 美紗子 (DNV ビジネス・アシユアランス・ジャパン) 小笠原 豊和 (おおた開発効率化プロジェクト) 村田 智良 (日本自動車研究所) 佐々木 喜好 (Astemo) 西原 秀明 (産業技術総合研究所)
- 203 高速道でのトラックニアミスデータによる自動運転車の安全性評価手法の考察
伊藤 祥司 · 中野 泰彦 · 上原 健一 · Aekanan Sakulraemrung (神奈川工科大学) 福田 泰志 (BIPROGY) 三浦 基嗣 (PTV グループジャパン) 井上 秀雄 (神奈川工科大学)

【13:10~16:15】

49 予防安全と運転支援システム I

Active Safety and Advanced Driver Assistance Systems I

< OS > 座長：塚田 竹美 (本田技術研究所)

【企画委員会】アクティブセイフティ部門委員会

【オーガナイザー】小竹元基 (東京科学大学), 面田雄一 (日本自動車研究所), 塚田竹美 (本田技術研究所), 濱口 裕 (日野自動車), 深尾隆則 (東京大学), 宮島千代美 (大同大学)

- 204 定期検査時の効果的なADAS機能テスト
Andreas Himmler · Patrizio Agostinelli (dSPACE) 花岡 弘樹 (dSPACE Japan)
- 205 Resilient and Continuous Safety Assurance Methodology for CCAM and its HMI Components
Oana Moldovan (Applus+ IDIADA)
- 206 長基線長ステレオカメラを用いた夜間遠方認識向け教師データ自動生成技術
熊野 俊也 · 松坂 昇治 · 池田 尚央 · 山田 結己 · 上田 祐輔 · 川崎 直輝 (SOKEN) 河上 貴一郎 (トヨタ自動車)
- 207 交通シーン検索のための車載カメラ映像からのシナリオ抽出技術
露木 雅文 (日立製作所) 西田 哲哉 · 富田 民則 · 新 吉高 (Astemo)
- 208 後輪操舵を用いた前進縦列駐車アシストの新手法提案
前田 健太 (日立製作所) 白石 達也 · 都賀 大輔 · 石丸 博規 · 高僧 美樹 · 横山 篤 (Astemo)
- 209 ACC制御を最適化して円滑な交通流を実現する研究
入江 喜朗 · 森本 知昭 (トヨタ自動車)
- 210 空間電位変動を利用した車室内ヒト検知非接触センサの開発
河野 賢司 (東京大学) 須藤 裕之 (トヨタ自動車) 横田 裕輔 (東京大学) 梅谷 有亮 (トヨタ自動車) 須田 義大 (東京大学/東京工科大学)

G401+G402

【9:30~12:10】

50 車両の運動と制御 IV

Vehicle Dynamics and Control

< OS > 座長：Pongsathorn Raksincharoensak (東京農工大学)

【企画委員会】【オーガナイザー】

セッション1と同じ

- 211 拡張カルマンフィルタを用いたタイヤ発生力推定モデルの開発 -第二報-
北野 翔太 · 糸賀 秀樹 · 日比野 貴則 · 桑原 一樹 · 金子 広孝 · 菅井 友駿 (トヨタ自動車)
- 212 電子制御式カップリングAWDの前後締結度が車両運動に与える影響
平賀 直樹 · 山本 航輝 · 岡崎 大地 · 砂原 修 (マツダ) 石井 遂也 · 山門 誠 · 狩野 芳郎 · 山本 真規 · 安部 正人 (神奈川工科大学)
- 213 ブレーキG-Vectoring制御がダブルレーンチェンジ試験性能に及ぼす影響
間島 陽希 · 源平 伊吹 · 山本 真規 · 狩野 芳郎 · 安部 正人 · 山門 誠 (神奈川工科大学) 柴田 知寿 · 水野 陽一 (トヨタ自動車)

- 214 Development of AI-Based Bush Characteristics Prediction Model for R&H Simulation Modeling Efficiency
 Mi Reu Kim · Tae Min Jeong (Hyundai Motor)
- 215 エネルギー伝達モデルに基づく車両運動の過渡応答解析
 山崎 徹 (神奈川大学)
 小瀬川 篤 (神奈川大学大学院)
 荒木 雄大 (神奈川大学)
- 216 Design of an Integrated Steering-Suspension Corner Module
 Haoyang Lyu · Jianyuan Liu · Jingran Wang · Kaipeng Wang · Hongyuan Jiang · Zihong Zou · Zhouyi Zhen · Mingyan Hu · Mengjian Tian (Shenzhen Technology University)

- 222 車内の温熱刺激によるドライバの覚醒維持と温熱快適性の低下抑制
 仁瓶 梨奈 · 栗本 琢也 · 野竹 航司 (日産自動車)
 郭 鐘聲 (拓殖大学)
 平尾 章成 (芝浦工業大学)
 小竹 元基 (東京科学大学)
- 223 Development of a Controlled Testing Procedure for Evaluating Driver Alcohol Intoxication Detection Systems
 Francesco Deiana · James Jackson · Simone Toma · Cristina Periago (Applus+ IDIADA)
- 224 A Study on Optimal Operating Force of Automotive Moving Parts Based on Muscle Activation and User Perceived Effort
 Jaehoon Chung (Hyundai Motor)

【13:10~14:25】

51 タイヤ/路面摩擦特性とその周辺技術 IV
 - タイヤのメカニズムと将来に向けて -
 Tire / Road Characteristics, Contact Properties and Related Technologies IV
 -Tire Mechanisms Toward the Future-
 < OS > 座長: 宮下 直士 (横浜ゴム)

【企画委員会】【オーガナイザー】
 セッション 24 と同じ

- 217 測定手法の違いによるタイヤ横方向緩和長評価への影響
 村上 太一 · 上坂 彰朗 · 石神 直大 · 名塩 博史 (TOYO TIRE)
- 218* タイヤ力学特性制御を目的としたタイヤ搭載型内圧制御システムの開発
 松原 真己 (早稲田大学)
 関野 直規 · 種橋 潤也 · 横井 大亮 (スズキ)
- 219 インテリジェントタイヤ用摩擦発電機の高出力化
 谷 弘詞 · 呂 仁国 · 小金沢 新治 (関西大学)
 松田 淳 · 樋口 禎 · 林 茂樹 (横浜ゴム)

G403

【9:30~11:35】

52 ドライバの知覚・認知・感情
 Driver Perception, Cognition, and Emotion
 < OS > 座長: 平岡 敏洋 (日本自動車研究所)

【企画委員会】映像情報活用部門委員会, 車両特性デザイン部門委員会, アクティブセーフティ部門委員会, ヒューマンファクター部門委員会, ドライバ評価手法検討部門委員会
 【オーガナイザー】小竹元基 (東京科学大学), 恩田和征 (スズキ), 平岡敏洋 (日本自動車研究所), 田島孝光 (本田技術研究所), 榎田修一 (九州工業大学)

- 220 車両ドライビングシミュレータにおける運転操作性観点での遅延許容量の実験的検証
 吉田 武司 · 青木 隆行 · 板垣 大輔 · 小黒 翼 · 坂本 浩隆 (トヨタ自動車)
- 221 高齢ドライバを対象としたオンライン運転適性診断の信頼性に関する事例研究
 -運転寿命延伸を目指したドライバ運転特性研究 (48) -
 谷口 俊治 · 井上 愛子 · 梅垣 宏行 (名古屋大学)
 小出 直史 (大阪大学)
 青木 宏文 (名古屋大学)

【12:35~14:15】

53 ドライバ行動の分析とモデル化
 Analysis and modeling of Driver Behavior
 < OS > 座長: 林 隆三 (東京理科大学)

【企画委員会】映像情報活用部門委員会, 車両特性デザイン部門委員会, アクティブセーフティ部門委員会, ヒューマンファクター部門委員会, ドライバ評価手法検討部門委員会
 【オーガナイザー】小竹元基 (東京科学大学), 恩田和征 (スズキ), 平岡敏洋 (日本自動車研究所), 田島孝光 (本田技術研究所), 榎田修一 (九州工業大学)

- 225 電動車両の加減速特性が高齢ドライバのペダル操作に与える影響
 林田 友佑 (東京農工大学)
 飯塚 達也 · 阿部 晃大 · 加藤 洋子 · 関根 道昭 (自動車技術総合機構)
- 226 高齢ドライバのドライブレコーダで計測した衝突回避緊急制動頻度の走行地域による差について
 -運転寿命延伸を目指したドライバ運転特性研究 (47) -
 米川 隆 · 青木 宏文 (名古屋大学)
 島崎 敢 (近畿大学)
 小嶋 理江 · 伊藤 倫 · 平野 昭夫 · 名切 未晴 (名古屋大学)
- 227 自動運転時の視線計測に基づくドライバの運転スタイルの推定
 目片 悠貴 (神奈川大学)
- 228* 運転再開リハビリテーションにおけるドライビングシミュレータデータ・ログ解析
 小林 知世 (近畿大学)
 橋本 竜之介 (近畿大学/貴志川リハビリテーション病院)
 小濱 剛 (近畿大学)

G404

【9:30~12:35】

54 次世代の燃料・潤滑油・トライボロジー技術
 Next-Generation Fuel, Lubricant, and Tribology Technologies
 < OS > 座長: 川野 大輔 (大阪産業大学)

【企画委員会】燃料潤滑油部門委員会
 【オーガナイザー】山口卓也 (大分大学), 渡邊 学 (ENEOS), 飯田晋也 (マツダ), 山口恭平 (国士舘大学)

- 229 A Study on the Causes of Diesel Injector Claims in India through Low-Pressure Fuel System Analysis
 Keunsoo Kim (Hyundai Motor)

- 230* バイオディーゼル燃料の多成分サロゲートモデルの開発
 福田 晶・河内 隆史・百瀬 好二(豊田自動織機)
 高瀬 秀樹(IDAJ)
 林 朋博・稗島 利明(SOKEN)
- 231 ディーゼル代替アルコール拡散燃焼技術(第4報)
 -二燃料噴射の軽油割合低減効果-
 脇坂 佳史・近藤 照明・西川 一明・冬頭 孝之
 (豊田中央研究所)
 伊達 健治・植田 祐介・菅原 里志(デンソー)
- 232 水素エンジンにおいて乳化したエンジンオイルの水分蒸発要因に関する研究
 伊東 明美・市村 凌裕・本宮 一稀(東京都市大学)
- 233 吸気系エンジンデポジットの核となるエンジンオイル付着予測技術
 川上 愛子・谷岡 真一・久慈 洋一(マツダ)
- 234 表面粗さ変化と反応膜形成を統合したエンジン軸受なじみ予測モデルの構築
 河口 健太郎(マツダ)
- 235 リングシール性に影響するピストン・リング動的挙動の評価とフラッタ解析技術
 中西 潤二郎・志々目 宏二・福馬 真生(マツダ)

[13:35~14:50]

55 CN 社会を支えるガス燃料そのエンジン技術 I
 Supporting CN Society: Gas Fuel and Engine Technologies
 <OS> 座長:川那辺 洋(京都大学)

【企画委員会】ガス燃料エンジン部門委員会
 【オーガナイザー】川那辺洋(京都大学), 菊池 勉(日産自動車), 佐古 孝弘(大阪ガス), 鈴木健太(いすゞ自動車)

- 236 小型商用車向け水素エンジン開発
 松井 良輔・土屋 富久・白川 道人・永崎 岳人・
 佐久間 亨・井戸 哲・春名 泰宏・中田 和哉
 (トヨタ自動車)
 安藤 彰浩(SOKEN)
- 237* アンモニア/水素SIエンジンの開発
 -アンモニア/水素供給方式のPF1化と性能への影響検証-
 牟田 直輝・草場 耕佑・正月 宏明・西橋 知博・
 黒木 志典・永野 幸秀・澤下 真人・島 祐太・
 内藤 一哉・江原 達哉(ダイハツ工業)

- 238 Combustion Studies on a Large-Bore Pent-Roof Spark-Ignited Hydrogen Engine
 Thomas E. Briggs・Daniel Ryan Williams・
 Julian M. Wallace (Southwest Research Institute)
 Tomoyuki Itou (Isuzu Motors)

G414+G415

[9:30~11:10]

56 次世代の自動車用材料と先進生産技術 II
 Next-Generation Advanced Production Engineering for
 Automotive Material II
 <OS> 座長:松村 隆(東京電機大学)

【企画委員会】【オーガナイザー】
 セッション 32 と同じ

- 239 第二世代燃料電池モジュール量産を実現した超高効率生産技術
 -(第1報)-
 室本 信義・山岸 弘幸・柳澤 邦彦(本田技研工業)
 Taiki Ishikawa (Fuel Cell System Manufacturing)

- 240 高周波誘導加熱による鋼管の高効率な軸方向接合の解析的検討
 有吉 智彦(アトリCAE)
- 241 ソリッド要素を用いたせん断加工-成形加工連成FE解析によるプレス成形部品の残留応力発生プロセス可視化
 池野 仁志・三輪 貴紀・横山 博紀・福山 義之
 (太平洋工業)
- 242 高強度鋼板を用いた部品の衝突性能を向上する接合技術開発
 岡田 徹・水谷 巧・谷口 大河・堀川 裕史・
 富士本 博紀・鈴木 淳一郎・吉田 博司(日本製鉄)

[12:20~14:00]

57 次世代の自動車用材料と先進生産技術 III
 Next-Generation Advanced Production Engineering for
 Automotive Material III
 <OS> 座長:鈴木 教和(神戸大学)

【企画委員会】【オーガナイザー】
 セッション 32 と同じ

- 243 機械学習によるアルミ合金摩擦攪拌点接合の強度予測モデル(第一報)
 福原 俊昭(マツダ)
 杉本 幸弘(広島大学)
 深堀 貢・田中 耕二郎・島田 聡子・藤田 一輝
 (マツダ)
- 244 高機能鋼板を活用したBEVバッテリーパックと要素技術の開発(第一報)
 -高機能化/工程削減/省スペース化を実現する要素技術開発-
 木本 野樹・齋藤 由実・北原 優樹・鈴木 淳一郎・
 東新 邦彦・古賀 敦雄・柴尾 史生・谷口 大河・
 久保 雅寛(日本製鉄)
- 245 高機能鋼板を活用したBEVバッテリーパックと要素技術の開発(第二報)
 -電着塗装削減に向けたロアケースソリューション開発-
 谷口 大河・木本 野樹・古賀 敦雄・東新 邦彦・
 吉田 博司(日本製鉄)
- 246 シャシー部品の高機能化に貢献するソリューション技術の開発
 漆畑 諒・北原 優樹・石田 欽也・田畑 亮・
 松葉 正寛・大塚 研一郎・銭谷 佑(日本製鉄)

[14:30~16:10]

58 フィジカル AI が実現する新モビリティ社会
 -AI のリアルワールド実装への期待とその課題 -
 New Mobility Society Realized by Physical AI
 -Expectations and Challenges for Real-World Implementation of AI-
 <OS> 座長:向井 正和(工学院大学)

【企画委員会】自動車制御とモデル研究部門委員会
 【オーガナイザー】安井裕司(本田技術研究所), 向井正和(工学院大学),
 平野 豊(平野リサーチラボ), 青野俊宏(日立製作所), 曹 文静(上智大学),
 小川史恵(マツダ), 溝口佳寛(九州大学), 小林千紗(本田技術研究所)

- 247 燃料電池ごみ収集車の運行モード分類におけるデータ駆動型弱教師学習手法の提案
 鮑 義達・張 翔・方 亦園・楊 伊翔・紙屋 雄史
 (早稲田大学)
- 248 自律走行車における「予期機構」の構造
 伊藤 昌夫(ニルソフトウェア)

- 249 **Toward Generalizable Graph Learning for 3D Engineering AI**
 -Explainable Workflows for CAE Mode Shape Classification and CFD Field Prediction-
 Tong Duy Son · Kohta Sugiura · Marc Brughmans · Andrey Hense · Zhihao Liu · Amirthalakshmi Veeraraghavan · Ajinkya Bhawe · Jay Masters · Paolo di Carlo · Theo Geluk (Siemens Digital Industries Software)

- 250 **Considerations Regarding the Safety Assurance of AI-Based Automated Driving Systems**
 Olaf Op den Camp (TNO)
 Jan-Pieter Paardekooper (TNO/Radboud University)

G416+G417

[9:30~11:35]

- 59 **電化道路(走行中給電)の最新技術**
 Cutting-Edge Technologies of ERS and DWPT
 < OS > 座長: 横井 行雄 (拓殖大学)

【企画委員会】ワイヤレス給電システム技術部門委員会
 【オーガナイザー】居村岳広 (東京理科大学), 伊東淳一 (長岡技術科学大学), 堀 洋一 (東京理科大学), 畑 勝裕 (芝浦工業大学), 横井行雄 (拓殖大学), 日下佳祐 (長岡技術科学大学)

- 251 **走行中ワイヤレス給電における磁気双極子モデルによる漏洩磁界計算の有用性について**
 居村 岳広 (東京理科大学)
- 252 **セメント複合材料を応用した2025年大阪・関西万博の電化道路**
 -複数微細ひび割れ型繊維補強セメント複合材料のEVインフラへの応用-
 田中 浩一・佐々木 一成・溝淵 麻子・富田 康弘 (大林組)
- 253 **大阪・関西万博での電化道路実証**
 鶴田 義範 (ダイヘン)
- 254 **全国高速道路ネットワークにおける走行中無線給電システムの最適配置**
 本間 裕大・羽佐田 紘之・丸山 純矢・川井 一馬 (東京大学)
- 255 **走行中ワイヤレス給電の社会実装に向けた技術課題と応用展開**
 畑 勝裕・廣田 英治 (芝浦工業大学)

[12:35~13:50]

- 60 **ワイヤレス給電の最新動向と応用展開**
 Recent Progress and Future Perspectives in WPT
 < OS > 座長: 花澤 理宏 (大成建設)

【企画委員会】ワイヤレス給電システム技術部門委員会
 【オーガナイザー】居村岳広 (東京理科大学), 伊東淳一 (長岡技術科学大学), 堀 洋一 (東京理科大学), 畑 勝裕 (芝浦工業大学), 横井行雄 (拓殖大学), 日下佳祐 (長岡技術科学大学)

- 256 **eモビリティのためのワイヤレス給電の標準と規制・制度**
 -国際標準の動向と国内での規制・制度-
 横井 行雄 (拓殖大学)
- 257 **ワイヤレス給電インバータの実用化開発**
 會見 春樹・田内 良男・片岡 辰雄・石間 勉 (島田理化学工業)

- 258 **モビリティ応用へ向けた導波路方式ワイヤレス給電の基礎検討**
 増田 祐二 (2DC)
 高橋 直也・畑 勝裕 (芝浦工業大学)

G418+G419

[9:30~11:35]

- 61 **社会変革と次世代のモビリティ**
 Social Change and Next Generation Mobility
 < OS > 座長: 鈴木 高宏 (麗澤大学)

【企画委員会】モビリティ社会部門委員会
 【オーガナイザー】須田義大 (東京工科大学), 鈴木高宏 (麗澤大学), 杉町敏之 (東京都市大学), 小林 貴 (自動車技術総合機構)

- 259 **自動運転の安全基準に関する国際的な議論動向**
 島野 徹 (国土交通省)
- 260 **自動車走行時の高信頼性通信実現に向けた通信途絶低減の検討**
 -OpenAirInterfaceを用いたハンドオーバー制御xAppの実装とデジタルツイン環境による評価-
 大崎 春輝 (構造計画研究所)
 伊藤 章 (トヨタ自動車)
 坂本 昌也・家 哲也・片岡 慎一郎 (構造計画研究所)
- 261 **視野設計を通じたバスの遠隔操縦者の作業負担低減**
 古郡 直樹・松村 勇作 (東京都市大学大学院)
 杉町 敏之・櫻井 俊彰・矢作 修一 (東京都市大学)
 大貫 正明・中野 公彦 (東京大学)
 郭 鐘聲 (拓殖大学)
- 262 **CACCへの暗号化制御技術の適用**
 山田 崇晴 (dSPACE Japan)
 小木曾 公尚 (電気通信大学)
- 263 **A Port Operation Use Case from the EU Project MODI Involving SAE Level 4 Automated Driving**
 Antoine Schmeitz · Sven Jansen (TNO)
 Masamichi Kiyoyanagi (TNO Japan)

[12:35~15:15]

- 62 **リサイクル・コーティング材料**
 Recycle/Coating Materials
 座長: 渡邊 敏雄 (トヨタ自動車)

- 264* **廃棄太陽光パネルカバーガラスを用いた強化プラスチック用リサイクルガラスファイバー**
 貫井 洋佑 (日東紡績)
- 265 **水平リサイクルに向けたELVシートベルトウェビングの分析**
 -第2報 使用環境が分かる汚れおよび劣化度合の定量化-
 志賀 大輝・福田 猛・小林 正俊 (本田技術研究所)
- 266 **Battery Recycling technologies and End-of-Life material recovery for the UK Battery Supply Chain**
 Hadi Mozfarzadeh · Aditya Thirunavukkarasu · Julian Hetherington (Advanced Propulsion Centre)
- 267 **透明樹脂射出成型品向けプラズマCVDによるSiO_xハードコート**
 の開発
 深田 和宏 (芝浦機械)
- 268 **高機能コーティング材料における蒸発・乾燥モデル技術の開発**
 中西 佑樹・湊 允哉・坂本 健・重永 勉 (マツダ)
 畠山 望・三浦 隆治 (東北大学)
- 269 **ミリ波透過性の制御に向けた塗膜内部構造解析技術の開発**
 松井 寛杜・中西 佑樹・湊 允哉・小湊 裕允・山川 啓介・桂 大詞 (マツダ)
 兼松 佑典・泉 宏明 (広島大学)

G301+G302

[9:30~12:10]

63 xEV 車両システム・制御

xEV System / Control

< OS > 座長: 牟田 浩一郎 (トヨタ自動車)

【企画委員会】電気動力技術部門委員会

【オーガナイザー】清水 修 (東京大学), 牟田浩一郎 (トヨタ自動車), 平野 覚 (日野自動車)

270 統合FCシステムシミュレーター「FC-DynaMo」の機能拡張 -車両・バッテリーモデルおよび制御システム追加-

高木 智明・太田 寿一 (MCOR)
長谷川 茂樹 (京都大学)
矢島 祐二 (MCOR)
金 尚弘 (東京農工大学)
影山 美帆・河瀬 元明 (京都大学)

271 インホイールモータEVの低速無人運転における力センサレス 手押し操作制御手法の提案

那 宏遠・郡司 大輔・阮 平明・清水 修・藤本 博志
(東京大学)

272 新型BEVの熱マネジメントシステムの開発

茂木 勇悟・小暮 祐也・佐藤 亮介・田尻 政義
(日産自動車)

273 MBD (Model-Based Development)によるパワーユニット 開発プロセスの進化

-(第10報) 1Dシステムモデルの性能検証フェーズへの応用
展開-

緒方 健一郎・山中 健太郎・佐々川 知明・前田 剛志・
高畑 智規・坂本 圭・塩田 啓二・歳實 剛
(本田技研工業)

274 MBD (Model-Based Development)によるパワーユニット 開発プロセスの進化

-(第11報) パワーユニットトランジェントベンチの標準化による
高効率化-

山中 健太郎・前田 剛志・高畑 智規・佐々川 知明・
緒方 健一郎 (本田技研工業)

275 MBD (Model-Based Development)によるパワーユニット 開発プロセスの進化

-(第12報) パワーユニットトランジェントベンチを活用したドライ
バビリティ性能検証-

佐々川 知明・前田 剛志・山中 健太郎・中迫 聖也・
緒方 健一郎 (本田技研工業)
飯生 順也 (Honda R&D Asia Pacific)

[13:10~15:15]

64 xEV 駆動・伝達システム

xEV Drive / Transmission System

< OS > 座長: 平野 覚 (日野自動車)

【企画委員会】電気動力技術部門委員会

【オーガナイザー】清水 修 (東京大学), 牟田浩一郎 (トヨタ自動車), 平野 覚 (日野自動車)

276 xEVの性能評価に用いるシャシダイナモメータシステム要件の 検討

-(第4報) 実走行状態の再現を目的としたJASO E 018 Part-3
の概要-

中手 紀昭 (日本自動車輸送技術協会)
鈴木 央一 (自動車技術総合機構)
井上 勇 (小野測器)
廣瀬 翼 (堀場製作所)
古田 智信 (明電舎)
久波 秀行 (マツダ)
佐藤 健司 (トヨタ自動車)
竹村 保人 (ダイハツ工業)
田代 康介 (三菱自動車工業)
谷脇 真人 (スズキ)
中川 翔平 (本田技研工業)
成毛 政貴 (日本自動車研究所)
堀川 健夫 (SUBARU)
榎谷 啓一 (日産自動車)
野田 明 (元日本自動車輸送技術協会)

277 From REEV to Hyper-REEV

-Enhancing the Driving Pleasure of Electrified Sports
Cars-

Christoph Koehler・Takuya Maeda (IAV Japan)
Marc Sens・Alexander Fandakov・Michael Riess (IAV)

278 Accelerated Reliability Assessment for Power

Electronics: Optimizing Traditional Testing Methods for
EV Applications

Gerard Ibars Escarre・Yasmine Himene・
Javier A. Corea-Araujo・Agustin Bucciarelli
(Applus+ IDIADA)
Abdelali El Aroudi (Universitat Rovira i Virgili)

279 A Study on Electrical Efficiency Improvement and Heating Control via Induced Inefficiencies of an Electric Compressor for EV Energy Consumption Improvement

Woo Jun Hur (Hyundai Motor)

280 走行中無線給電による省エネ、省資源社会への貢献

紺野 由希・加藤 直也・光田 徹治・谷 恵亮・
角谷 勇人・矢羽田 寛子・山口 浩司 (デンソー)

G303

[9:30~11:35]

66 道路交通騒音の評価・対策技術

Technologies of Evaluations and Measures for Road Traffic
Noise

< OS > 座長: 山内 勝也 (九州大学)

【企画委員会】車外騒音部門委員会

【オーガナイザー】森長 誠 (大同大学), 谷津幸裕 (日野自動車), 山崎 徹 (神奈川大学), 白橋良宏 (神奈川大学)

【基調講演】

281 自動車交通騒音と自動車単体騒音対策の現状について

山本 敬介 (環境省)

- 282 車外騒音R51-03フェーズ3規制値への対応
加藤 幸治・渥美 好崇・森田 英憲・駒田 匡史 (トヨタ自動車)
- 283 欧州諸国における道路交通騒音に係る評価基準の動向
原田 和典 (東京大学)
丸山 直也 (熊本大学)
平栗 靖浩 (近畿大学)
大嶋 拓也 (新潟大学)
坂本 慎一 (東京大学)
- 284 転動中のトレッド変形を考慮したパターン設計によるタイヤ放射音の低減
藤井 宇 (横浜ゴム)
高阪 文彦 (ダッソー・システムズ)
- 285 大型車から発生する低周波音が不快感に及ぼす影響の評価方法に関する検討
森長 誠 (大同大学)
横島 潤紀 (神奈川県環境科学センター/神奈川大学)
岩永 景一郎・土肥 哲也 (小林理学研究所)
菅原 彬子 (近畿大学)

[12:35~13:50]

67 新しい計測診断技術
New Technologies for Advanced Measurements and Diagnostics
< OS > 座長: 田中 光太郎 (茨城大学)

【企画委員会】計測・診断部門委員会
【オーガナイザー】田中光太郎 (茨城大学), 加藤真亮 (SUBARU), 小島 宏一 (産業技術総合研究所)

- 286 Virtualization as a Catalyst for Requirement-Based DevOps in Electrified Powertrain Systems
Dragana Borjan · Franz Eberhard · Stefan Eder · Avinash Singh · Samuel Swamidass (AVL List)
- 287 指圧波形中の特定低次周波数成分に注目した図示平均有効圧算出法の2山指圧波形への適用
長島 慶一 (本田技術研究所)
土屋 一雄 (明治大学)
- 288 ピストン摩擦力計測技術の開発
鈴木 健了・中山 慶則・本田 篤史 (SOKEN)
並木 元治・藤本 雅大 (トヨタ自動車)
戸田 幸男 (戸田レーシング)

[14:20~17:00]

68 電動化時代の最新の駆動・動力伝達技術
Latest Drivetrain and Transmission Technologies for the Electrified Age
< OS > 座長: 大窪 和也 (同志社大学)

【企画委員会】動力伝達系部門委員会, CVT・ハイブリッド部門委員会
【オーガナイザー】荒川一哉 (トヨタ自動車), 中澤智一 (ジェンサムジャパン), 吉川英樹 (三菱ふそうトラック・バス), 石田直樹 (ダイハツ工業), 相原建人 (法政大学), 佐藤佳司 (自動車用動力伝達技術研究組合)

- 289 ミッドサイズSUV向け新世代ハイブリッドトランスアクスルの開発
新居 寛憲・末永 真一郎・島薺 公平・安井 潤一郎・山谷 裕二・結城 啓介・加藤 弘樹 (トヨタ自動車)
- 290 高性能e-Axleオイルの開発
石神 和訓・加藤 豪・前田 誠 (ジャヤトコ)
佐々木 涼・小松原 仁 (ENEOS)
- 291 高速回転歯車の潤滑に関する考察 (第4報)
-潤滑デバイスを用いたパラメトリックスタディ-
堺 和樹・原 智之・佐藤 徹也・山田 准司・鈴木 健祐・藤田 直裕・大野 匡美 (ユニバンス)

- 292* 高周速トラクションドライブの冷却性能に及ぼす潤滑方向の影響と油膜挙動の観察
朴 峻希・川本 裕樹・田嶋 駿一・落合 成行 (東海大学)
- 293* 薄膜センサによる駆動系歯車歯面の多点同時瞬時接触圧力及び瞬時温度の計測法について
三原 雄司 (東京都市大学総合研究所)
尾鷲 道康・岩田 拓実 (モトラ)
- 294 ベアリングの摩擦損失最小化によるBEVのライフサイクルCO₂排出量およびバッテリーコストの低減
Franz Voelkel (Schaeffler Technologies)
西澤 聖哉・坂口 健 (シェフラー・ジャパン)
Volkhard Walther · Johannes Kerstiens (Schaeffler Technologies)

G304

[9:30~11:35]

69 カーボンニュートラルに資する熱・流体技術 IV
- 快適と高効率を両立する車室内環境技術 I -
Thermal and Fluid Technologies Contributing to a Carbon Neutral Society IV
- Cabin Environmental Technologies for Comfort and Efficiency I -
< OS > 座長: 六嶋 公平 (デンソー)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション9と同じ

- 295 調湿デバイスによる電気自動車の冬季航続距離改善: Ceramic Humidity Regulator (CHR)
齋藤 浩貴・伊原 幸男・太田 一・酒井 直希 (NGK)
- 296 Holistic Evaluation of Electric Vehicle Efficiency: Benchmark Study of R-474A, R-1234yf, and R-744 Using Digital Twin Simulation
Christian Macri · Álvaro de León · Felix Flohr (Daikin Chemical Europe)
- 297 Experimental Study and Simulation on the Performance of a Heat Pump System with Novel Low-GWP R474A for New Energy Vehicles
Yunlong Zhang (Shanghai Jiao Tong University)
Nie Hao (Daikin Fluorochemicals)
Negishi Yasutaka · Ajioka Shohei · Bunno Asuka (Daikin Industries)
Yamamoto Kei (Daikin Fluorochemicals)
Jiangping Chen · Binbin Yu (Shanghai Jiao Tong University)
- 298 Testing of Novel Refrigerants in an Indirect Automotive Heat Pump Module
- Drop in Comparison of R-1234yf, R-474B, R-491A, and R-290 -
Miloš Fojtlín · Ján Tuhovčák · Tomáš Mrkvica (SATTELO)
- 299 車載電動コンプレッサ短絡放電エネルギー推定のためのシステムシミュレーションモデルの構築
長井 謙悟・中山 諒人・増田 樹 (名古屋大学)
根岸 泰隆・文野 明日香・白井 隆 (ダイキン工業)
重松 浩一・今岡 淳・山本 真義 (名古屋大学)

【12:35~14:15】

70 カーボンニュートラルに資する熱・流体技術 IV
- 快適と高効率を両立する車室内環境技術 II-
Thermal and Fluid Technologies Contributing to a Carbon
Neutral Society IV
-Cabin Environmental Technologies for Comfort and
Efficiency II-

< OS > 座長: 尾関 義一 (AGC)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション9と同じ

- 300 ステレオPIV計測による外気導入率制御時の車室内気流特性の検討
大西 功祐・中島 卓司・伊藤 和樹・陸田 秀実 (広島大学)
- 301 CFD解析と固有直交分解による事前空調効率化のための車室内気流特性の検討
伊藤 和樹・西小倉 暉・中島 卓司・大西 功祐・陸田 秀実 (広島大学大学院)
- 302 車室断熱特性の計測解析と入放熱現象の解明
孫 穎・中前 晴幾 (モルテン)
尾川 茂 (尾川流体研究所)
筒本 隆博・杉原 毅 (ひろしま産業振興機構)
- 303 体温調節パーソナルフィットモデルの構築
岡部 力也 (マツダ)
研井 暁 (マツダ/広島大学)
永野 秀明・宿谷 昌則 (東京都市大学)

G314+G315

【9:30~10:45】

71 二輪車の運動・制御・安全 I
- 自動二輪車, 自転車, PMV の未来に向けて -
Dynamics, Control and Safety of Two-Wheeled Vehicles I
-Motorcycles, Bicycles, and PMV-

< OS > 座長: 平澤 順治 (茨城工業高等専門学校)

【企画委員会】二輪車の運動特性部門委員会
【オーガナイザー】原口哲之理 (名古屋大学), 浅川 優 (Astemo), 木谷友哉 (静岡大学), 平澤順治 (茨城工業高等専門学校)

【基調講演】

- 304 二輪車の旋回挙動における固有モード応答の解析
木村 哲也
- 305 ヘルメット内触覚フィードバックを用いた二輪車運転者への非視覚ナビゲーションの提案
東本 泰輝・曾根 卓朗・木谷 友哉 (静岡大学)
- 306 因子グラフを用いた車載GNSS/IMU統合での自動二輪車ライダー乗車リーン角推定手法の提案
松村 優希・木谷 友哉 (静岡大学)

【11:55~13:35】

72 二輪車の運動・制御・安全 II
- 自動二輪車, 自転車, PMV の未来に向けて -
Dynamics, Control and Safety of Two-Wheeled Vehicles II
-Motorcycles, Bicycles, and PMV-

< OS > 座長: 木谷 友哉 (静岡大学)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション71と同じ

- 307 IMUを用いた自動二輪車の運動計測
平澤 順治 (茨城工業高等専門学校)
- 308 路面摩擦特性が二輪車の運動性能に与える影響
景山 一郎 (先進路面摩擦データベース研究組合/日本大学)
渡辺 淳士・栗谷川 幸代 (日本大学)
原口 哲之理 (先進路面摩擦データベース研究組合/日本大学)
金子 哲也 (大阪産業大学)
西尾 実 (アブソリュート)
- 309 二輪車の車両諸元がウィーブモードの安定性に及ぼす影響の解析
片山 稔・明用 将典・藤本 優和・吉野 貴彦 (久留米工業大学)
- 310 旋回時に内傾するパーソナルモビリティビークル (PMV) の旋回時ピッチ姿勢の考察
原口 哲之理 (名古屋大学/日本大学)
金子 哲也 (大阪産業大学/日本大学)

G316+G317

【9:30~12:10】

73 予防安全と運転支援システム II
Active Safety and Advanced Driver Assistance Systems II

< OS > 座長: 吉岡 透 (マツダ)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション49と同じ

- 311 マルチエージェント交通シミュレーションによるNaturalistic DS試験手法の確立に向けて
田島 淳 (三咲デザイン)
鈴木 桂輔 (香川大学)
鈴木 宏典 (東洋大学)
北島 創 (日本自動車研究所)
- 312 Analysis of Differences in Driving Behavior between Two Countries in a Naturalistic Simulator Experiment
Keisuke Suzuki・Naoki Nishiyama (Kagawa University)
Kultida Payappanon・Sunhapos Chantranuwathana・Nuksit Noomwongs (Chulalongkorn University)
Yoshitaka Mimura (Honda R&D)
- 313 メタバースを活用した電動キックボードの速度抑制支援の効果検証
土岐 真軌人・鈴木 桂輔 (香川大学)
戸田 周作 (あいおいニッセイ同和損害保険)
- 314 カメラモニタリングシステムの情報提示が四輪車ドライブおよび二輪車ライダーの安心感に与える影響
宮本 航希・鈴木 桂輔 (香川大学)
泉口 拓哉・高木 誠之 (ペンストン)

- 315 共感インターフェースに関する研究
-悲しみ表情フィードバックの車間距離保持特性への影響-
木村 年晶 (近畿大学)
白井 真理子 (信州大学)
鈴木 桂輔・佛圓 哲朗 (香川大学)
田島 淳 (三咲デザイン)

- 316 MR歩行者シミュレータを活用した歩行者の単路部横断モデルの構築
小田 蛭太 (三咲デザイン)
鈴木 桂輔 (香川大学)
木村 年晶 (近畿大学)
鈴木 宏典 (東洋大学)
田島 淳 (瀬戸内シミュレータ)

【13:10~15:15】

74 予防安全と運転支援システム III
Active Safety and Advanced Driver Assistance Systems III
< OS > 座長: 荒川 俊也 (東京電機大学)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション 49 と同じ

- 317 マルチエージェント交通流シミュレーションの積極的利活用に
基づく自動運転技術の開発と成熟度の可視化
北島 創・遠藤 駿・内田 信行・山崎 邦夫
(日本自動車研究所)
菅沼 直樹 (金沢大学)
奥野 唯 (OS 企画)
田島 淳 (三咲デザイン)

- 318 10台連携ドライビングシミュレータと離散選択ベースのドライバ・
モデルのパラメータ推定手法を用いた高速道路合流部におけ
る運転行動分析
吉岡 透 (マツダ)
鈴木 宏典 (東洋大学)
田島 淳 (三咲デザイン)

- 319* 10台連携シミュレータを用いた高速道路の車線閉塞シーンに
おけるドライバの車線変更挙動と車両間インタラクションの分析
鈴木 宏典 (東洋大学)
関 龍哉・藤井 聖也・宇根崎 弘・近藤 秀一・吉岡 透
(マツダ)

- 320 マルチエージェント交通シミュレーションにおける交通参加者エー
ジェントの統一的な経路計画アルゴリズム (第2報)
関 龍哉 (マツダ)
鈴木 宏典 (東洋大学)
田島 淳 (三咲デザイン)

- 321 実道路観測とMR歩行者シミュレータ実験における歩行者挙動
の特徴比較
長谷川 裕修・吾郷 泰紀 (香川大学)
葛西 誠 (秋田工業高等専門学校)

G318+G319

【9:30~10:45】

75 高分子・複合材料
Polymer/Composite Materials
座長: 重光 望 (トヨタ自動車)

- 322 CFRPをボルト締結した構造部材の振動シミュレーション
久我 聡・川原橋 優希 (東京都市大学大学院)
岸本 喜直・小林 志好 (東京都市大学)
大野 友暉・有山 大貴 (東京都市大学大学院)

- 323 CFRTP射出成形品の強度に対する繊維構造の影響
笹本 涼帆・濱田 陸奥樹・西野 創一郎 (茨城大学)
早乙女 秀丸・岩澤 健太
(茨城県産業技術イノベーションセンター)

- 324 モデルベースによる自動車用ウレタンの発泡予測技術
齋藤 迅・山下 純一郎・檜原 淳二
(ダイキョーニシカワ)
遊川 秀幸・谷澤 浩樹・井上 実 (広島大学/マツダ)
中谷 都志美 (広島大学)
三浦 隆治・畠山 望 (広島大学/東北大学)
木原 伸一 (広島大学/広島大学大学院)

【11:45~14:25】

76 Cars that Think and Communicate I
-高度センシング・エレクトロニクス技術に向けて-
Cars that Think and Communicate I
-Toward Advanced Sensing and Electronics Technologies-
< OS > 座長: 三田 夏大 (イリソ電子工業)

【企画委員会】エレクトロニクス部門委員会
【オーガナイザー】荒川俊也 (東京電機大学), 戸田雄一郎 (岡山大学),
中館弘一 (スタンレー電気), 長谷川高輔 (デンソー)

- 325 量子インスパイアード最適化を活用した軌道計画の高速道路
合流部での効果検証
太矢 晃示・高橋 隆志・松浦 甲汰・山本 賢伸
(ミライズテクノロジーズ)

- 326 インタラクティブマルチシミュレータを用いたデータ駆動型アル
ゴリズムの開発フレームワーク
河邊 昭平・伊藤 章 (愛知工業大学)
金城 健・浅田 祐樹 (デンソー)
辻 文武・吉岡 洗一・伴 和徳
(トヨタテクニカルディベロップメント)

- 327 ハプティックステアバイワイヤによる路面適応制御
山中 裕介・桑原 央明 (芝浦工業大学)

- 328 ブロードキャスト制御に基づく自律分散型4輪独立駆動・操舵
制御系の設計
伊藤 章 (愛知工業大学)
東 俊一 (京都大学)

- 329 Optimization and Development of a 48V Cooling Fan
System with Direct Control Strategy Based on TMD
Controller**
Chan-Woong Jo・Ji-Wan Son (Hyundai Motor)

- 330 Driving Risk Prediction Over a Repetitive Driving Pattern**
Michele Guagnano (Politecnico di Torino)
Yecan Wang・Shigenobu Mitsuzawa (Honda Motor R&D)
Massimo Violante
(Politecnico di Torino/Sleep Advice Technologies)
Riccardo Groppo (Sleep Advice Technologies)

【14:55~16:35】

77 Cars that Think and Communicate II
-高度センシング・エレクトロニクス技術に向けて-
Cars that Think and Communicate II
-Toward Advanced Sensing and Electronics Technologies-
< OS > 座長: 橋本 健二 (早稲田大学)

【企画委員会】【オーガナイザー】
セッション 76 と同じ

- 331 ミリ波レーダにおけるTime Division MIMO方式の改良
天野 義久・井上 秀雄 (神奈川工科大学)

- 332 積雪のある路面におけるミリ波の反射特性とモデル化
黒田 浩司 (神奈川工科大学/テクノプロ)
天野 義久・日比野 愛子・水越 雅司 (神奈川工科大学)
佐藤 研吾 (防災科学技術研究所)
井上 秀雄 (神奈川工科大学)

333 ミリ波レーダによる車載CPD向けバイタルセンシングシミュレーション手法の検証

中山 大輝・多田 靖弘・細木 洋輔・堀端 研志
(構造計画研究所)
Swagato Mukherjee・Greg J. Skidmore・Tarun Chawla
(Remcom)

334 降雪のミリ波レーダの検知特性に与える影響

佐藤 研吾・富樫 数馬 (防災科学技術研究所)
森川 浩司 (工学気象研究所)
萩野 直人・井上 秀雄 (神奈川工科大学)
木村 茂雄 (防災科学技術研究所)

G401+G402

[9:30~11:35]

78 CN 社会を支えるガス燃料そのエンジン技術 II

Supporting CN Society: Gas Fuel and Engine Technologies

< OS > 座長: 鈴木 健太 (いすゞ自動車)

【企画委員会】【オーガナイザー】

セッション 55 と同じ

335 空気噴射を用いた水素筒内直噴エンジンにおける混合促進に関する研究

澤口 大樹・小酒 英範 (東京科学大学)

336 低圧直噴水素エンジンの高噴射率化が過給運転時の熱効率と出力向上に与える影響

箕田 賢太郎 (東京都市大学大学院)
新村 暢大 (東京都市大学大学院/川崎重工業)
及川 昌訓 (東京都市大学)
山田 聖哉・塚本 翔太 (東京都市大学大学院)
宮本 世界 (川崎重工業)
三原 雄司・高木 靖雄 (東京都市大学)

337 水素燃料火花点火機関の異常燃焼に関する研究

-(第2報)熱面着火プレイグニッション予測モデルの構築-

神戸 浩揮 (豊田自動織機)
増田 糧 (豊田中央研究所)
葛岡 浩平 (産業技術総合研究所)

338 大流量水素噴流による均質混合気形成に関する研究

西村 星耶・山口 顕央・木谷 慎吾 (デンソー)
片岡 一 (SOKEN)

339 水素エンジンにおける熱電素子を用いた排熱回収効率に関する研究

本宮 一稀・市村 凌裕・丸山 恵史・西部 光一・
伊東 明美 (東京都市大学)
菊原 浩司 (早稲田大学)
白井 美幸樹 (リケン NPR)
大沢 悠真 (東京都市大学)

[12:35~13:50]

79 排気触媒システム I

Exhaust Emission Catalyst System I

< OS > 座長: 阿野田 洋 (いすゞ自動車)

【企画委員会】排気触媒システム部門委員会

【オーガナイザー】田中光太郎 (茨城大学), 板津俊郎 (キャタラー), 堀正雄 (ユミコア日本触媒), 阿野田洋 (いすゞ自動車), 佐藤 進 (東京科学大学)

340 小型車載型排出ガス計測装置を用いたリアルワールドアンモニア排出量の解析手法

佐藤 進・芦沢 圭梧・福永 千響 (東京科学大学)
川原田 光典 (自動車技術総合機構)

341 貴金属種とセリアジルコニアの組成がモデル三元触媒の酸素吸蔵分布に与える影響

徳増 優志・渡辺 侑希 (東京科学大学)
糸山 浩之・黄 晟ウェイ・石川 剛志 (日産自動車)
長澤 剛 (東京科学大学)

342 触媒反応モデルを活用した排気適合机上化への取り組み -HEV (Hybrid Electric Vehicle) システムのエンジン始動時目標空燃比の適合-

石川 剛志・糸山 浩之・諸星 篤史・久保田 洋輔 (日産自動車)

[14:20~16:25]

80 排気触媒システム II

Exhaust Emission Catalyst System II

< OS > 座長: 佐藤 進 (東京科学大学)

【企画委員会】【オーガナイザー】

セッション 79 と同じ

343 尿素SCRシステムにおける尿素水衝突板加熱時のアンモニア生成特性の解析

石井 徹・中川 研吾 (同志社大学大学院)
松村 恵理子 (同志社大学)

344 大型車両向け低圧損・低コストDPFのための先進材料と再生制御

千々岩 涼子 (コーニングジャパン)
Krishna Aravelli・Suhao He (Corning)

345 Exhaust Gas Velocity Distribution Analysis Method Using Temperature Distribution and Heat Transfer Characteristics of Catalytic Converters

JiHo Cho・HyungJun Kim・SungMoo Choi・
JaeGyung Yoon・ChangWan Hong・SangMin Lee
(Hyundai Motor)

346* Development of an Exhaust System Complying with Tier 4 PM Regulations through Study of PM Formation Mechanisms in the Exhaust System

Sungmu Choi・Hyung Jun Kim・Won Soon Park
(Hyundai Motor)

347 Study on the Degradation Mechanisms of North American Canisters

Seungyub Lee・Keunsoo Kim・Seunghwan Park
(Hyundai Motor)

G403

【9:30~11:35】

81 車両構造の強度・信頼性・形成技術の新展開 I

Advanced Technologies for Automotive Structure I

< OS > 座長：中丸 敏明 (日産自動車)

【企画委員会】疲労信頼性部門委員会, 構造強度部門委員会, 構造形成技術部門委員会

【オーガナイザー】橋村真治 (芝浦工業大学), 湯浅卓也 (日産自動車), 河村拓昌 (トヨタ自動車)

348 鋼/アルミ合金異種接着接合部の疲労強度特性に関するこれまでの取り組み

大江 哲平 (マツダ)
鈴木 崇弘 (トヨタ車体)
山本 耕平 (ヤマハ発動機)
大井 宏一郎 (スズキ)
村井 越文 (サンスター技研)
小熊 博幸 (物質・材料研究機構)
西川 出 (大阪工業大学)
菅田 淳 (広島大学大学院)
植松 美彦 (岐阜大学)

349 接着強度に対する吸水および吸水後乾燥による影響調査

宮脇 貴博 (三菱自動車工業)
服部 和男 (アイシン)
窪田 龍太 (トヨタ自動車九州)
井上 敬章 (サンスター技研)
谷 雅希 (豊田自動織機)
小熊 博幸 (物質・材料研究機構)
西川 出 (大阪工業大学)
菅田 淳 (広島大学大学院)
植松 美彦 (岐阜大学)

350* 曲げモーメントを受ける薄板ボルト締結体のゆるみ挙動

大坂 翔真・倉林 勇太朗 (芝浦工業大学大学院)
橋村 真治 (芝浦工業大学)

351 ねじ締結における表面処理された接触面の摩擦に及ぼす環境温度の影響

両角 由貴夫 (トヨタ自動車)
下山 颯・寺尾 正太郎・大宮 祐也 (香川大学)

352 金属-複合材料の接着強度に及ぼす被着材の表面粗さと接着剤の伸び率の影響

吉田 剛・西野 創一郎 (茨城大学)

【12:35~14:40】

82 車両構造の強度・信頼性・形成技術の新展開 II

Advanced Technologies for Automotive Structure II

< OS > 座長：河村 拓昌 (トヨタ自動車)

【企画委員会】【オーガナイザー】

セッション 81 と同じ

353 異なる破壊モード下におけるCFRPウレタン系接着接合部の疲労き裂進展特性評価

浜 十志陽 (広島大学大学院)
中丸 敏明・佐藤 広介 (日産自動車)
小川 裕樹・曙 紘之・菅田 淳 (広島大学大学院)
小川 武史 (青山学院大学)

354 ウレタン系接着剤を用いたCFRP接着接合構造のき裂進展寿命評価手法

湯浅 卓也 (日産自動車)
河井 範之 (マツダ)
西谷 公光 (いすゞ自動車)
佐藤 弘幸 (プレス工業)
横手 芳樹 (日野自動車)
佐藤 広介・中丸 敏明 (日産自動車)
小川 武史 (青山学院大学)

355 機械学習によるアルミダイカスト部材の材料特性ばらつきを考慮した部品特性評価技術の開発

奥本 悠季・濱石 恭宥・猪澤 孝洋・河野 一郎・平川 太一・本地 宏昌・小田 信行・辰田 学・小島 宏介・山本 亮 (マツダ)

356 熱弾性温度変動を用いたC-SMCの疲労評価および疲労強度迅速推定

赤井 淳嗣 (京都教育大学)
濱田 幸宏 (トヨタ自動車)
佐藤 康元 (豊田中央研究所)
三国 敦 (トヨタ自動車)

357* Development of Open Top Air Body Structure Using Hot Blow Method

Do Hoi Kim・Kang Chul Lee (Hyundai Motor)
Golam Ahmed・Forrest Eddings・Dhananjay More・Vinaya Kumar Rachala・Vinaya Kumar Pellerla (Hyundai America Technical Center)

【15:10~17:15】

83 車両構造の強度・信頼性・形成技術の新展開 III

Advanced Technologies for Automotive Structure III

< OS > 座長：橋村 真治 (芝浦工業大学)

【企画委員会】【オーガナイザー】

セッション 81 と同じ

358 ロードシミュレータ台上耐久試験のための汎用波形作成手法に関する一考察

-4輪の位相差を考慮した実車加振実験と数値シミュレーションの比較による数値シミュレーションモデル化-

喜多 智之 (プレス工業)
中村 明史 (三菱ふそうトラック・バス)
播野 充郎 (スズキ)
大網 徹 (トヨタ自動車)
八木 淳史・荻 佑樹 (トヨタ車体)
岡部 亮 (三菱自動車工業)
梶原 昌紘 (本田技術研究所)
大石 久己・深津 幸生・笠井 勇佑 (工学院大学)

359 ロードシミュレータ台上耐久試験のための汎用波形作成手法に関する一考察

-路面PSDから算出した時刻歴波形と実測の時刻歴波形の比較および考察-

中村 孝之 (トヨタ自動車)
佐藤 洗輝 (SUBARU)
三野 浩平 (本田技術研究所)
鈴木 雄祐 (ダイハツ工業)
中村 明史 (三菱ふそうトラック・バス)
岡部 亮 (三菱自動車工業)
平山 周三 (エムティエスジャパン)
深津 幸生・笠井 勇佑・大石 久己 (工学院大学)

360 車両床下部品の路面干渉ストレス予測手法の開発

奥平 洋一郎・尾形 孝徳・原田 岳行・松村 将生・山木 悠也 (トヨタ自動車)

361 Bayesian Active Learningを用いた車体信頼性開発のためのセットベース設計手法

宮本 耕太・菅井 友駿・西川 幸治 (トヨタ自動車)

362 曲げ変形を考慮した重ね合わせ継ぎ手の強度評価シミュレーション

杉山 裕文 (山梨大学)
岡澤 重信 (山梨大学/ダイバーテクノロジー)

G404

[9:30~11:35]

84 モデル流通とMBDの新展開

New Movement of Model Distribution and Model Based Development

< OS > 座長: 平野 豊 (平野リサーチラボ)

【企画委員会】自動車制御とモデル研究部門委員会

【オーガナイザー】平野 豊 (平野リサーチラボ), 安井裕司 (本田技術研究所), 向井正和 (工学院大学), 青野俊宏 (日立製作所), 曹 文靜 (上智大学)

363 生成系AIを用いた1D-CAEモデリング要件の対話的抽出とモデル構成の決定

内藤 恭兵 (ニュートンワークス)
市村 純一 (ニュートンワークス/放送大学)
脇本 佑紀 (ニュートンワークス)

364 生成AIによる1D-CAEモデル自動実装と要求仕様との整合性確認支援

市村 純一 (ニュートンワークス/放送大学)
内藤 恭兵・脇本 佑紀 (ニュートンワークス)

365 クロスドメインモデルを用いた大域的な設計最適化を実現するMBD手法の開発

-パワーマネジメント, 熱性能, 車両運動性能等を同時に考慮するモデル構築と車両開発への適用-

高橋 成光・内海 碧人・松本 佑大・谷 雅之・清野 昌之 (日産自動車)

366 Virtual Validation Methodology and Credibility Assessment for Automated Driving Systems with Applications to NCAP 2029

Reza Rezaei・Gnana Prakash Reddy Madduri・Abhishek Singh Kudavale・Christian Lang・Kento Fukuhara (IAV)

367 An Integrated Model-Based Development Framework for Automotive Thermal Energy Systems

Bumseok Choo (Hyundai Motor)

[12:35~14:15]

85 エネルギーのCNに向けた技術・インフラ

Technology and Infrastructure for Energy Carbon Neutral

< OS > 座長: 古關 恵一 (茨城大学)

【企画委員会】エネルギー部門委員会

【オーガナイザー】平野 創 (成城大学), 菊池 勉 (日産自動車), 金子タカシ (ENEOS), 古關恵一 (茨城大学), 福井裕幸 (トヨタ自動車), 鈴木雅樹 (本田技術研究所), 轟木 光 (KPMG コンサルティング)

368 微細藻類バイオ燃料生産の課題と解決に向けた取組み
-(第2報)ガソリン代替燃料生産検討, CO₂削減率の最大化, 油脂生産効率の向上-

前田 真一郎・興梠 武久 (マツダ)
岡崎 久美子・栗田 朋和 (広島大学)
岩井 雅子 (ファイトリビッド・テクノロジーズ)
太田 啓之 (東京科学大学/ファイトリビッド・テクノロジーズ)
西山 佳孝 (埼玉大学)
山本 卓・坂本 敦 (広島大学)
山下 洋幸 (マツダ)

369 高圧衝撃波管によるETBE着火抑制作用のベース燃料依存性評価

里川 健・浜崎 智大・岡村 怜奈 (上智大学大学院)
三好 明 (広島大学大学院)
高橋 和夫 (上智大学)

370* バリ協定に基づく電気自動車用リチウムイオン電池のLCA予測

佐野 慶一郎・氏家 優凛 (関東学院大学)
大井 康寛 (元関東学院大学)
八木田 浩史 (日本工業大学)
河西 純一・武田 克彦 (関東学院大学)

371 Hydrogen Generation via Steam Methanol Reforming for Sustainable IC Engine Transportation- A Simulative Investigation

Bhawandeep Sharma
(Guangdong Technion-Israel Institute of Technology/
Technion-Israel Institute of Technology)
Yuchen Liu
(Guangdong Technion-Israel Institute of Technology)
Devendra Yadav・Michael Patrascu
(Technion-Israel Institute of Technology)
Madan Kumar
(Guangdong Technion-Israel Institute of Technology/
Technion-Israel Institute of Technology)

G414+G415

[9:30~11:35]

86 交通事故傷害予測と予防・医療

- 交通事故死ゼロを目指した医工学研究 -
Accidental Injury Prediction and Prevention, Medicine
-Medical and Engineering Research for Casualties
Reduction-

< OS > 座長: 石川 博敏 (救急ヘリ病院ネットワーク)

【企画委員会】事故自動緊急通報システム部門委員会

【オーガナイザー】宇治橋貞幸 (日本文理大学), 西本哲也 (日本大学)

372* 救急自動通報システム (D-Call Net) 対応車の事故実態分析と更なる活用に向けて

白川 正幸・木内 透 (交通事故総合分析センター)

373 自動通報データと事故統合データのマッチングによる自動通報の実態の研究

木内 透 (交通事故総合分析センター)
西本 哲也 (日本大学)

齋藤 信夫・安藤 一郎 (日本緊急通報サービス)
影澤 英子・石井 麻友 (交通事故総合分析センター)

374 救急救命センターに搬送された歩行者および自転車乗員の事故実態調査による傷害解析とそれによる傷害予測アルゴリズムの検証

西本 哲也 (日本大学)
本村 友一 (日本医科大学)
長岡 靖 (トヨタ自動車)

375 Artificial Intelligence as a Catalyst for Next-Generation Emergency Call Systems

Hamma Tadjine Hadj・Amine Kaddache (IAV)
Isao Hasegawa (IAV Japan)

376* ITARDAにおける医工連携交通事故例調査

寺門 仙太郎・辻 武弘・伊藤 達也 (交通事故総合分析センター)
篠原 一彰 (太田総合病院附属太田西ノ内病院)
木内 透 (交通事故総合分析センター)

【12:45~15:25】

87 事故分析と安全対策 I

- 事故の要因分析や安全の課題に関する新しい
取り組み -

Accident Analysis and Safety Measurement I
-New Initiatives Regarding Accident Analysis and Safety
Issues-

< OS > 座長: 新井 信太 (本田技術研究所)

【企画委員会】トラフィックセイフティ部門委員会

【オーガナイザー】今長 久 (日本自動車研究所), 新井信太 (本田技術
研究所), 市原成賢 (マツダ), 縄田雄美 (トヨタ自動車)

377 再違反リスクアセスメントのための交通違反特性尺度の提案

小嶋 理江 (名古屋大学)
庄島 宏二郎 (大学入試センター)
岡村 和子 (科学警察研究所)
西澤 智恵子・松林 翔太
(トヨタテクニカルディベロップメント)
伴 和徳
(トヨタテクニカルディベロップメント/名古屋大学)

378 交通違反を繰り返すドライバの個人特性の分析

松林 翔太 (トヨタテクニカルディベロップメント)
小嶋 理江 (名古屋大学)
西澤 智恵子・伴 和徳
(トヨタテクニカルディベロップメント)

379 交通違反者教育における自己評価と交通行動の分析

西澤 智恵子 (トヨタテクニカルディベロップメント)
小嶋 理江 (名古屋大学)
松林 翔太・山口 拓真・小林 栄介
(トヨタテクニカルディベロップメント)
伴 和徳
(トヨタテクニカルディベロップメント/名古屋大学)

380 Development of a Method for Evaluating Muscle Burden during Driving Operations

-Steering Emergency Avoidance Maneuver-
Akito Onami・Takeru Higuchi・Naoya Yamakawa
(Suwa University of Science)
Masashi Makita (Teikyo University)
Hiroshi Kuniyuki (Suwa University of Science)

381 Survey on Naturalistic Driving Behavior of Motorcycles on Hilly and Mountainous Roads

Shun Nagao・Shion Sato・Yuta Katayama・
Hiroshi Kuniyuki (Suwa University of Science)

382 一般道路における高速暴走車による二輪車および原付衝突事故の危険性の評価

-二輪車・原付乗員の人身傷害状況からみた高速暴走車の
危険性評価-

関根 康史 (福山大学)

【15:55~17:10】

88 事故分析と安全対策 II

- 事故の要因分析や安全の課題に関する新しい
取り組み -

Accident Analysis and Safety Measurement II
-New Initiatives Regarding Accident Analysis and Safety
Issues-

< OS > 座長: 今長 久 (日本自動車研究所)

【企画委員会】【オーガナイザー】

セッション 87 と同じ

383 追突事故防止及び先急ぎ運転防止のための安全運転教育用 ドライビングシミュレータの開発

林 政喜・宮崎 恒志・合志 和晃・隅田 康明
(九州産業大学)
松永 勝也 (九州大学)

384 ギア入れ間違いによる車両単独事故のシートベルト着用状況と 傷害との関係

加藤 洋子・松井 靖浩・関根 道昭
(自動車技術総合機構)

385 大型車トラックの車輪脱落事故原因の一考察

晴山 蒼一 (東京都立大学)

G416+G417

【9:30~11:10】

89 自動車の大気環境影響と対策技術

Effect of Automobile Emission on Atmospheric Environment

< OS > 座長: 村島 淑子 (産業技術総合研究所)

【企画委員会】大気環境技術・評価部門委員会

【オーガナイザー】田中光太郎 (茨城大学), 村島淑子 (産業技術総合
研究所), 渡辺宏江 (日産自動車)

386 脱炭素化に伴うエネルギー変革が2050年大気質に与える影響 評価

安川 侑佑・林 蘭 (東京電機大学大学院)
山田谷 佳明 (茨城大学)
森川 多津子・早崎 将光 (日本自動車研究所)
山田 裕之 (東京電機大学)
田中 光太郎 (茨城大学)
岡山 紳一郎 (モトリティ)
柴田 芳昭 (大気環境総合センター)
渡辺 宏江 (日産自動車)
木所 徹 (トヨタ自動車)

387 カーボンニュートラル燃料適用時における高精度排ガス計測の 課題とその解決策

近藤 洋輔・森 雄一 (堀場製作所)

388 3成分ガソリンサロゲート/エタノール混合燃料のすす排出 特性

橋本 淳 (大分大学)
伊藤 千将・松前 俊哉 (大分大学大学院)

389 低濃度PM規制に向けた希釈トンネル汚染度モニタリング手法

福島 卓・吉田 泰輔・松本 絵里佳・大槻 喜則
(堀場製作所)

[12:10~13:00]

90 自動運転に必要な認識技術に関する研究
 Research on the Recognition Technology Required for Automated Driving
 < OS > 座長：山下 隆義 (中部大学)

【企画委員会】自動運転技術部門委員会
 【オーガナイザー】菅沼直樹 (金沢大学), 山下隆義 (中部大学), 目黒淳一 (名城大学), 倉元昭季 (東京科学大学), 米陀佳祐 (金沢大学)

- 390 LiDAR点群におけるGNNを用いた物体間の関係性の学習による連接車両の検出
 籠橋 陸・針屋 慶吾・米陀 佳祐・福田 有輝也・菅沼 直樹 (金沢大学)
- 391 4Dイメージングレーダ点群の汎用的な特徴抽出のための自己教師あり事前学習
 高井 拓・米陀 佳祐・針屋 慶吾・篠田 巴玖・福田 有輝也・菅沼 直樹 (金沢大学)

G418+G419

[9:30~11:35]

91 車両開発 I
 Vehicle Development I
 座長：伊藤 大輔 (関西大学)

- 392 A Study on the Finite Element Analysis for the Optimized Design of Bumper Towing Cap for Vehicles
 Gyuho Shim・Teawon Kim・Seungwon Jeon (SECO Ecoplastic)
 Geonhee Cheon (SECO Seojin)
- 393 製造プロセスによる物理特性変化を考慮した車体性能予測 CAEの構築
 堀部 浩由・山本 賢・藤井 隆之・白井 一雅・田中 一郎 (本田技術研究所)
- 394 トポロジー最適化における形状の複雑さと目的関数および滑らかさの関係
 武田 啓仁 (SCSK Minori ソリューションズ)
 小泉 拓 (みずほ銀行)
 丸山 新一・泉井 一浩・西脇 真二 (京都大学)
- 395 Developing of an Geometry-Aware AI Model for Predicting Stress Distribution in Aluminum Wheels under Impact
 Changgon Kim (Hyundai Motor)
 Zeqing Jin・Bowen Zheng (University of California)
- 396 軟質ウレタンフォームの気泡分布関数と機械特性 (圧縮荷重-変位特性)の関係性研究
 -(第二報)提案手法の精度検証と改善-
 井上 実 (マツダ/香川大学/広島大学)
 鈴木 桂輔 (香川大学)
 伊東 博之 (東洋シート)

[12:35~14:15]

92 車両開発 II
 Vehicle Development II
 座長：松井 靖浩 (自動車技術総合機構)

- 397* Power Tailgate Economical Type Optimization Development
 Sang Wook Lee・Sang Young Im・Joon Hyuk Kang・Tae Nam Jung・Jun Hyuk Kim・Ji Ho Choi (Hyundai Motor)
 Kyu Won Cho (Edscha PHA)

- 398 A Study on the Opening Force of a Charging Door
 YunGyeom Kim・JoonHyuk Kang・SeokHan Kong (Hyundai Motor)
- 399 A Study on the Application of A-SEG Cladding Options -Productive and Cost-Saving Approach-
 Hyeong Geun Jo・Sung Mahn Kim・Sung Yun Jung・Hyun Kab Cho・Jae Beom Kim (Hyundai Motor)
- 400* A Study on the Development of Front Radar Cover Technology for Autonomous Vehicles
 Juhwan Park・Wanho Son・Gyeomson Seong (SECO Ecoplastic)
 Sunghoon Jung (INTOPS)

学術講演会運営委員会 (2024-2025)

| | | |
|-----|-------|-------------------|
| 委員長 | 大門 樹 | 慶應義塾大学 |
| 幹事 | 栗谷川幸代 | 日本大学 |
| 幹事 | 須藤 晶 | 株式会社本田技術研究所 |
| 委員 | 相澤 哲哉 | 明治大学 |
| 委員 | 飯田 一裕 | トヨタ自動車株式会社 |
| 委員 | 石間 経章 | 群馬大学大学院 |
| 委員 | 伊東 明美 | 東京都市大学 |
| 委員 | 伊藤 大輔 | 関西大学 |
| 委員 | 伊藤 浩永 | 株式会社 SUBARU |
| 委員 | 大前 学 | 慶應義塾大学 |
| 委員 | 加藤 晋 | 国立研究開発法人産業技術総合研究所 |
| 委員 | 川下 宜郎 | 日産自動車株式会社 |
| 委員 | 木下 和人 | 日野自動車株式会社 |
| 委員 | 佐藤大二郎 | いすゞ自動車株式会社 |
| 委員 | 佐藤 恭一 | 横浜国立大学大学院 |
| 委員 | 清水 修 | 東京大学 |
| 委員 | 鈴木 教和 | 神戸大学 |
| 委員 | 関根 康史 | 福山大学 |
| 委員 | 西迫 隆志 | 三菱自動車工業株式会社 |
| 委員 | 西本 哲也 | 日本大学 |
| 委員 | 松浦 賢 | 一般財団法人日本自動車研究所 |
| 委員 | 松原 豊 | 名古屋大学 |
| 委員 | 森吉 泰生 | 千葉大学大学院 |
| 委員 | 山本 研一 | マツダ株式会社 |

MEMO

MEMO

Book Storeオープン 技術者を応援するフェアを開催

2026年度春季大会期間中に、本会発行書籍を販売します。

本会会員の方、一般の方も定価の**30%off**（一部**40%off**）でご購入いただけます。

大会期間中・現地会場でのお得なフェアを開催しますので、ぜひ会場へお立ち寄りください。

開催期間：2026年5月27日(水)～5月29日(金)

開設時間：8:00～17:00 (27日)

9:00～18:00 (28日)

8:00～17:00 (29日)

会場：パシフィコ横浜

アネックスホール 展示ホール2Fフォワイエ前

販売書籍：・自動車技術ハンドブック第2分冊～第10分冊

※第1分冊は完売しました

・みんなのモーターサイクル工学講座

・自動車の空力技術

・電気自動車の開発

・自動車開発・製作ガイド（日英）

・自動車システムのモデルベース開発入門

・ロードシミュレーションハンドブック

・ドライブレコーダは見た！Vol.1, 2, 4, 5（定価の40%OFF）※Vol.3は完売しました

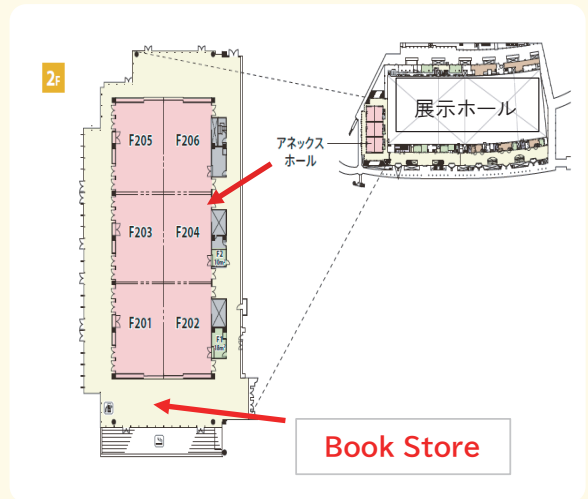
・2050年自動車はこうなる（定価の40%OFF）

・新日英自動車用語辞典（定価の40%OFF）

・フォーラムテキスト（特典付）

支払方法：クレジット、QRコード決済

※現金の取扱いはいたしていません。



フォーラム
テキスト



自動車技術
ハンドブック



新日英中自動車
用語辞典



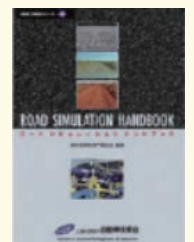
電気自動車の
開発



自動車の
空力技術



自動車システムの
モデルベース開発入門



ロードシミュレーション
ハンドブック



みんなのモーター
サイクル工学講座



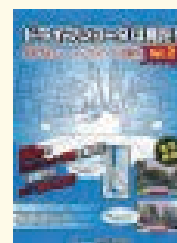
2050年
自動車はこうなる



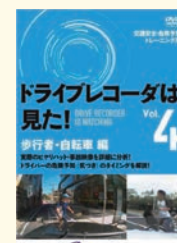
自動車開発・
製作ガイド



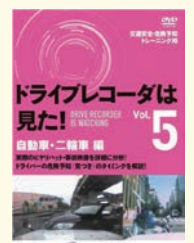
ドライブレコーダは見た！
Vol.1



ドライブレコーダは見た！
Vol.2



ドライブレコーダは見た！
Vol.4 歩行者・自転車編



ドライブレコーダは見た！
Vol.5 自動車・二輪車編

Software-in-the-Loop

EARLY. EFFICIENT. SCALABLE.



詳細はこちら：
www.dspace.com/go/sil-testing-jp